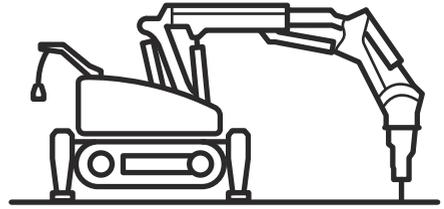


 **Husqvarna**[®]



DXR 145, DXR 275, DXR 305, DXR 315

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	95
安全性.....	18	搬送、保管、廃棄.....	108
Operation (動作).....	30	主要諸元.....	112
メンテナンス.....	67	適合宣言.....	124

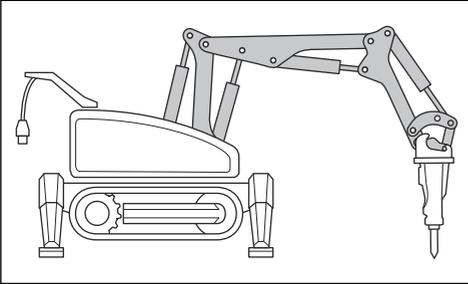
はじめに

製品の説明

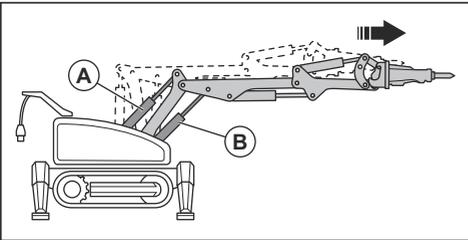
本製品は遠隔解体ロボットです。本製品は、リモートコントロールで操作します。

アームシステム

アームシステムは3つの部分で構成されており、良好な動作特性とロングレンジを実現します。作業対象物の近くでアームシステムを操作します。

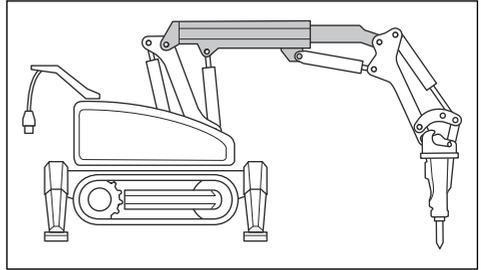


本製品が静止しているときに、シリンダー1 (A) および2 (B) を並行して操作すると、本製品のレンジを拡張できます。



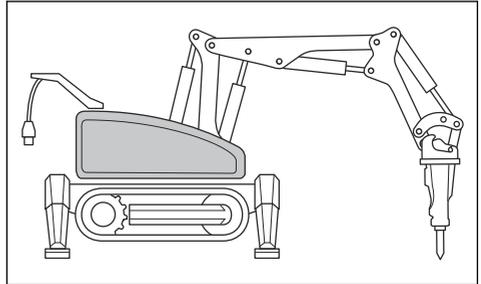
伸縮式アーム(DXR 315)

モデル DXR 315 のアームシステムには、さらにロングレンジの伸縮式アームもあります。



タワー

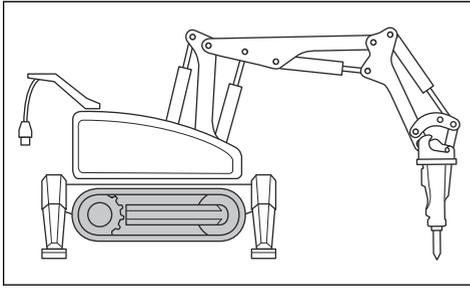
タワーは360°回転できます。これにより、本製品が静止しているときに、本製品をすべての方向に操作できます。本製品はスループレーキを搭載しています。タワーが動作していないときは、スループレーキがオンになります。



注意： 重すぎるツールは取り付けないでください。回転機能が損傷するおそれがあります。

キャタピラートラック

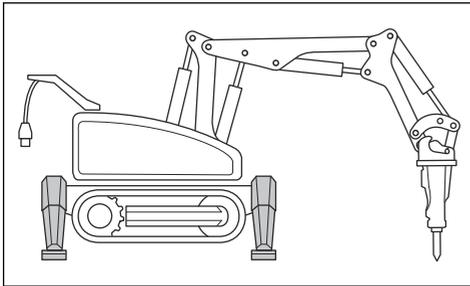
本製品の両側に1つずつキャタピラートラックがあります。各キャタピラートラックには油圧駆動モーターがあります。キャタピラートラックが動作していないときは、油圧駆動モーターのブレーキがオンになります。



注意： 70 °C/158 °F を超える温度では、ゴム製キャタピラートラックを使用しないでください。温度が 70 °C/158 °F を超える場合は、スチール製トラックを使用します。

アウトリガー

本製品の両側に 2 つずつアウトリガーがあります。アウトリガーにより、本製品が安定します。本製品が動作しているときは、アウトリガーを必ず伸ばしてください。



ツール



警告： 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。ツールに付属の取扱説明書にも目を通して、内容を理解してください。



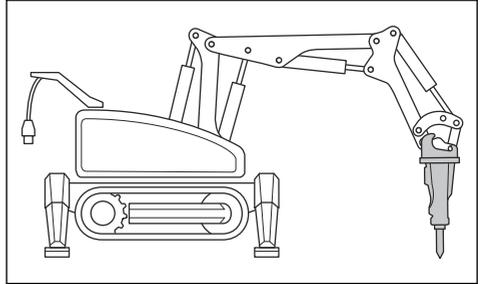
注意： ツールと本機の性能（重量、油圧、流量など）が互いに対応していることを確認してください。

本機には、作業と本機に適したツールおよびアクセサリを装備する必要があります。本機への取り付けの適合性と互換性を判断する際は、ツールの重量と性能の要件が重要です。本取扱説明書とツールサプライヤーの推奨事項および指示に記載されている取扱手順を読んで理解し、遵守してください。取扱説明書やツールサプライヤーの推奨事項に反するツールを本製品に使用しないでください。不明な点がある場合は、本機のメーカーにお問い合わせください。新しいツールを使用する前に、必ず

関連するツールサプライヤーが提供する個別の注意事項と取扱説明書をお読みください。

本製品には Husqvarna が販売する次のツールまたはアクセサリを使用することを推奨します。ツールの概要 116 ページを参照してください。

ツールは、アームシステムのツールホルダーに取り付けられています。操作タスクに適したツールのみを使用してください。



油圧システム

油圧システムは、本製品内の油圧と流量を操作します。油圧システムには、フィルター付き油圧オイルタンク、油圧ポンプ、油圧オイルクーラー、油圧モーター、油圧シリンダー、各種バルブがあります。ホースやパイプで部品が接続されています。

圧力制御バルブは、バルブへの圧力を制限したり下げたりします。流量制御バルブは、油圧オイルの流量と本製品の機能の速度を制御します。方向制御バルブは、油圧オイルを本製品の各種機能に送ります。

油圧システムにはさまざまな圧力レベルがかかります。主要諸元 112 ページを参照してください。多くの機能を同時に使用する場合、圧力は最低値に設定されます。オイル温度が 80 °C/176 °F を超えると、ブレーカーの圧力が自動的に下がります。これにより、本製品が過熱するまでの運転時間が長くなります。

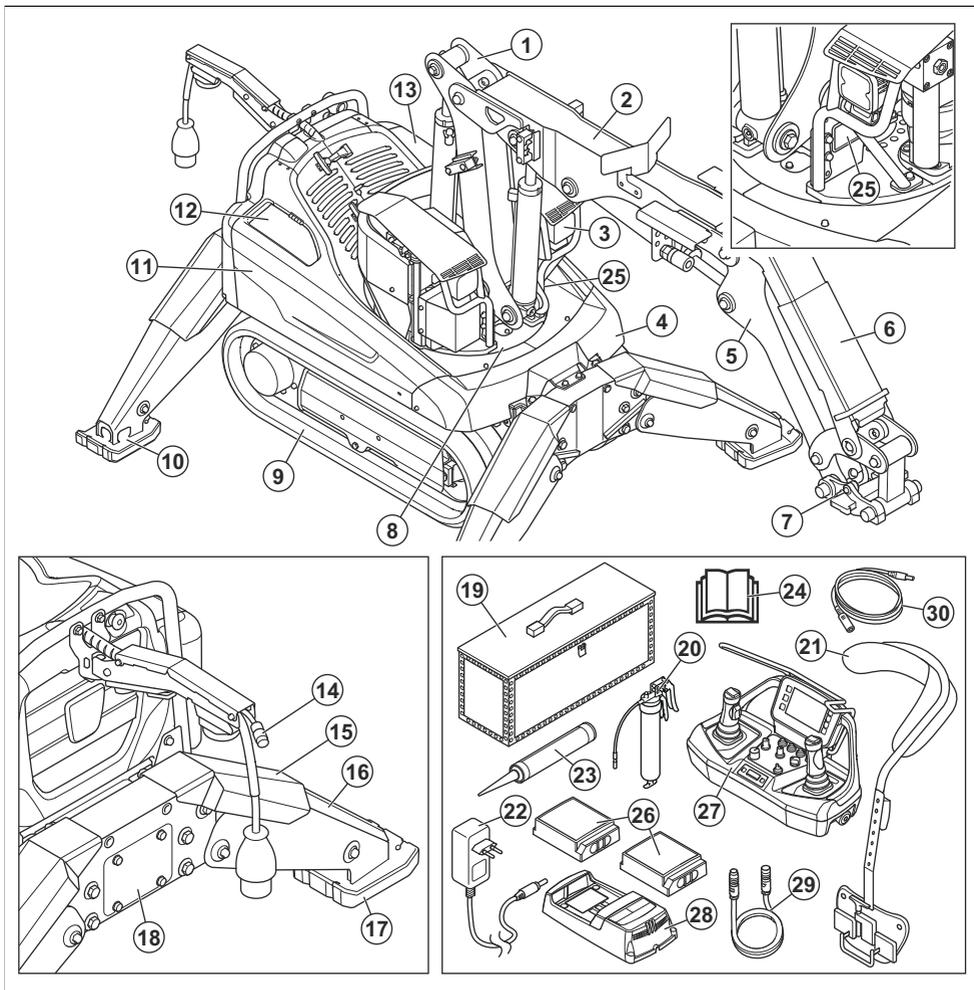
用途

本製品は、さまざまな環境での解体や異なる種類の建設に使用されます。本製品は、物が落下するおそれがある場所などの危険なエリアで使用できます。本製品は非常に高い温度に対応できる装備を備えており、危険物や有害な化学物質が存在する環境でも使用できます。リモートコントロールで、作業者は危険エリアから安全な距離をおいて本製品を制御できます。本製品は屋内および屋外で使用できます。他の作業に本製品を使用しないでください。本製品は、必ず経験豊富な作業者が使用してください。

弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

注記： 本製品の使用においては、現地の法規制が課せられる場合があります。

製品の概要 - (DXR 145)



1. アーム 1
2. アーム 2
3. ヘッドライト
4. フロントカバー
5. アーム 3
6. シリンダーガード
7. ツールヒッチ
8. ギアリング
9. キャタピラートラック
10. リフティングポイント
11. 右側サイドカバー
12. 右ハッチ

13. 左ハッチ
14. CAN バスケーブルコネクター
15. シリンダーガード
16. アウトリガー
17. アウトリガー底部
18. 点検カバー
19. 木箱
20. グリースチューブ
21. リモートコントロールハーネス
22. さまざまな市場向けの異なるプラグが付属した AC/DC アダプター
23. グリースガン

24. 取扱説明書

25. 銘板

26. リモートコントロールバッテリー

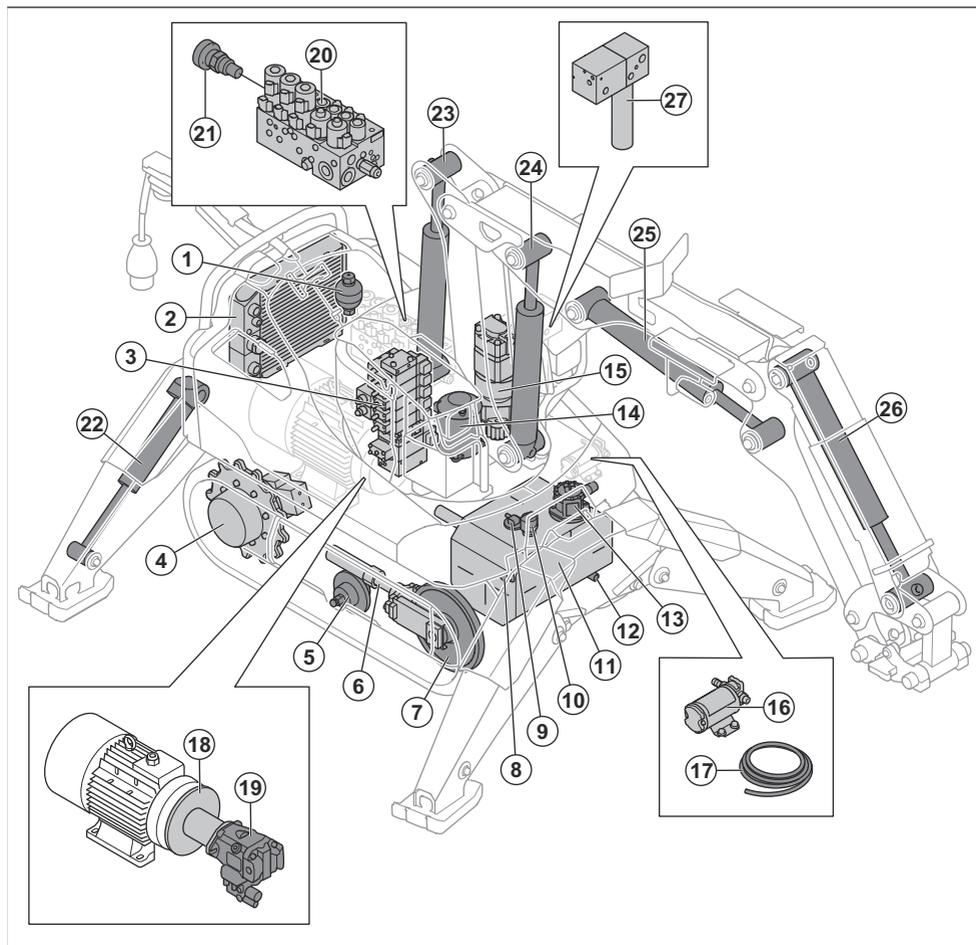
27. リモートコントロール

28. リモートコントロールバッテリーのバッテリー充電器

29. CAN バスケーブル

30. DC ケーブル

製品の概要 (油圧システム) - (DXR 145)



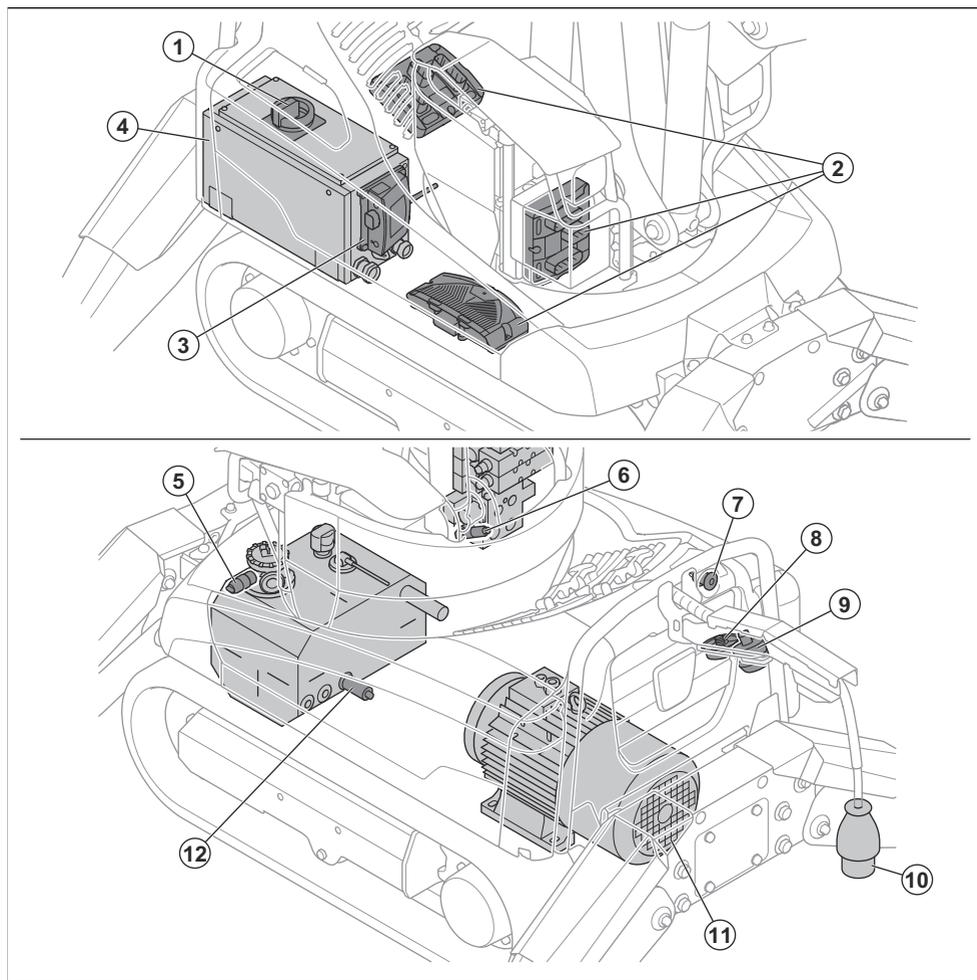
1. キャタピラートラックテンション用油圧蓄圧器
2. 油圧オイルクーラー
3. バルブブロック、アームシステム
4. 駆動モーター
5. サポートホイール
6. キャタピラートラックテンション用シリンダー
7. テンションホイール
8. サイトガラス
9. レベルインジケータ
10. エアフィルター

11. 油圧オイルタンク
12. オイルドレンプラグ
13. 油圧オイルフィルター
14. スイベル
15. スルーモーター
16. 油圧充填ポンプ
17. サクションホース
18. クラッチハウジング
19. 油圧ポンプ
20. シャーシ用バルブブロック

- 21. キャタピラートラックテンション用バルブ
- 22. アウトリガー用シリンダー
- 23. シリンダー 1
- 24. シリンダー 2

- 25. シリンダー 3
- 26. シリンダー 4
- 27. プレーカーグリースポンプ

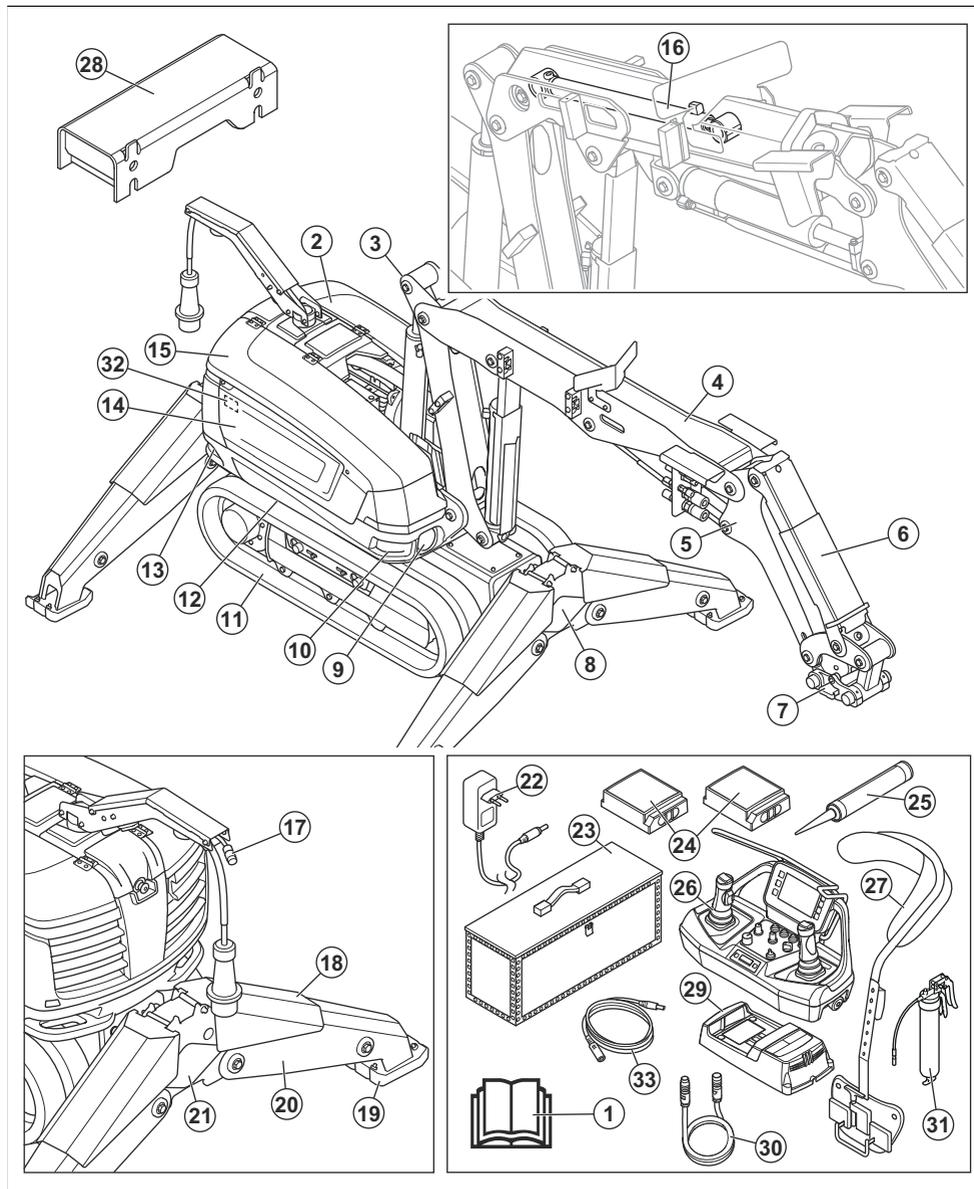
製品の概要（電気システム） - (DXR 145)



- 1. メインスイッチ
- 2. 制御モジュール
- 3. 無線通信受信機
- 4. 電気ボックス（ヒューズを含む）
- 5. 圧力スイッチ
- 6. 圧力センサ

- 7. 緊急停止ボタン
- 8. アンテナ
- 9. インジケータライト（操作用）
- 10. 電源ケーブル
- 11. 電動モーター
- 12. 温度センサーの油圧オイル

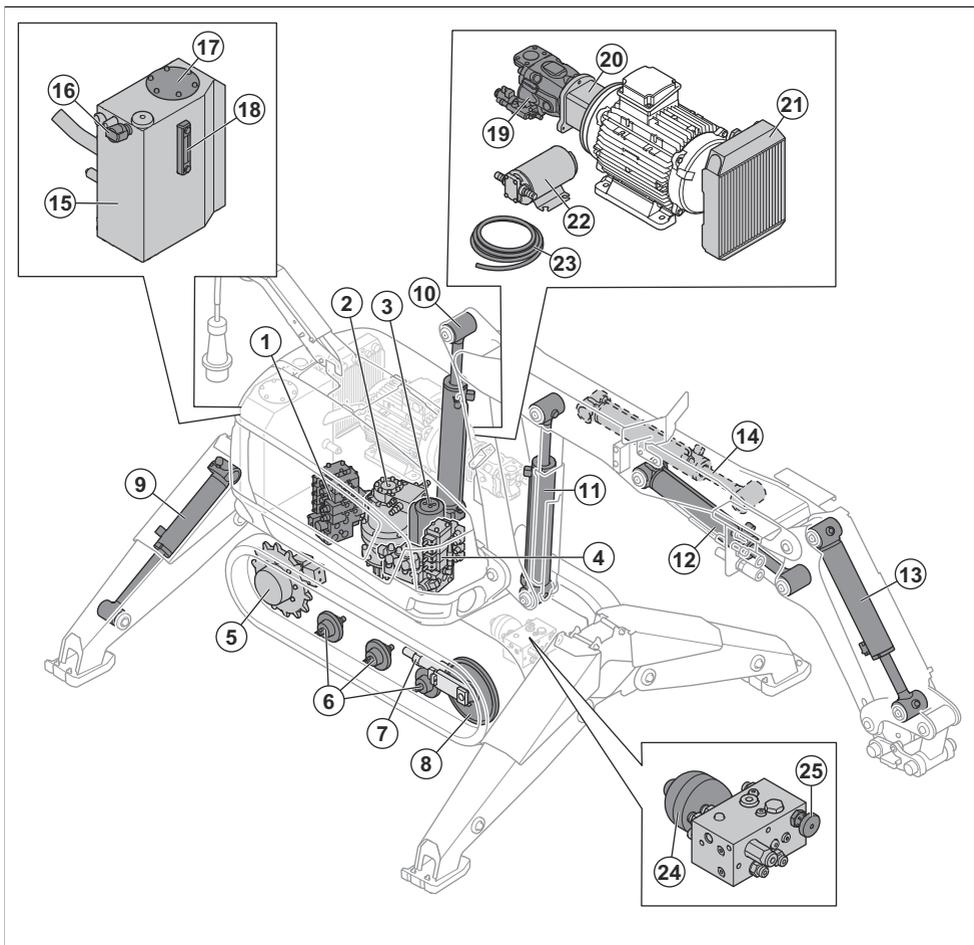
製品の概要 - (DXR 275, DXR 305, DXR 315)



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 取扱説明書 2. 左ハッチ 3. アーム 1 4. アーム 2 5. アーム 3 | <ul style="list-style-type: none"> 6. シリンダーガード 7. ツールヒッチ 8. キャタピラートラックテンション用点検カバー 9. ヘッドライト 10. リフティングポイント |
|---|---|

- 11. キャタピラートラック
- 12. ギアリング
- 13. リフティングポイント
- 14. 右側サイドカバー
- 15. 右ハッチ
- 16. 伸縮式アーム (DXR 315 の場合のみ)
- 17. CAN バスケーブルコネクタ
- 18. シリンダーガード
- 19. アウトリガー底部
- 20. アウトリガー
- 21. 点検カバー
- 22. さまざまな市場向けの異なるプラグが付属した AC/DC アダプター
- 23. 木箱
- 24. リモートコントロールバッテリー
- 25. グリースガン
- 26. リモートコントロール
- 27. リモートコントロールハーネス
- 28. キャタピラートラックワイドナー
- 29. リモートコントロールバッテリーのバッテリー充電器
- 30. CAN バスケーブル
- 31. グリースチューブ
- 32. 銘板
- 33. DC ケーブル

製品の概要 (油圧システム) - (DXR 275, DXR 305, DXR 315)

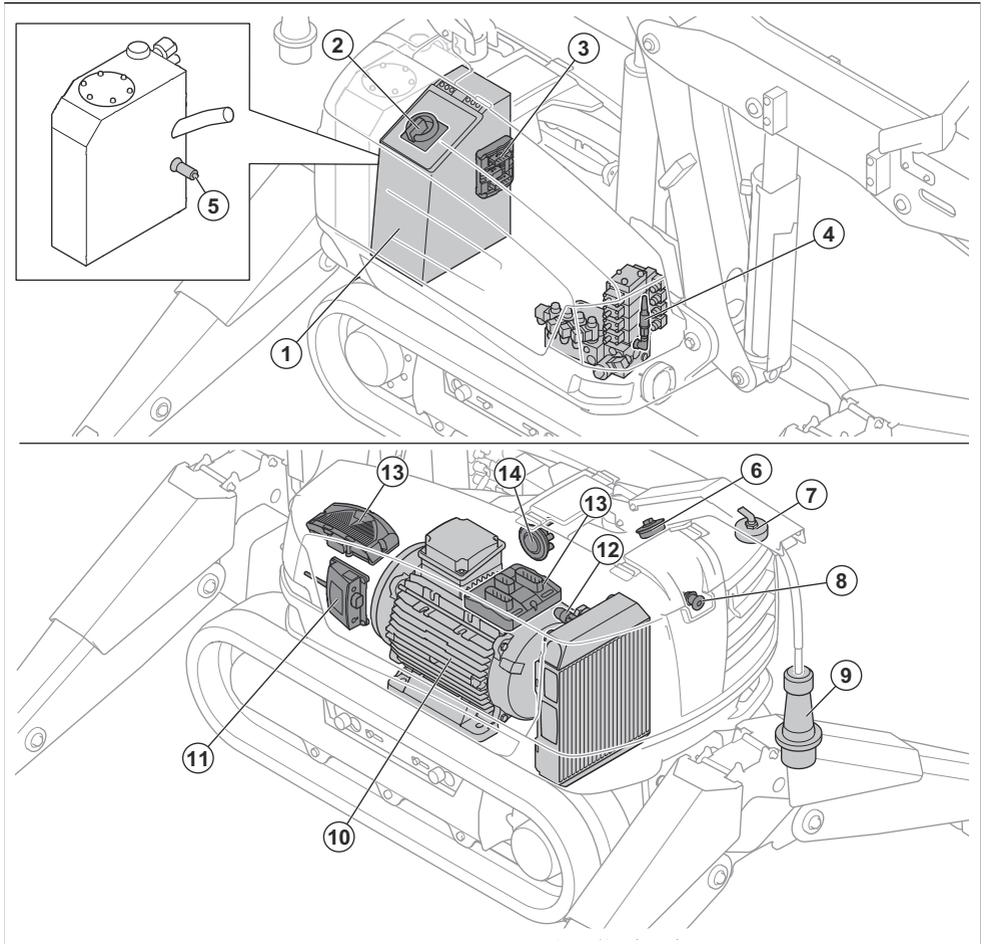


1. アームシステム用バルブブロック

2. スループモーター

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 3. スイベル | 15. 油圧オイルタンク |
| 4. シャーシ用バルブブロック | 16. エアフィルタ |
| 5. 駆動モーター | 17. 油圧オイルフィルターカバー |
| 6. サポートホイール | 18. サイトガラス |
| 7. キャタピラートラックテンション用シリンダー | 19. 油圧ポンプ |
| 8. テンションホイール | 20. クラッチハウジング |
| 9. アウトリガー用シリンダー | 21. 油圧オイルクーラー |
| 10. シリンダー 1 | 22. 油圧充填ポンプ |
| 11. シリンダー 2 | 23. サクションホース |
| 12. シリンダー 3 | 24. キャタピラートラックテンション用油圧蓄圧器 |
| 13. シリンダー 4 | 25. キャタピラートラックテンション用バルブ |
| 14. シリンダー 5 (DXR 315 の場合のみ) | |

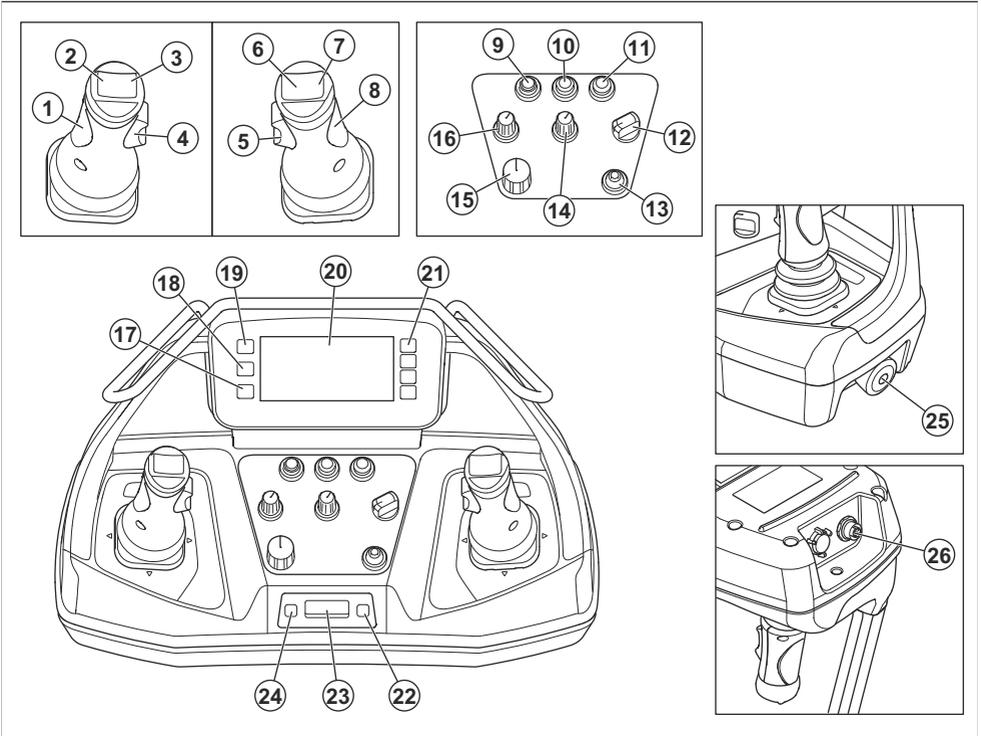
製品の概要 (電気システム) - (DXR 275, DXR 305, DXR 315)



- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 電気ボックス (ヒューズを含む) | 3. 制御モジュール |
| 2. メインスイッチ | 4. 圧力センサ |

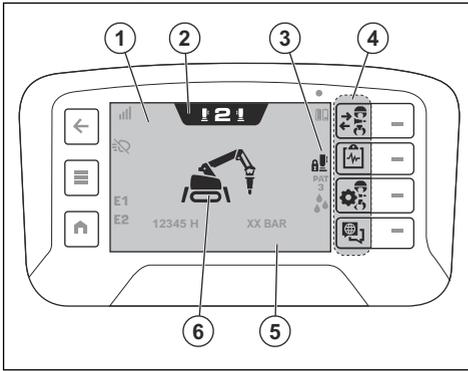
- | | |
|-------------------|-------------|
| 5. 温度センサーの油圧オイル | 10. 電動モーター |
| 6. アンテナ | 11. 無線通信受信機 |
| 7. インジケータライト（操作用） | 12. 圧力スイッチ |
| 8. 緊急停止ボタン | 13. 制御モジュール |
| 9. 電源ケーブル | 14. ホーン |

リモートコントロールの概要



- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 左側操縦かん | 18. メニューボタン |
| 2. 左側操縦かんの左上部ボタン | 19. メニューツリーに戻るボタン |
| 3. 左側操縦かんの右上部ボタン | 20. ディスプレイ |
| 4. 左サイドスイッチ | 21. 選択ボタン |
| 5. 右サイドスイッチ | 22. インフォメーションセンターディスプレイ用右側ボタン |
| 6. 右側操縦かんの左上部ボタン | 23. インフォメーションセンターディスプレイ |
| 7. 右側操縦かんの右上部ボタン | 24. インフォメーションセンターディスプレイ用左側ボタン |
| 8. 右側操縦かん | 25. 機器停止ボタン |
| 9. ヘッドライトボタン | 26. CAN バスケーブルコネクター |
| 10. リモートコントロール用ロックボタン | |
| 11. ホーンボタン | |
| 12. 輸送モードスイッチ | |
| 13. 動作モードスイッチ | |
| 14. 製品速度調整ノブ | |
| 15. OFF/ON/START スイッチ | |
| 16. ツール速度調整ノブ | |
| 17. ホームボタン | |

ディスプレイの概要



1. トップバー
2. 動作モードタブ
3. ステータスバー
4. クイックアクションバー
5. 下部バー
6. 製品ビュー

ヒューズ

ヒューズは、電気ボックスのカバーの後ろにあるヒューズホルダーにあります。焼き切れたコネクターからヒューズが切れていることがわかります。低電圧 (24 DC) については、**ヒューズの概要 94** ページを参照してください。

主電源ソケットへの接続では電圧が高くなっています (400/460 VAC)。本製品に適したヒューズについては、**主電源ソケットに接続するためのガイド値 118** ページを参照してください。本製品は **SoftStart** を備えており、ほとんどのタイプのヒューズで始動できます。

ヒューズが交換後すぐに再び切れる場合は、短絡が生じています。本製品を再び操作する前に、認定サービス代理店に修理を依頼してください。電気システムまたは接続されている製品に不具合が発生している可能性があります。

製品に表記されるシンボルマーク



警告：本製品の使用は危険を伴います。操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。



本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。



緩くないが、自由に動ける丈夫な衣服を着用してください。



保護グローブを着用してください。



つま先部がスチール製で、ノンスリップ靴底のブーツを着用してください。



空気が健康を害する可能性のある場所では、呼吸器保護具を使用してください。保護ヘルメット、イヤマフ、防護メガネを着用してください。参照：プロテクティブ装具 **20** ページ。



高電圧。



負傷のおそれがあります。本製品の運転中に資材が落下して損害を与えないように注意してください。



負傷のおそれがあります。運転中に資材が落下するおそれがあります。運転中は、プロテクティブ装具を着用し、本製品との距離を保ってください。



負傷のおそれがあります。斜面で運転する場合は、本製品よりも上にいるようにしてください。本製品が転倒するおそれがあります。



地面の端の近くで運転する場合は、常に注意を払ってください。運転中は本製品が安定していることを確認し、地面の端に移動しないようにしてください。地面の支圧強度が十分であることを確認してください。



モーターを停止し、電源プラグを外した状態で、点検やメンテナンスを実施します。



本製品は、必ず人身保護機能を搭載した **RCD** を介して接続してください。RCD は **30 mA** の接地不良で作動する必要があります。



本製品を移動するときは、電源ケーブルが本製品の後ろにあることを確認してください。アウトリガーを引っ込めたり伸ばしたりするときも、電源ケーブルが本製品の後ろにあることを確認してください。

電源ケーブルの損傷や感電のリスクがあります。



本製品は家庭ゴミではありません。電気・電子機器の認定済み処理業者にリサイクルを依頼してください。



EU および英国の指令および規制に従った環境への騒音排出のラベル。本製品の保証音響レベルは次の場所とラベルに記載されています： **主要諸元 112** ページ。



本製品は EC 指令に適合しています。



本製品は該当する英国規制に準拠しています。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／ステッカー一はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

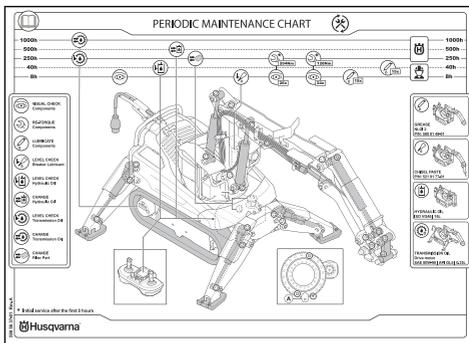
本製品上のステッカー



Short-Circuit Current Rating: 6kA
Electrical diagram:
 DXR 145: 531 17 65-01
 DXR 2-3xx: 531 17 65-02

短絡電流定格：定格値が **6 kA** を超える電源に本製品を接続しないでください。定格値が高いと、本製品が損傷するおそれがあります。

記事番号は、本製品の配線図を示しています。



クイックメンテナンスガイド。詳しくは、メンテナンス 67 ページを参照してください。



リフト装置をリフティングポイントに取り付けます。



運転中は、本製品までの距離を保ってください。運転中は、作業エリアに人がいないことを確認してください。作業エリアは、運転中に変化する場合があります。参照：**作業エリアの安全 20** ページ。



運転中は、本製品が転倒するおそれがあります。運転中は本製品をできるだけ水平にして、アウトリガーを完全に伸ばした状態にしてください。



油圧蓄圧器に圧力が掛かっています。圧力を手動で解放するまで、油圧システムのメンテナンスはできません。参照：キャタピラートラックの取り外しと取り付け (DXR 145)89 ページおよび キャタピラートラックの取り外しと取り付け (DXR 275, DXR 305, DXR 315)90 ページ。



高温の表面。



前進方向。



ギアボックスオイル。



ドレン。



油圧オイル。

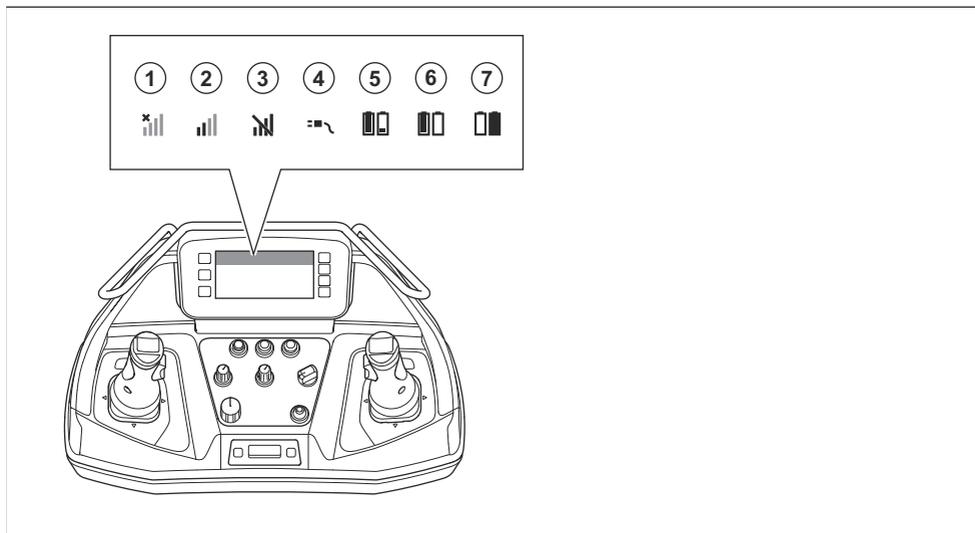


圧縮空気用冷却キット (オプション)。DXR 145, DXR 275, DXR 305, DXR 315 の場合のみ。



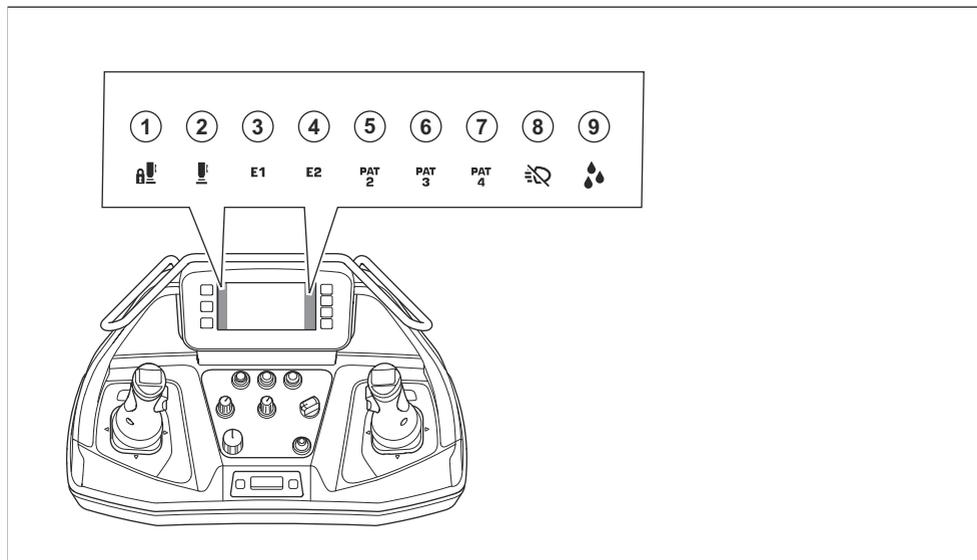
圧力。DXR 145, DXR 275, DXR 305, DXR 315 の場合のみ。

ディスプレイのトップバーに表示されるシンボル



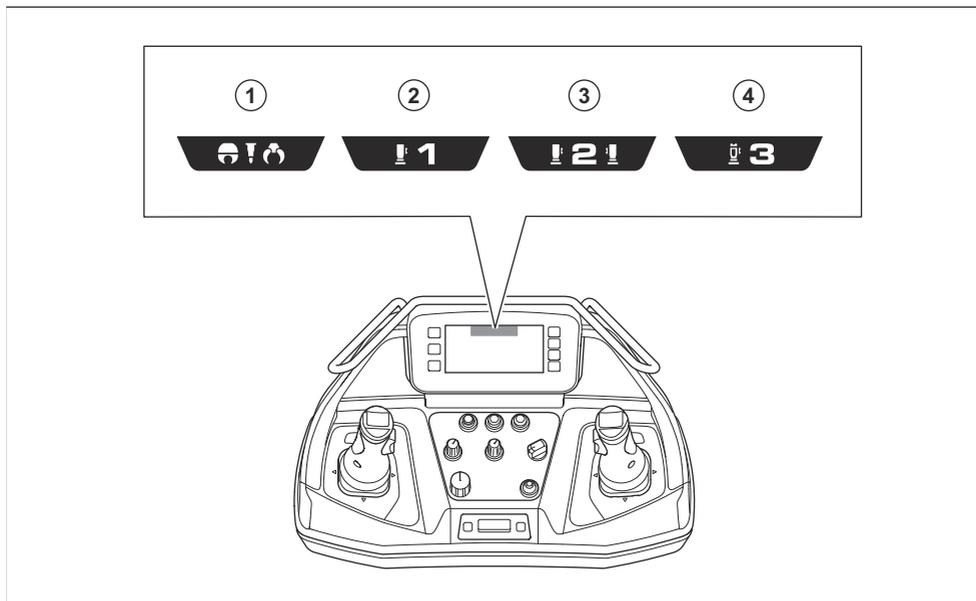
ポジション	機能
1	無線信号がありません。本製品と接続していません。
2	無線信号の強さ。
3	無線信号が遮られています。
4	CAN バスケーブルが、本製品とリモートコントロールの間に取り付けられています。
5	充電状態。バッテリーシンボルが黄色の場合、充電状態は 11~20 %です。バッテリーシンボルが赤色の場合、充電状態は 10 %未満です。
6	左スロットのバッテリー。
7	右スロットのバッテリー。

ディスプレイのステータスバーに表示されるシンボル



ポジション	機能
1	リモートコントロールのコントロールがロックされています。
2	リモートコントロールのコントロールがロック解除されています。
3	[Extra function 1 (その他の機能 1)] が作動しています。
4	[Extra function 2 (その他の機能 1)] が作動しています。
5	操縦かんパターン 2 が作動しています。
6	操縦かんパターン 3 が作動しています。
7	操縦かんパターン 4 が作動しています。
8	ヘッドライトが消灯しています。
9	給水機能が作動しています。

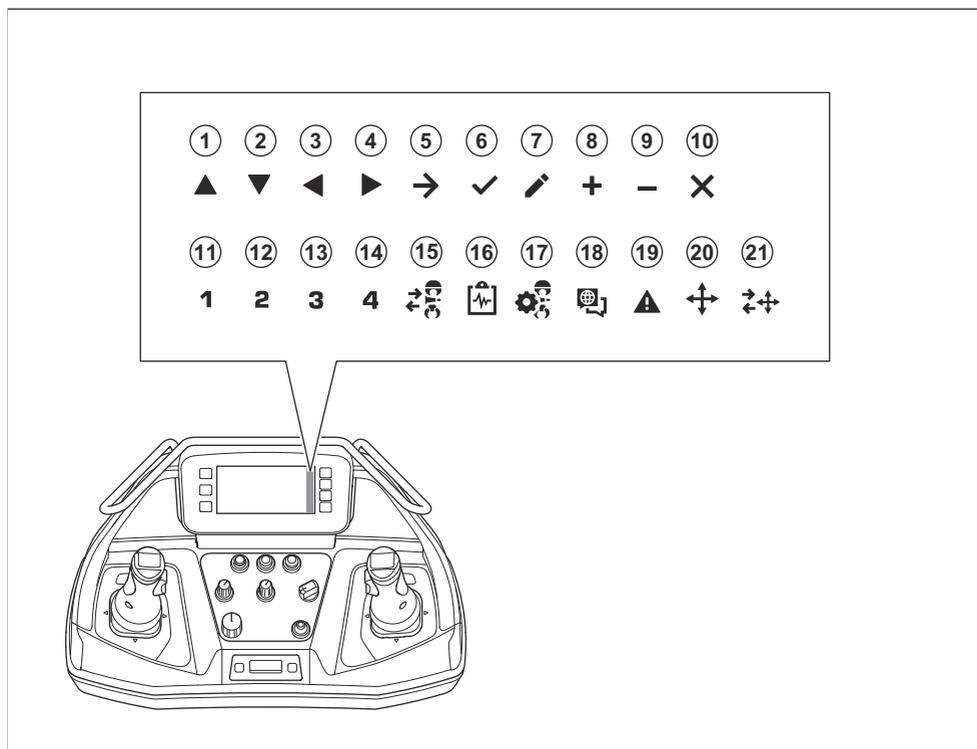
ディスプレイの動作モードタブに表示されるシンボル



パターンテストの実行中は、動作モードタブがオレンジ色から青色に変わります。[*Pattern test mode* (パターンテストモード)] 51 ページを参照してください。

ポジション	機能
1	作業モードが作動しています。
2	輸送モード、1 レバー制御が作動しています。
3	輸送モード、2 レバー制御が作動しています。
4	輸送モード、徐行が作動しています。

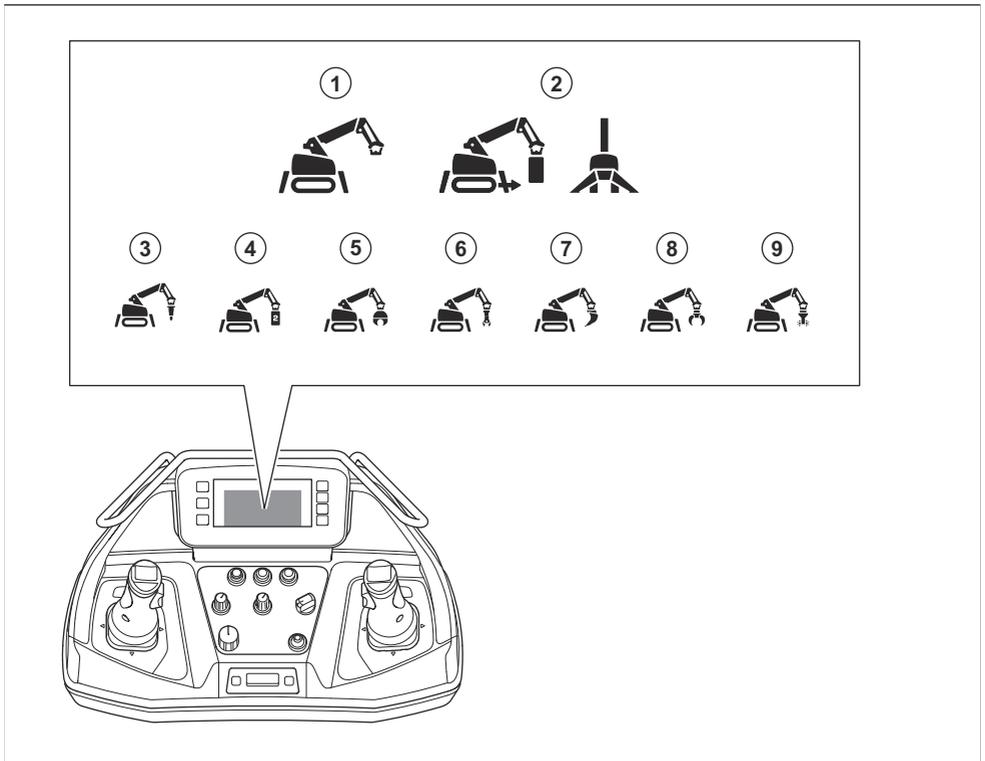
ディスプレイのクイックアクションバーに表示されるシンボル



ポジション	機能
1	ディスプレイ内を上に移動します。
2	ディスプレイ内を下に移動します。
3	ディスプレイ内を左に移動します。
4	ディスプレイ内を右に移動します。
5	ディスプレイ内のメニュー構造内を下に移動します。
6	ディスプレイ内で選択します。
7	ディスプレイ内で編集します。
8	ディスプレイ内の値を大きくします。
9	ディスプレイ内の値を小さくします。
10	ディスプレイ内でキャンセルします。
11	ディスプレイ内で数字 1 を入力します。
12	ディスプレイ内で数字 2 を入力します。

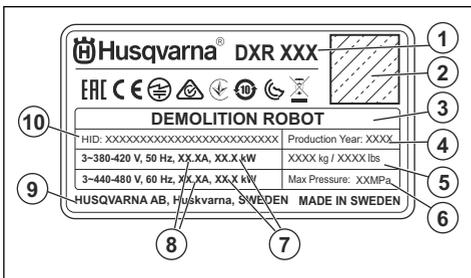
ポジション	機能
13	ディスプレイ内で数字 3 を入力します。
14	ディスプレイ内で数字 4 を入力します。
15	運転中にツールを選択するためのクイックアクション。
16	製品ステータスを表示するためのクイックアクション。
17	水位とグリースレベルを設定するためのクイックアクション。
18	言語を変更するためのクイックアクション。
19	不具合を表示するためのクイックアクション。
20	パターンテストモードを選択するためのクイックアクション。
21	パターンテストモードでの変更パターンへのクイックアクション。

ディスプレイの製品ビューに表示されるシンボル



ポジション	機能
1	本製品の可動部品がオレンジ色で表示されます。動かさない部品は灰色で表示されます。
2	パターンテストで表示されます。動いている製品部品がオレンジ色で表示されます。選択した動作モードで動かせる部品が水色で表示されます。動かさない部品は紺色で表示されません。
3	ブレーカーが作動しています。
4	カスタムツール 1、2、または 3 が作動しています。
5	コンクリートクラッシャーが作動しています。
6	鋼製はさみが作動しています。
7	バケットが作動しています。
8	鉤が作動しています。
9	ドラムカッターが作動しています。

銘板



1. 製品タイプ
2. スキャン用のコード
3. 製品の名称
4. 製造年
5. 製品重量（ツールを除く）
6. 圧力
7. 定格電力
8. 定格電流
9. メーカー
10. HID 番号（製造年を示す）

メーカーからお客様へ

Husqvarna コンストラクションプロダクツは、事前に通知することなく、本機の仕様および操作手順を変更する権利を有します。メーカーの書面による許可なしに本機

を改造することはできません。Husqvarna コンストラクションプロダクツからの納入後にメーカーの書面による許可なく本機が改造された場合、オーナーの責任となります。

改造により作業や本機、周囲に新たな危険が生じることがあります。例えば、強度が低下したり、保護が不足したりするおそれがあります。どの改造を行うかを指定し、改造を始める前に本機のサプライヤーに連絡して承認を得ることはオーナーの責任です。

Husqvarna コンストラクションプロダクツは、本機に取り付けられている承認されていないツールの適合性または互換性について表明や保証を行わず、Husqvarna が販売していないツールの使用について責任を負いません。

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あ

るいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意：取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記：特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

一般的な安全注意事項



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本機を使用する前に、本取扱説明書をよく読んで、その内容を理解してください。
- すべての警告および説明を保管してください。
- 適用されるすべての法令を遵守してください。
- 作業者および作業者の雇用主は、本製品の運転中に発生するリスクを認識し、防止する必要があります。
- 取扱説明書を読んで内容を理解した人へのみ本製品を運転させてください。
- あらかじめトレーニングを受けていない場合は、本製品を運転しないでください。全作業者がトレーニングを受けていることを確認してください。
- 子供に本製品を運転させないでください。
- 許可された人へのみ本製品を運転してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故に責任を負います。
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。
- 常に常識に基づいて注意して使用してください。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を運転する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。
- 本製品は清潔に保ってください。標識やラベルがはっきりと読み取れるようにしてください。
- 損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品を改造しないでください。
- 他の人が本製品に変更を加えた可能性がある場合は、本製品を操作しないでください。

操作のための安全注意事項



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 床構造の強度やケーブルの位置など、作業エリアを把握していることを確認してください。作業エリアを点検するのは作業者の責任です。
- 身体保護具を使用してください。参照：プロテクティブ装具 20 ページ。
- 作業エリアと許可されていない人の間には、安全な距離を保ってください。
- 必ず安全で安定した姿勢で作業してください。
- 落下のおそれがある場所で本製品を運転する場合は、認証落下防止システムを使用してください。
- 本製品が人にぶつかるおそれがある場所に入らないでください。アームシステムが持ち上げられている場合は、アームシステムの下に入らないでください。
- 作業対象物の下に入らないでください。
- 運転中に資材が緩み、人にぶつかるおそれがある場所に入らないでください。
- 本製品は安全に運転してください。安全上のリスクをすべて排除するまで、本製品の運転を開始しないでください。
- 人を持ち上げるために本製品を使用しないでください。
- モーターをオンにしたまま本製品から離れないでください。
- 許可されていない人がリモートコントロールに近づくないようにしてください。
- 本製品から離れるときは、必ず電源コードを抜いてください。
- 転倒による負傷のリスクを低減するために、リモートコントロールケーブルと電源ケーブルに足を近づけないでください。
- 本製品が落下するおそれがある場合は、本製品とリモートコントロールをケーブル接続しないでください。
- 本製品が正常に動作しない場合は、モーターを停止してください。
- 本製品は、事故が起こったときに救助を受けられない状況では操作しないでください。
- 本製品で振動が発生する場合、または本製品の騒音レベルが異常に高い場合は、ただちに運転を停止してください。製品に損傷がないか点検します。損傷部を修復するか、認証を受けたサービス代理店に修理を依頼してください。
- 本取扱説明書には、本製品使用時に発生する可能性のあるすべての状況を記載することはできません。常識に基づいて注意して使用してください。状況が不明な場合は、本製品を運転したり、メンテナンスしたりしないでください。情報が必要な場合は、製品の専門家、販売店、サービスエージェント、または認定サービスセンターにお問い合わせください。
- 認可されたアクセサリを必ずお使いください。詳細情報は、販売店までお問い合わせください。

- 油圧オイルの温度が $90^{\circ}\text{C}/194^{\circ}\text{F}$ を超えている場合は、本製品を使用しないでください。油圧システムと電子部品が損傷するおそれがあります。
- 油圧オイルの温度が $10^{\circ}\text{C}/50^{\circ}\text{F}$ 未満の場合は、ツールを装備して本製品を運転したり、低速で使用したりしないでください。参照：製品の暖機運転 31 ページ。
- 本製品は、標高 1000 m 未満で使用してください。標高 1000 m を超える場所で本製品を運転する必要がある場合は、Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。
- 本製品を使用する場合は、周囲にパネルを取り付ける必要があります。

- 本製品の安全な動作を妨げる可能性がある人、物、状況に注意してください。
- 運転中は、図に示す作業エリア (X) および (Y) に人を入れないでください。これは、周囲の人々および作業者に適用されます。エリア (X) は本製品のレンジです。レンジの寸法 122 ページを参照してください。

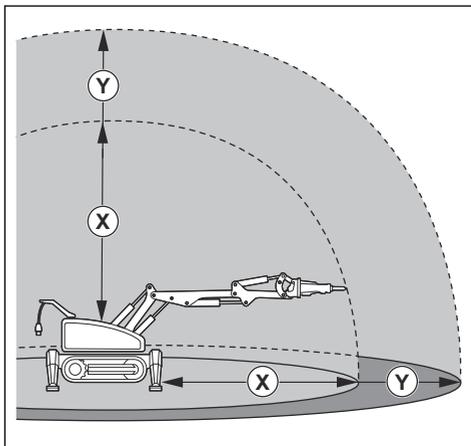
作業方法、作業対象物、ツール、表面によって、作業エリア (Y) の寸法が変わる場合があります。本製品を運転する前にリスクを確認してください。運転中に条件が変化した場合は、作業エリアを変更します。

プロテクティブ装具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を操作するときは常に、適切な身体保護具を使用してください。身体保護具を使用しても、負傷の危険性はなくなりません。身体保護具を使用すると、事故が発生した場合に負傷の程度が軽減されます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。
- 本製品を操作するときは、認可された防護メガネを使用してください。
- 緩くないが、自由に動ける丈夫な衣服を着用してください。
- しっかりと握ることができる、認可された保護手袋を使用してください。
- 認可された保護ヘルメットを使用してください。
- 本製品を操作するときは必ず、認証されたイヤマフを使用してください。長時間の騒音によって聴力が低下するおそれがあります。
- 本製品は、有害な化学物質を含んだ粉塵や煙霧を発生させる場合があります。認定の呼吸器保護具を使用してください。
- 洗浄剤、グリース、油圧オイルなどの化学物質が皮膚に触れないようにしてください。
- 落下のおそれがある場所で本製品を運転する場合は、認証落下防止システムを使用してください。
- つま先部分がスチール製で、ノンスリップ靴底のブーツを着用してください。
- 救急用具が近くにあることを確認してください。
- 本製品を操作するときに、火花が生じる場合があります。消火器が近くにあることを確認してください。



- 作業現場に誰も入れないよう封鎖します。
- 高い場所で作業する場合は、作業エリアを広くします。危険エリアは地上で封鎖します。資材が落下して負傷しないように注意してください。
- 作業エリアには十分な照明を確保してください。
- 本製品は、遠距離からリモートコントロールで操作できます。本機と危険エリアをはっきりと視認できない場合は、本製品を操作しないでください。視野が不十分な場合は、カメラシステムを使用します。
- 作業エリアから障害物を取り除いてください。
- 地面で滑るおそれがある場合は注意してください。
- 地面の状態と支持構造を確認して、資材、装置、人が転倒しないことを確認します。
- 火災や爆発が発生する可能性のある場所では、本製品を使用しないでください。
- 配管や電気ケーブルが、切断される資材を通っていないことを確認します。配管と電気ケーブルが作業エリアのどこにあるかマークします。
- 作業エリア内の配管に何も流れていないことを確認します。作業エリア内の電気ケーブルが外れていることを確認します。本製品が空中の電線に近づかないようにしてください。

作業エリアの安全



警告： 作業エリアに人、子供、動物が入らないことを確認してください。人や動物がエリアに入った場合は、ただちに本製品を停止してください。

電気保安



警告： 電気製品を使用する場合は、常に感電の危険性があります。濃霧、大雨、強風、砂嵐など、気象条件が悪いときは、本製品を使用しないでください。負傷を防止するため、必ず本取扱説明書に記載されているとおりに本製品を使用してください。



警告： 電流が身体を流れることによる最も重大な生理学的影響は、心臓に与える影響です。このため、サービス担当者は心肺蘇生法（CPR）や自動体外式除細動器（AED）の使用を含む救急の訓練を受ける必要があります。

- 電源とそのヒューズ、および主電源の電圧が、本製品の銘板に記載された電圧と同じであることを確認してください。主要諸元 112 ページを参照してください。
- 熱、オイル、鋭利な角、または可動部に電源ケーブルを近づけないでください。破損した電源ケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。
- 電源プラグを外す前に、必ず本製品を停止してください。
- 電源コードまたは電源プラグが損傷している場合は、本製品を使用しないでください。認定サービスセンターに修理を依頼してください。電源コードが損傷していると、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。
- 本製品を移動するときや、アウトリガーを引っ込めたり伸ばしたりするとき、電源ケーブルが本製品の下に入らないようにしてください。
- 電源コードは正しく扱ってください。本製品を移動したり、引いたり、接続を外す際に電源コードを引っ張らないでください。プラグ部を持って電源コードを外してください。電源コードを引っ張らないでください。
- 本製品の電気機器が濡れるほどの水の深さがある場所では、本製品を運転しないでください。電気機器が損傷したり、本製品に電気が流れて負傷したりするおそれがあります。
- 本製品が電源に接続されているときは、電気ボックスを開かないでください。電気ボックス内の一部の部品は常時通電しています。
- 本製品は、常に 30 mA の接地故障で解放される漏電遮断回路に接続してください。

製品の接地に関する説明



警告： 正しく接続されていないと、感電するおそれがあります。お使いの主電源コンセントが正しく接地されているかどうか不明な場合は、認定電気技術者に相談してください。

電源プラグを工場出荷時の仕様から改造しないでください。電源プラグまたは電源ケ

ーブルが損傷しているか、交換する必要がある場合は、Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。現地の法規制に従ってください。

接地された製品の説明が十分に理解できない場合は、認定電気技術者に相談してください。

本製品の電源プラグに対応している接地プラグと接地用コンセントを備えた、接地端子付き屋外用延長ケーブルのみを使用してください。

本製品には接地電源コードと電源プラグが付いていません。本製品は必ず接地された電源コンセントに接続してください。これにより、不具合が発生した場合の感電の危険性が低減されます。

本製品に電気アダプターを使用しないでください。

延長ケーブル

- 十分な長さの認定済み延長ケーブルのみを使用してください。
- 延長ケーブルの定格値は、本製品の銘板に記載されている値以上でなければなりません。
- 接地端子付きケーブルを使用してください。
- 屋外で本製品を操作する場合は、屋外での作業に適した延長ケーブルを使用してください。これにより、感電の危険性が低減されます。
- 延長ケーブルの接続部は濡れないように保ち、地面に接触しないようにしてください。
- 熱源、油、鋭利な角、可動部に延長ケーブルを近づけないでください。破損したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。
- 延長ケーブルの状態が良好で、損傷していないことを確認してください。
- 延長ケーブルを巻いた状態で使用しないでください。延長ケーブルが過熱するおそれがあります。

バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- お使いの製品に推奨されている Li-ion バッテリーのみを使用してください。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。
- 本製品には純正のバッテリーのみ使用してください。バッテリーを不適切な種類のバッテリーと交換すると、爆発するおそれがあります。詳細情報は、販売店までお問い合わせください。
- 再充電可能な Li-ion バッテリーのみを、対応する Husqvarna 製品の電源として使用してください。負傷を防ぐため、このバッテリーを他の装置の電源として使用しないでください。
- 感電するおそれがあります。バッテリーの端子を鍵、ネジ、その他の金属に接触させないでください。バッテリーが短絡する原因になります。

- バッテリーから漏れが発生した場合、身体や目に液体が触れないようにしてください。液体が人体に触れた場合は、触れた箇所を大量の水で洗い流して、医療機関に相談してください。
- 再充電できないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーを改造しないでください。
- バッテリーのエアスロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリーは直射日光や熱、裸火から離してください。バッテリーが爆発して、やけどや化学熱傷を負うおそれがあります。
- バッテリーは雨から遠ざけて、濡れない状態に維持してください。
- バッテリーは電子レンジや高圧から離してください。
- バッテリーを分解したり壊したりしないでください。
- バッテリーは周囲温度 $-20\sim 60^{\circ}\text{C}$ ($-4\sim 140^{\circ}\text{F}$) で使用してください。
- バッテリーは周囲温度 $10\sim 45^{\circ}\text{C}$ ($50\sim 113^{\circ}\text{F}$) で充電してください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器は、水で洗浄しないでください。バッテリーとバッテリー充電器の清掃 70 ページを参照してください。
- 不具合や損傷のあるバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーはくぎ、ネジ、または宝飾品などの金属から離して保管してください。
- バッテリーは子供が近づけない場所に保管してください。

操作上の安全

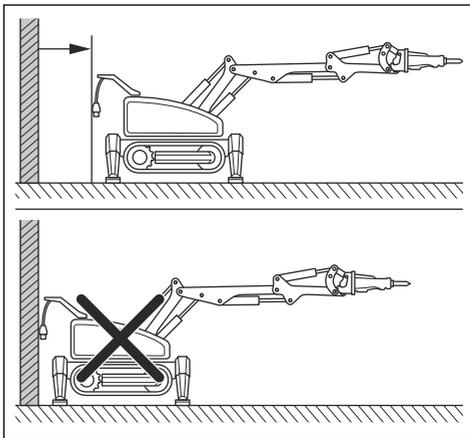


警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

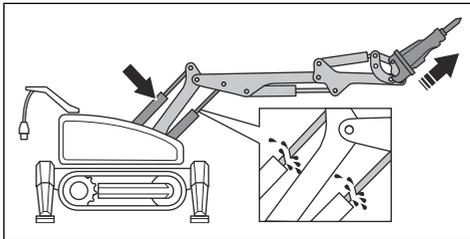
- 本製品のどの側面が前部で、どの側面が後部であるかを把握してください。誤った操作を防止するため、キャタピラトラックの側面にある前進方向マークを参照してください。
- アウトリガーを引き込むときは、アームシステムが引き込まれていることを確認します。これにより、本製品が転倒するリスクが低減されます。
- ブレーカーまたはバケットを使用して運転している間は、アウトリガーが地面から離れてもかまいません。残りの支持機構の負荷を最小限に抑えるには、アウトリガーを地面に近づけたままにします。
- 狭いスペースでは、アウトリガーを伸ばせない場合があります。アウトリガーが伸びていない場合は、操作を調整してください。アウトリガーが伸びていない場合、アームシステムを動かしたときに本製品が転倒するリスクが高まります。
- ブレーカーを使用して運転すると、本製品が傾くリスクが高まります。これにより、大きな力が加わってアウトリガーが地面にぶつかるおそれがあります。

す。これが起こる場合に、損傷や負傷のリスクがないことを確認してください。

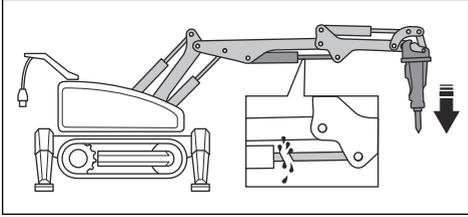
- タワーが横方向に回転するときは、アウトリガーが伸びていることと、アームシステムが地面の近くで動作することを確認します。
- タワーは慎重に操作してください。操作を開始する前は、回転方向がわかりにくくなっています。
- 作業対象物をアームシステムやタワーにぶつけないでください。取り付けられているツールは、運転にのみ使用してください。
- 運転中は、本製品をできるだけ水平にして、アウトリガーを完全に伸ばしてください。アウトリガーが引き込まれている場合は、アームシステムを操作しないでください。
- 本製品を作業対象物の近くに配置して、アームシステムの負荷を減らします。これにより、本製品が転倒するリスクが低減されます。
- 作業対象物に対する力を大きくするために、壁やその他の物に本製品を固定しないでください。これにより、本製品およびツールに過負荷が発生するおそれがあります。



- 過負荷を防ぐため、シリンダーは、内部または外部の末端位置で動作させないでください。末端位置までは少し距離を保ってください。
- ブレーカーを上方向に操作するときは、シリンダーを末端位置に向かって動作させないでください。これにより、シリンダー 1 および 2 が損傷するおそれがあります。



- ブレーカーを下方方向に操作するときは、シリンダーを末端位置に向かって動作させないでください。シリンダー 3 が損傷するおそれがあります。



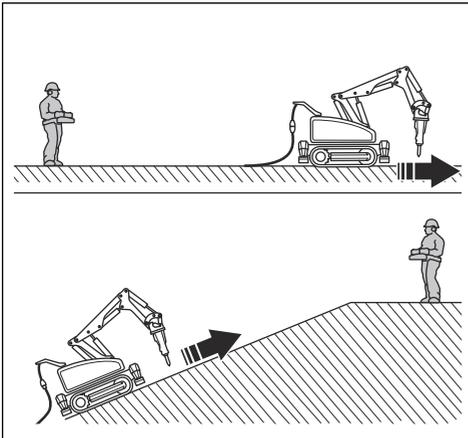
- DXR 315 : 伸縮式アームを使用して、ツールを作業対象物へ押し付けしないでください。
- 作業が完了したら、アームシステムを地面に下ろしてから、本製品を停止します。

斜面での操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 作業エリアが安全であることを確認します。斜面や起伏のある地面では十分注意してください。土壌が濡れて緩んでいると、事故のリスクが高まります。最大傾斜角度については、**主要諸元 112** ページを参照してください。
- 平らな地面で運転している間は、本製品の後ろ側または横を歩いてください。斜面での運転中は十分に注意してください。本製品より下側では、歩行したり立ち止まったりしないでください。本製品は重いので、落下した場合は重傷を負う可能性があります。



- 地面の緩み、振動、動作速度により、本製品は角度が小さな斜面で転倒するおそれがあります。
- 傾斜面で運転する場合は、地面が十分に安定していることを確認してください。
- 斜面では、ゆっくりとスムーズに移動してください。

- 斜面では、左右ではなく上下に本製品を運転します。アームシステムが斜面の方向に向いていることを確認します。
- 突然の予期しない動きを防ぐために、キャタピラートラックとタワを同時に操作しないでください。
- 斜面では、アームシステムとアウトリガーをできるだけ低く保ちます。
- 斜面での運転中に、突然の予期しない動きが発生するリスクがある場合は、本製品を固定してください。
- 運転中に本製品が転倒することがないようにしてください。負傷や損傷のおそれがあります。
- 本製品を駐車する必要がある場合は、地面が平らであることを確認してください。アームシステムを引き、ツールを水平な地面に置きます。

地面の端付近での操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品が地面の端の近くにある場合は、ケーブル接続で操作しないでください。無線接続操作のみを使用してください。
- 地面が十分に安定していない状態で不適切な操作を行うと、本製品が予期しない動きをするおそれがあります。シャフトや溝の近くで、または高所で運転する場合は注意してください。
- 地面の端の近くで運転する場合は、必ず本製品および緩んだツールを固定してください。
- 運転中は本製品が安定していて、地面の端の近くで移動しないことを確認してください。
- 本製品の重量に対して、地面が十分に安定していることを確認してください。**主要諸元 112** ページを参照してください。
- 地面が本製品からの振動を支えられることを確認します。運転中は、振動が本製品から地面に伝わります。

起伏のある地面での操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 起伏のある地面で本製品を移動するときは、アウトリガーを地面のすぐ上まで伸ばします。
- アームシステムを使用して、キャタピラートラックを起伏のある地面の上で持ち上げることができません。過度に高い位置で、アームシステムを回したり持ち上げたりしないでください。本製品が転倒するおそれがあります。
- 地面に起伏があると、本製品が傾いたり転倒したりすることがあります。アームシステムを引き込んで、重心を本製品の中心の近くに移動します。これにより、本製品が転倒するリスクが低減されます。
- 支圧強度が不十分な地面では、本製品の向きが変わったり転倒したりするおそれがあります。本製品を

始動する前に、必ず地面を点検してください。また、支圧強度が不十分な資材の下に穴がないことを確認してください。

- 滑らかな表面では、キャタピラートラックは摩擦が小さくなります。水、塵、汚れによって、さらに摩擦が小さくなる可能性があります。摩擦が小さいと、本製品に予期しない動きが発生するリスクが高まります。

スチール製キャタピラートラックの操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 硬い斜面では、スチール製キャタピラートラックを使用しないでください。スチール製キャタピラートラックの摩擦が低く、本製品がスライドし始める可能性があります。
- スチール製キャタピラートラックは、ゴム製キャタピラートラックよりも重くなっています。参照：主要諸元 112 ページ。

長い作業ツールを装備したブレーカの操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を搬送する前に、作業ツールを取り外してください。
- 長い作業ツールを使用すると、ブレーカとブレーカブッシュの摩耗が進みます。
- ブレーカに側面荷重をかけないでください。側面荷重は、作業ツールを破損する可能性があります。
- ブレーカの周辺速度を下げるために本製品の速度を 50 % 未満に下げ、長い作業ツールを設置した場合に制御性を向上させます。

本製品の安全装置

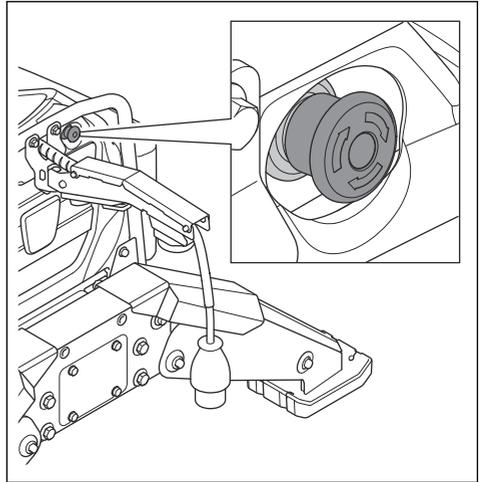


警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全装置に欠陥のある製品は使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。安全装置に問題がある場合は、Husqvarna 認定サービス代理店にご相談ください。
- 安全装置は改造しないでください。

製品の緊急停止ボタン(DXR 145)

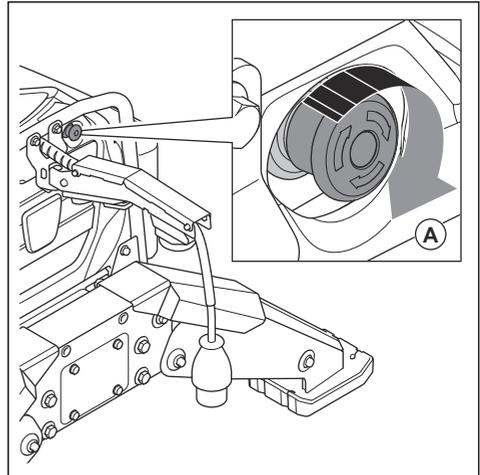
緊急停止ボタンは、モーターとすべての危険な動きを即座に停止するために使用します。



注意： 緊急停止ボタンは本製品の停止ボタンとして使用しないでください。

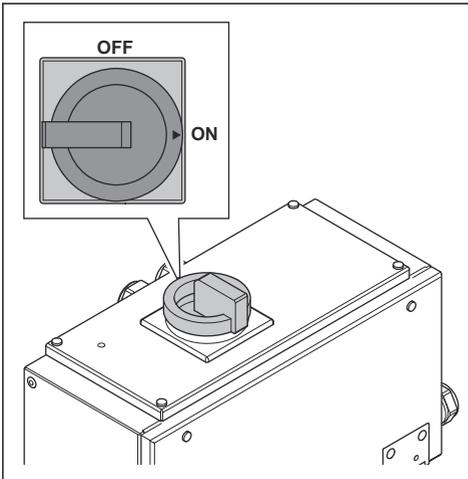
製品の緊急停止ボタンの点検(DXR 145)

- 緊急停止ボタン (A) を時計方向に回して、緊急停止を解除します。



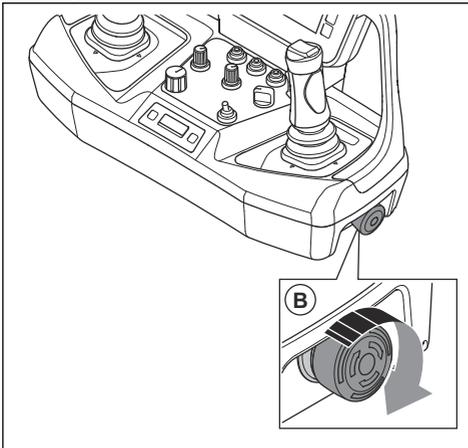
- 本製品の右ハッチを開きます。

3. メインスイッチを ON 位置に回します。

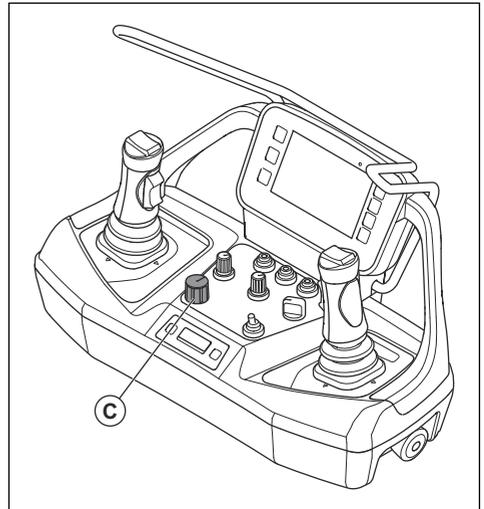


4. リモートコントロールを持って、作業エリアから出ます。

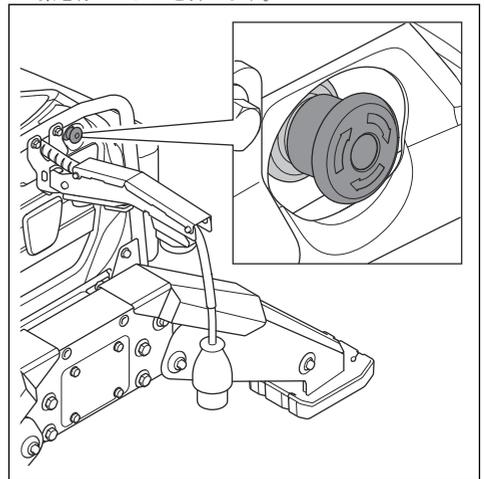
5. 機器停止ボタン (B) が解除されていることを確認します。



6. OFF/ON/START スイッチ (C) を START 位置に回します。



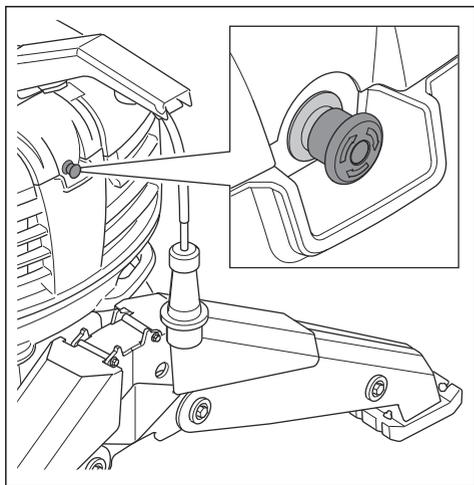
7. 緊急停止ボタンを押します。



8. 緊急停止ボタンを時計方向に回して解除します。

製品の緊急停止ボタン(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

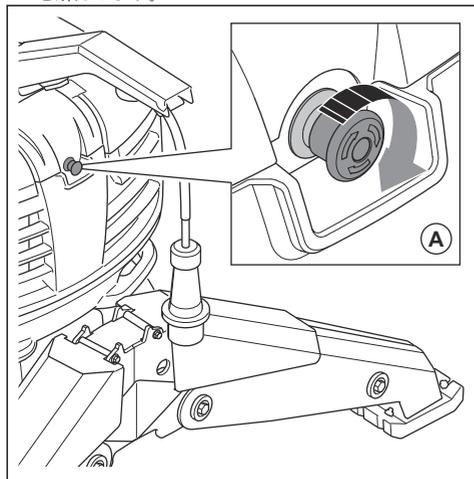
緊急停止ボタンは、モーターとすべての危険な動きを即座に停止するために使用します。



注意： 緊急停止ボタンは本製品の停止ボタンとして使用しないでください。

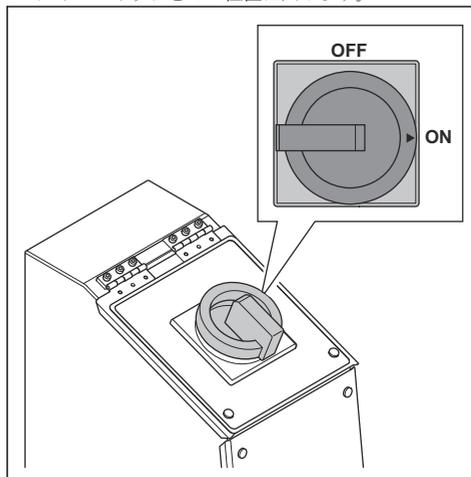
製品の緊急停止ボタンの点検(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 緊急停止ボタン (A) を時計方向に回して、緊急停止を解除します。

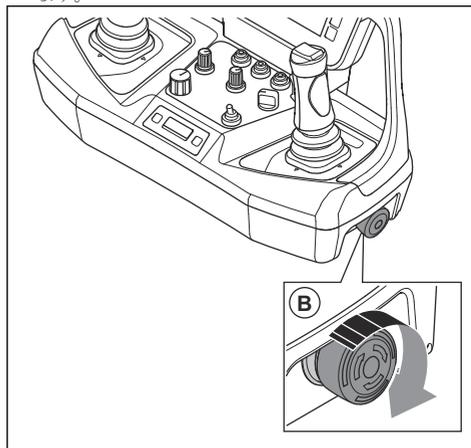


2. 本製品の右ハッチを開きます。

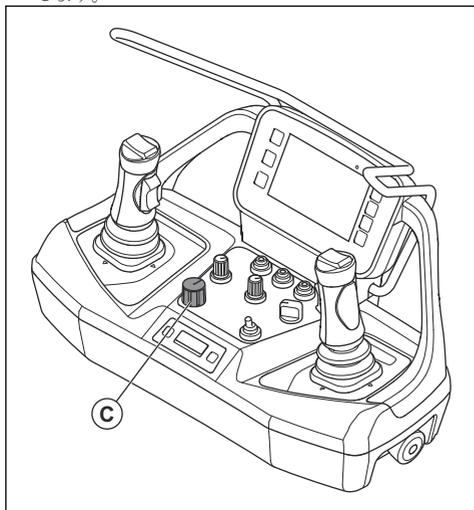
3. メインスイッチを ON 位置に回します。



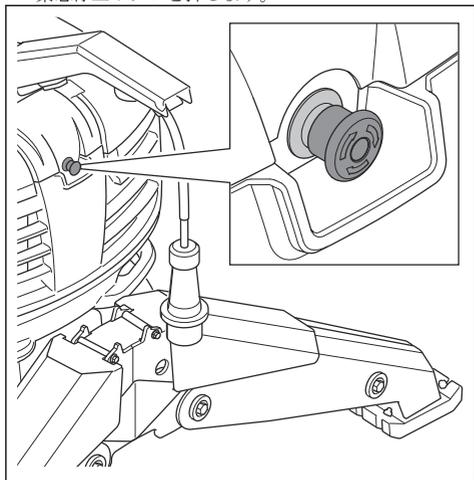
4. リモートコントロールを持って、作業エリアから出ます。
5. 機器停止ボタン (B) が解除されていることを確認します。



6. OFF/ON/START スイッチ (C) を START 位置に回します。



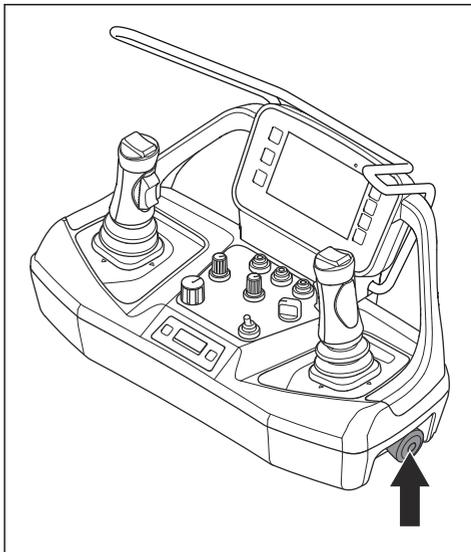
7. 緊急停止ボタンを押します。



8. 緊急停止ボタンを時計方向に回して解除します。

リモートコントロールの機器停止ボタン

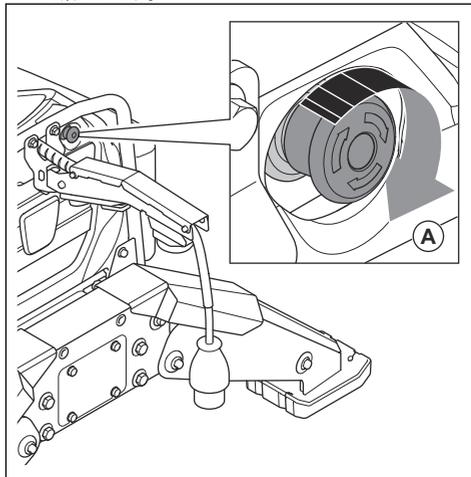
機器停止ボタンは、モーターを即座に停止させるために使用します。



注意： 機器停止ボタンは、本製品の停止ボタンとして使用しないでください。

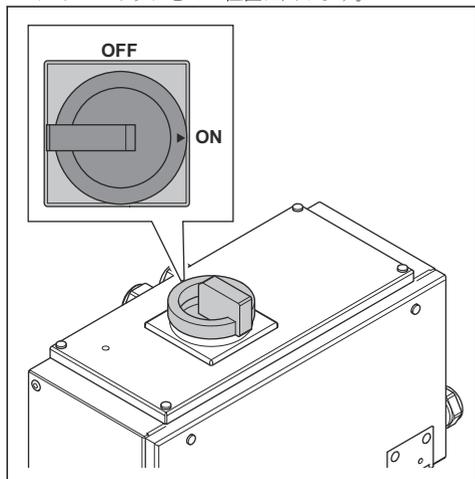
リモートコントロールの機器停止ボタンの点検(DXR 145)

1. 緊急停止ボタン (A) を時計方向に回して、緊急停止を解除します。

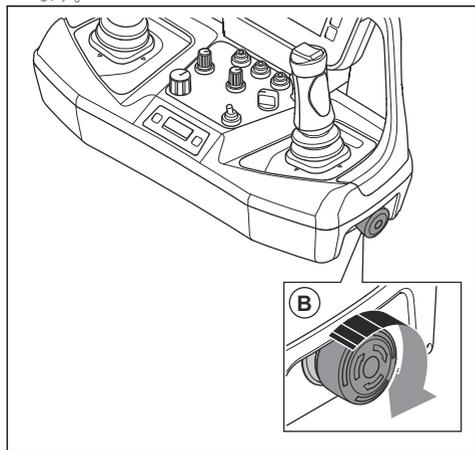


2. 本製品の右ハッチを開きます。

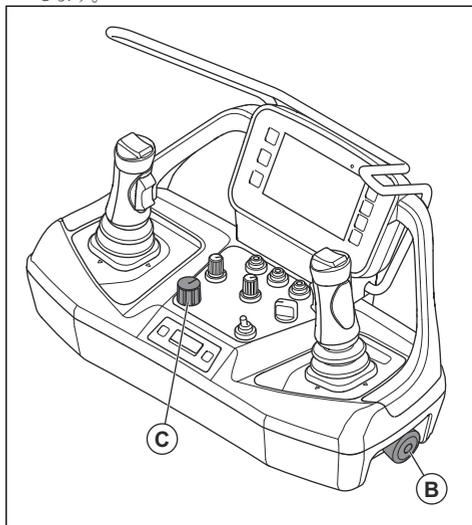
3. メインスイッチをON位置に回します。



4. リモートコントロールを持って、作業エリアから出ます。
5. 機器停止ボタン (B) が解除されていることを確認します。



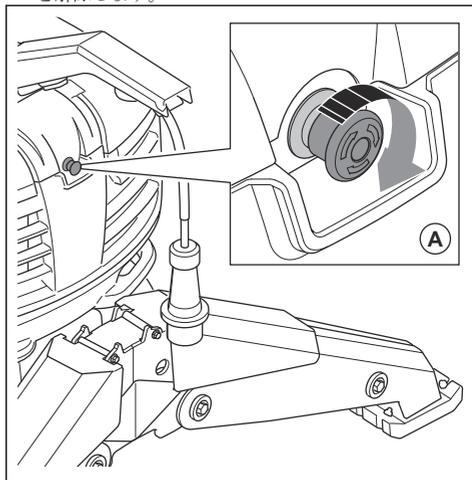
6. OFF/ON/START スイッチ (C) を START 位置に回します。



7. 機器停止ボタン (B) を押します。
8. 機器停止ボタン (B) を回して、機器停止を解除します。

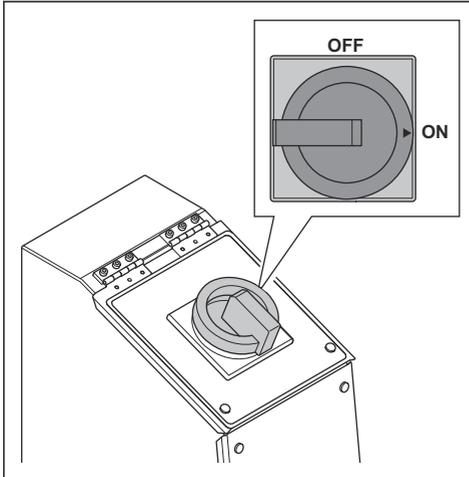
リモートコントロールの機器停止ボタンの点検(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 緊急停止ボタン (A) を時計方向に回して、緊急停止を解除します。

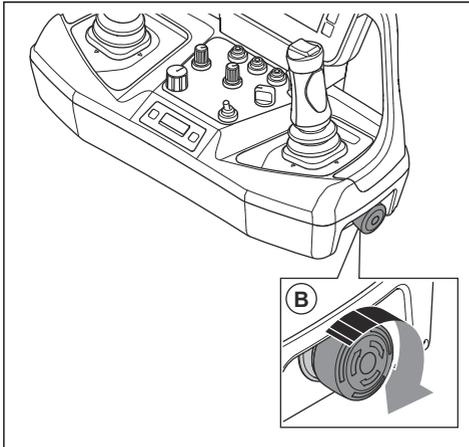


2. 本製品の右ハッチを開きます。

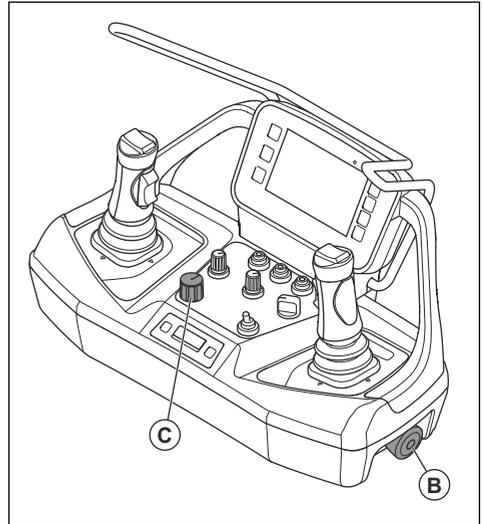
3. メインスイッチを ON 位置に回します。



4. リモートコントロールを持って、作業エリアから出ます。
5. 機器停止ボタン (B) が解除されていることを確認します。



6. OFF/ON/START スイッチ (C) を START 位置に回します。



7. 機器停止ボタン (B) を押します。
8. 機器停止ボタン (B) を回して、機器停止を解除します。

緊急下降装置

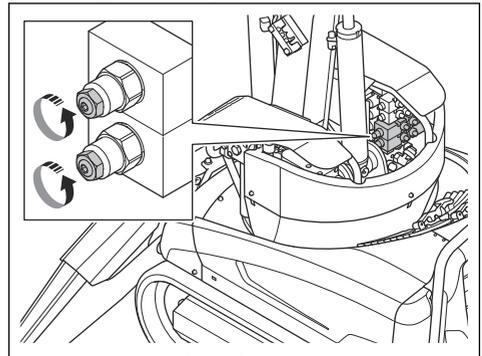
本製品が正常に動作しない場合、またはモーターに故障が発生した場合は、緊急下降装置を使用してアームシステムを手動で地面に下ろします。



警告： 本製品が正常に動作しない場合、作業者は、本製品が安定して安全な状態になるまで、本製品に留まる必要があります。

緊急下降装置の操作(DXR 145)

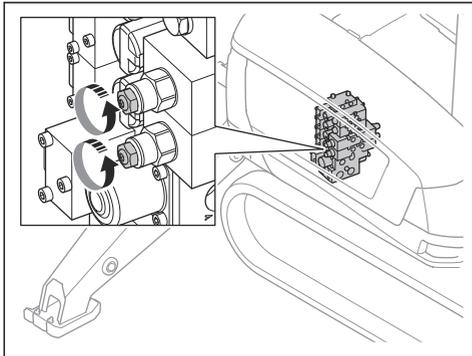
1. 各バルブのロックナットを数度回して、調整ネジのロックを解除します。



2. 各バルブの調整ネジを締めて、油圧を解放します。アームシステムが地面まで下がります。
3. アームシステムが地面に着いて、本製品が安定するまで、本製品のそばにいてください。

緊急下降装置の操作(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 本製品の右側サイドカバーを取り外します。
2. 各バルブのロックナットを数度回して、調整ネジのロックを解除します。



3. 各バルブの調整ネジを締めて、油圧を解放します。アームシステムが地面まで下がります。
4. アームシステムが地面に着いて、本製品が安定するまで、本製品のそばにいてください。

安全重要部品

安全重要部品の整備は、Husqvarna サービス代理店に依頼してください。必ず同じ交換部品を使うようにします。安全重要部品は改造しないでください。安全重要部品は、安全 PLC、緊急停止ボタン、AC 接触器、回転バルブ、循環バルブ、圧力センサー、ポンプ、リモートコントロールです。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。



警告： 感電は、負傷や死亡につながるおそれがあります。すべての点検とメンテナンス作業は、モーターを停止し、電源プラグを外した状態で実施します。

- すべての部品を良好な状態に保ち、付属品を適切に固定してください。
- 摩耗した部品を交換します。破損または摩耗した部品を使用したまま本製品を使用すると、機械的破損のリスクが高まります。
- 摩耗または紛失した標識やステッカーは交換しません。
- 不具合のある製品は使用しないでください。本取扱説明書に記載されている安全点検、メンテナンス、保守作業のみを行ってください。他のすべてのメンテナンス作業は、認定サービス代理店が実施する必要があります。
- メンテナンスを行うために必要なトレーニングを受けていることを確認してください。
- リフト装置を使用して、重量のある製品部品を持ち上げ、メンテナンス中は安定した位置に保持します。メンテナンス前に製品部品を機械的にロックし、可動部品による負傷を防ぎます。
- 本製品から離れる場合は、ロックアウト/タグアウト手順を実行してください。
- 認定されたサービス担当者のみが、電気システムと油圧システムのメンテナンスを実施できます。
- メンテナンスを実施し、本製品が正常に作動することを確認します。メンテナンスのスケジュール **67** ページを参照してください。
- 油圧漏れのトラブルシューティングは、手を使って行わないでください。トラブルシューティングは目視で行います。

Operation (動作)

はじめに



警告： 本製品を操作する前に、安全に関する章をお読みにになり、内容を理解してください。

本製品を操作する前の作業

1. この取扱説明書をよくお読みにになり、内容をしっかりと把握してください。

2. 必要な身体保護具を着用します。プロテクティブ装具 **20** ページを参照してください。
3. リモートコントロールハーネスを使用して、身体を正しい位置に保ち、負傷を防止します。
4. 作業エリアに人がいないことを確認してください。
5. 毎日のメンテナンスを実施します。メンテナンスのスケジュール **67** ページを参照してください。
6. 製品に損傷がないか確認します。

7. 本製品にツールを取り付けます。ツールが正しく安全に取り付けられていることを確認します。ツールの製品への取り付けと取り外し 32 ページを参照してください。
8. 本製品の安全装置に不具合がないことを確認します。
9. 作業エリアに本製品を置きます。作業エリアへの搬送および作業エリア内での搬送は安全かつ適切に実施してください。搬送 108 ページを参照してください。
10. 電源コードおよび延長ケーブルの状態が良好で、損傷していないことを確認してください。
11. 本製品を電源に接続します。本製品と電源の接続 31 ページを参照してください。
12. 使用していないドライバーやその他の物などの工具が本製品から取り除かれていることを確認します。
13. 油圧オイルの温度が 10 °C/50 °F 以上であることを確認します。製品の暖機運転 31 ページを参照してください。

本製品と電源の接続



警告： 本製品は、必ず人身保護機能を搭載した RCD を介して接続してください。RCD は 30 mA の接地故障で作動する必要があります。

1. 電圧が本製品に対応しており、正しいヒューズが使用されていることを確認します。主電源ソケットに接続するためのガイド値 118 ページを参照してください。
2. 本製品の電源プラグを延長ケーブルに接続します。
3. 延長ケーブルをコンセントに接続します。

製品の暖機運転



注意： 油圧オイルの温度が 10 °C/50 °F 未満の場合は、最大ポンプ圧を使用しないでください。アウトリガーまたはアームシステムを最大まで伸ばすと、ポンプ圧が最大になります。

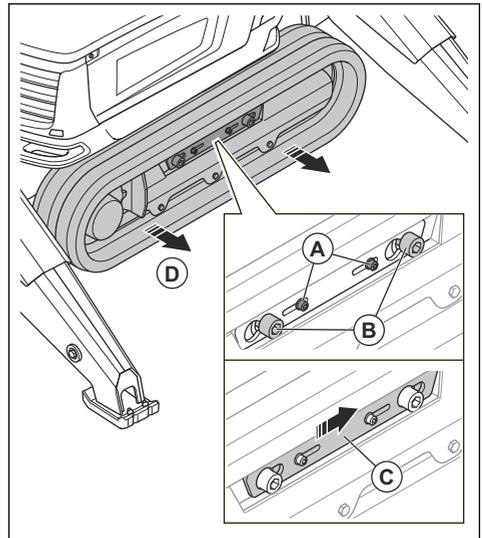
1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
2. アウトリガーを伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
3. まず、キャタピラートラックをゆっくり動作させてから、速度を上げます。
4. アームシステムをすべての方向にゆっくりと動かします。アームシステムに負荷がないことを確認します。
5. 油圧オイルの温度を点検します。最適作業温度は 40 ~ 55 °C (104 ~ 131 °F) です。

6. 温度が不適切な場合は、手順をもう一度実行します。

キャタピラートラックワイドナーの取り付けと取り外し (DXR 275, DXR 305, DXR 315)

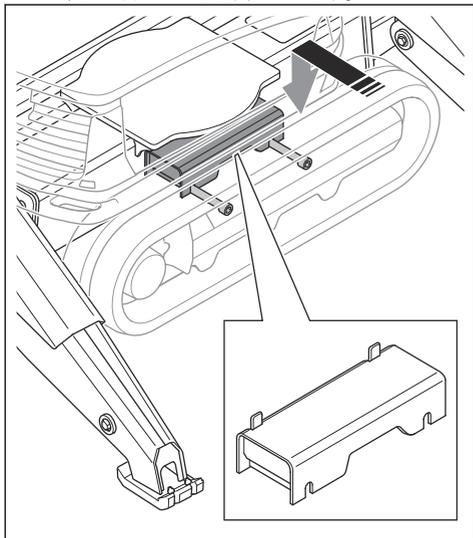
キャタピラートラックワイドナーにより、本製品の安定性が高まります。

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
2. 本製品を安定した面に置きます。
3. アウトリガーを伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. 本製品を停止します。本製品の停止方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
5. 各キャタピラートラックについて、次の手順を実行します。
 - a) キャタピラートラックワイドナーの 4 本のネジ (A) および (B) を緩めます。

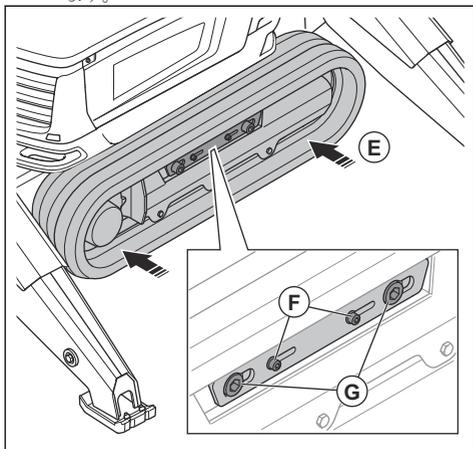


- b) プレート (C) を横に押します。
- c) キャタピラートラック (D) を止まるまで引き出します。
- d) キャタピラートラックと製品の間、キャタピラートラックワイドナーのための十分な距離があることを確認します。必要に応じて、2 本のネジ (B) をさらに緩めます。キャタピラートラック (D) を止まるまで引き出します。

- e) キャタピラートラックワイドナーを取り付けます。キャタピラートラックワイドナーの穴が、本製品に向いている必要があります。



- f) キャタピラートラック (E) を本製品に押し付けます。



- g) キャタピラートラックワイドナー用の 2 本の M10 ネジ (F) と 2 本の M24 ネジ (G) を締め付けます。M10 ネジを 47 Nm、M24 ネジを 500 Nm のトルクで締め付けます。

6. 逆の順序で、キャタピラートラックワイドナーを取り外します。

ツールの製品への取り付けと取り外し

ツールが本製品に取り付けられていない場合は、ツールのホースを必ず互いに接続してください。

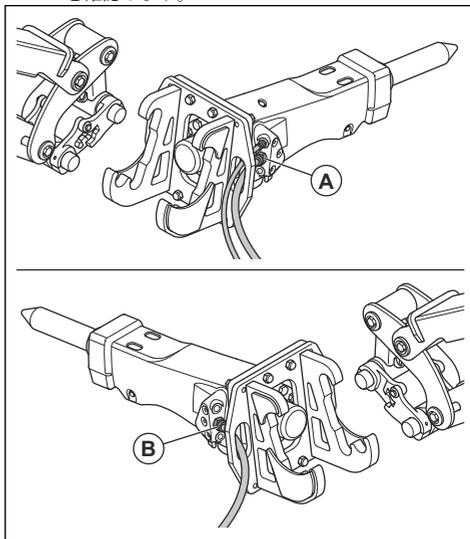


警告： ツールが正しく安全に取り付けられていることを確認します。ツールが本製品から落下すると、重傷につながるおそれがあります。



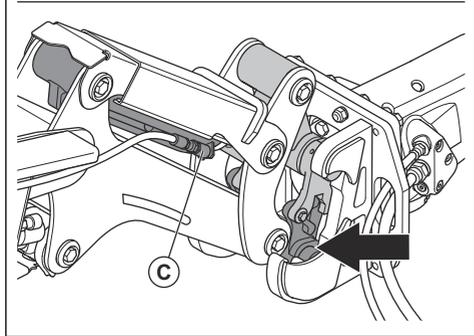
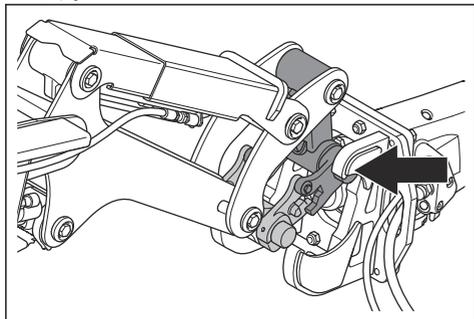
警告： ツールを交換するときに、作業エリアに入る必要がある場合があります。ツールを交換している間に本製品が誤って始動しないようにし、本製品をすばやく停止できるようにしておきます。挫傷のリスクがある場所に手足を近づけないでください。

1. 本製品の油圧カップリングから汚れを取り除きます。
2. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
3. 本製品を安定した面に置きます。
4. アウトリガーを伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
5. ツールを本製品の前に置きます。ツールのホルダーは、本製品に向いている必要があります。
6. ツールが正しい位置にあることを確認します。次の手順を実行します。
 - a) リターンホースが本製品の右側 (A) にあることを確認します。

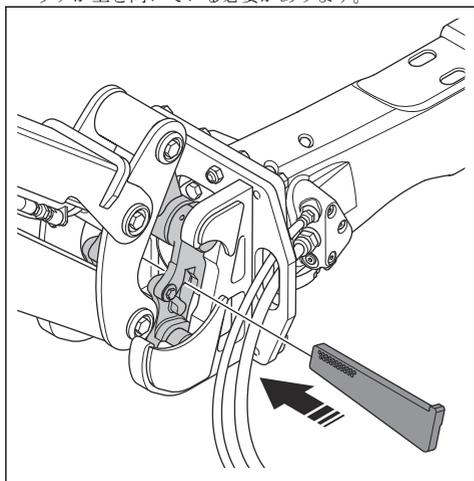


- b) ツールの圧力ホースが本製品の左側 (B) にあることを確認します。
7. アームシステムのツールホルダーがツールを保持するまでアームシステムを動かします。

8. アームシステムを持ち上げ、シリンダー4 (C) を完全に引き込んで、ツールをツールホルダーに固定します。

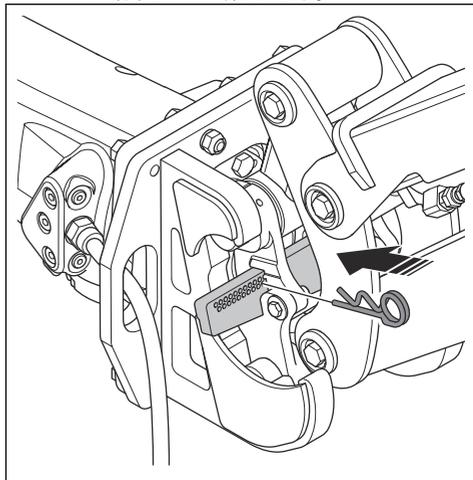


9. リモートコントロールの OFF/ON/START スイッチを OFF 位置に回します。
10. クサビを右から取り付けます。クサビのストップノッチが上を向いている必要があります。

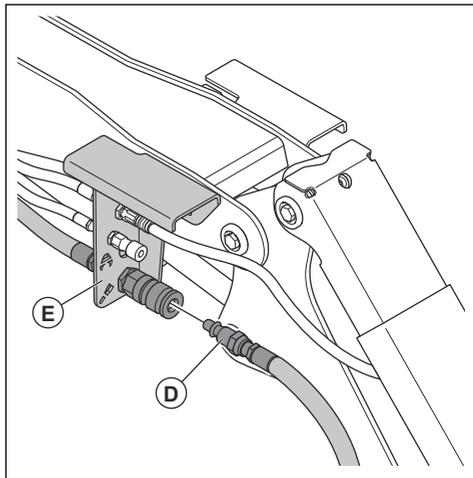


11. ハンマーを使用して、クサビを完全にロックします。

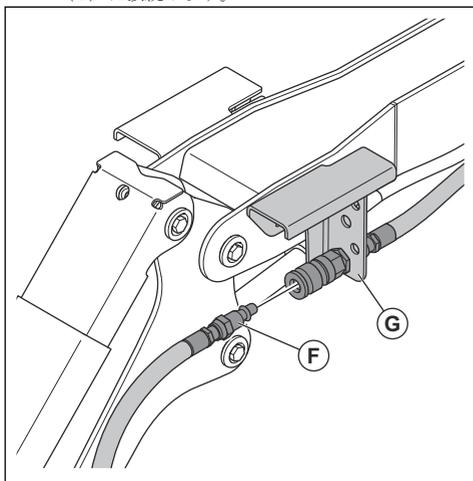
12. ロックピンをクサビに取り付けます。ロックピンをツールに最も近い穴に挿入します。



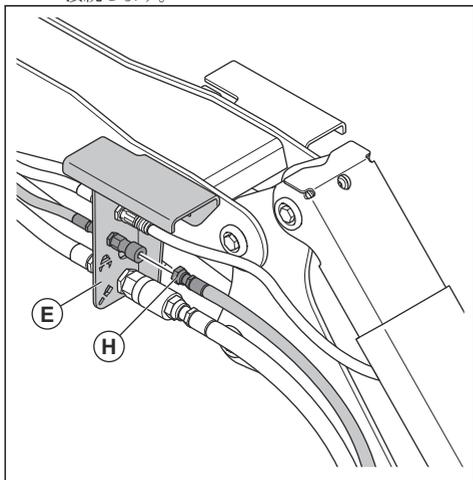
13. ホースをツールから本製品に接続します。次の手順を実行します。ツールを後部側から見ます。
- a) リターンホース (D) を本製品の右側にある A ポート (E) に接続します。



- b) 圧力ホース (F) を本製品の左側にある B ポート (G) に接続します。



- c) DXR 305 およびブレーカーの場合: リターンホース (H) を本製品の右側にある A ポート (E) に接続します。



14. 逆の手順でツールを取り外します。

アクセサリパック

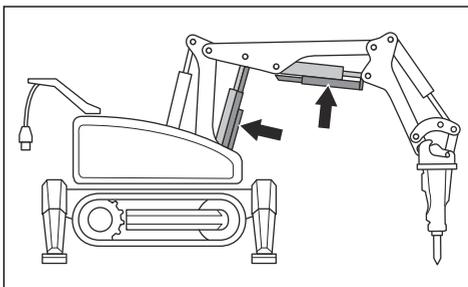
本製品の損傷を防ぎ、本製品の作業エリアを広げるために、さまざまなアクセサリパックをご用意しています。以下の表を参照してください。アクセサリパックは、工場出荷時に取り付けすることも、本製品に取り付けすることもできます。アクセサリパックが工場出荷時に取り付けられていない場合は、Husqvarna 認定サービス代理店に取り付けを依頼します。

注記: アクセサリパック P2 および P3 は、工場出荷時のモデル DXR 145 に設置できません。

アクセサリ	アクセサリパック P1	アクセサリパック P2	アクセサリパック P3
シリンダーガード。参照: シリンダーガード 34 ページ。	X	X	X
追加の油圧機能。参照: 追加の油圧機能(DXR 145)35 ページおよび 追加の油圧機能(DXR 275, DXR 305, DXR 315)35 ページ。	X	X	X
冷却キット。参照: 冷却キット(DXR 275, DXR 305, DXR 315)35 ページ。		X	X
過熱防止キット。参照: 過熱防止キット (DXR 275, DXR 305, DXR 315 および SB 202/302) 36 ページ。			X

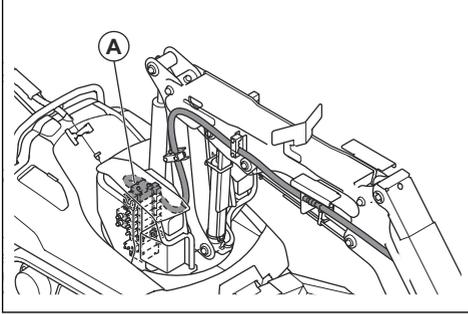
シリンダーガード

シリンダーガードは、シリンダー 2 およびシリンダー 3 のピストンとシリンダーの損傷を防ぎます。



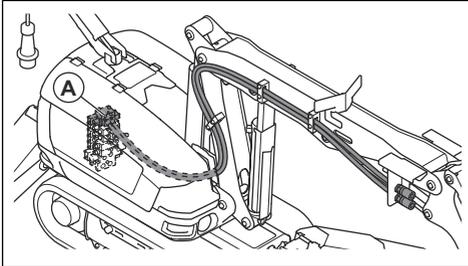
追加の油圧機能(DXR 145)

追加の油圧機能 (A) により、鉤と鋼製はさみを回転させることができます。



追加の油圧機能(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

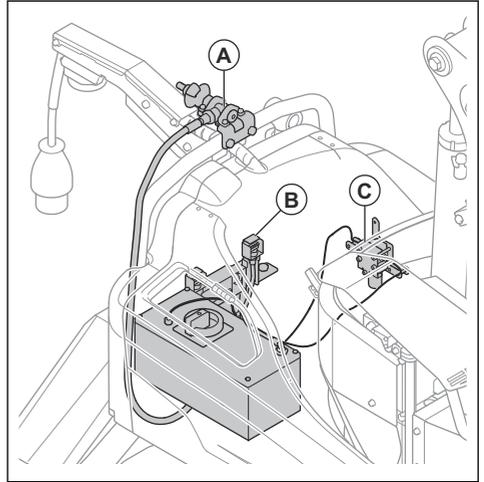
追加の油圧機能 (A) により、鉤と鋼製はさみを回転させることができます。



冷却キット(DXR 145)

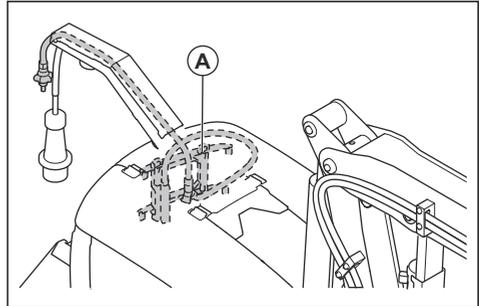
冷却キット (A) は周囲温度が高いときに使用します。外部エアコンプレッサのホースが本製品に接続されています。エアフローは、本製品を冷却するために使用されます。冷却キットは本製品の加熱を防ぎます。参照：冷却および加熱キットの動作温度 114 ページ。本製品を高温で始動する前に、ホースを本製品に接続してください。エアフローが低下している場合は、背面ノズル (B) を閉じて、電気ボックスが高温にならないようにします。(DXR 145)の冷却キットには、エアフィルターと、湿気を分離するための自動システム (C) が含まれています。

このシステムは湿気のある空気を電気ボックスから遠ざけます。エアフィルターは定期的に交換してください。



冷却キット(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

冷却キット (A) は周囲温度が高いときに使用します。外部エアコンプレッサのホースが本製品に接続されています。エアフローは、本製品を冷却するために使用されます。冷却キットは本製品の加熱を防ぎます。参照：冷却および加熱キットの動作温度 114 ページ。本製品を高温で始動する前に、ホースを本製品に接続してください。エアフローが低下している場合は、背面ノズルを閉じて、電気ボックスが高温にならないようにします。



過熱防止キット (DXR 145)

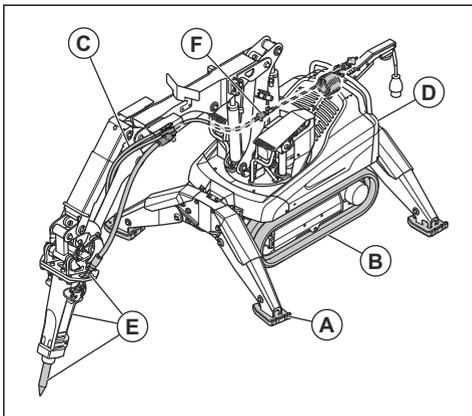
過熱防止キットは、周囲温度が局所的に非常に高いときに使用します。参照：冷却および加熱キットの動作温度 114 ページ。過熱防止キットは、販売店が取り付けることができるアクセサリです。

本製品の過熱防止キットには、スチール製アウトリガーフット (A)、スチール製キャタピラートラック (B)、シ

リンダー 4 用耐熱ホース (C)、耐火油圧オイル (D) が含まれています。

ブレーカ過熱防止キット (E) には、耐熱ホース、冷却用エクステンション、長い作業ツールが含まれています。

本製品に取り付けられているツールへのエアフローは、アーム 1 の調整可能バルブ (F) で調整できます。エアフローバルブは、本製品の始動時に 7 回転のうち 6 回転開けたままにしておきます。エアフローにより、ツールで過度にほこりが吹き上がる場合は、エアフローを下げます。



過熱防止キット (DXR 275、DXR 305、DXR 315 および SB 202/302)

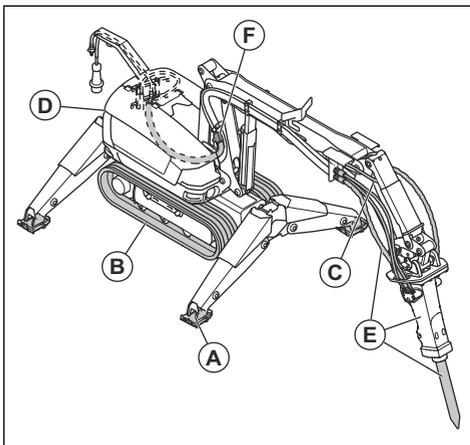
過熱防止キットは、局所的に非常に高温になるときに使用します。参照：冷却および加熱キットの動作温度 114 ページ。

本製品の過熱防止キットには、スチール製アウトリガーフット (A)、スチール製キャタピラートラック (B)、シリンダー 4 用耐熱ホース (C)、耐火油圧オイル (D) が含まれています。

ブレーカ過熱防止キット (E) には、耐熱ホース、冷却用エクステンション、長い作業ツールが含まれています。

本製品に取り付けられているツールへのエアフローは、アーム 1 の調整可能バルブ (F) で調整できます。エアフローバルブは、本製品の始動時に 7 回転のうち 6 回転開けたままにしておきます。エアフローにより、ツール

で過度にほこりが吹き上がる場合は、エアフローを下げます。



リモートコントロール

本製品は、リモートコントロールで操作します。

リモートコントロールは無線信号の送信により操作できます。送信に干渉がある場合、周波数が自動的に変更されます。本製品とリモートコントロールのペアリング操作は工場出荷時に行われます。リモートコントロールを交換した場合や、製品間でリモートコントロールを交換した場合も、新しくペアリング操作を行う必要があります。リモートコントロールと本製品のペアリング操作 (DXR 145)59 ページおよびリモートコントロールと本製品のペアリング操作 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)61 ページを参照してください。

リモートコントロールは、リモートコントロールと本製品を CAN バスケーブルで接続して操作することもできます。例えば、リモートコントロールのバッテリー残量が低下した場合に CAN バスケーブルを使用できます。ケーブルを使用してリモートコントロールを本製品に接続する方法については、CAN バスケーブルを使用した本製品とリモートコントロールの接続 (DXR 145)62 ページおよび CAN バスケーブルを使用した本製品とリモートコントロールの接続 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)63 ページを参照してください。

リモートコントロールは、本製品の操作に必要なすべての操作ボタンを備えています。リモートコントロールは、メニューシステムが表示されるデジタルディスプレイを備えています。メニューシステム 37 ページを参照してください。

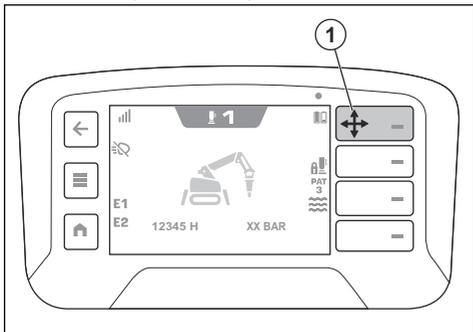
ホームビュー

ディスプレイには 2 つのホームビューがあります。モーターがオフの場合に使用する 1 つのホームビューがあります。リモートコントロールの始動 57 ページを参照してください。もう一方のホームビューは、モーターがオンの場合に使用します。本製品の始動方法 (DXR

145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。

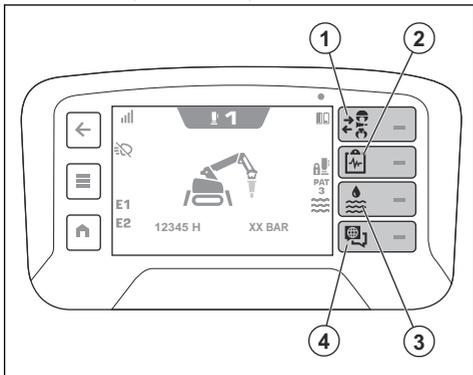
モーターがオフかオンかにより、クイックアクションパナのシンボルが変化します。

ホームビュー (モーターオフ)



ポジション	名称
1	パターンテストモードを選択するためのクイックアクション。[Pattern test mode (パターンテストモード)] 51 ページを参照してください。

ホームビュー (モーターオン)

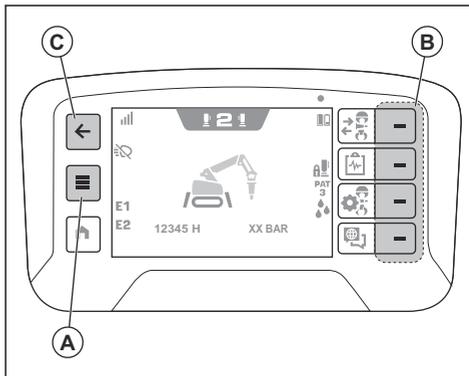


ポジション	名称
1	運転中にツールを選択するためのクイックアクション。
2	製品ステータスを表示するためのクイックアクション。
3	水位とグリースレベルを設定するためのクイックアクション。
4	言語を変更したり、不具合を確認したりするためのクイックアクション。本製品が警告またはエラーを検出すると、シンボルが変化します。

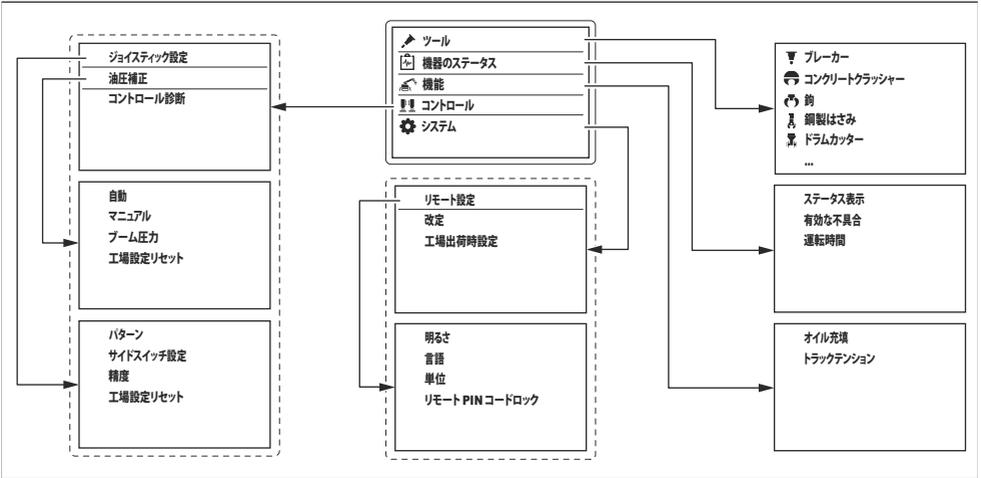
メニューシステム

リモートコントロールのメニューボタン (A) を選択して、メニューシステムを開きます。

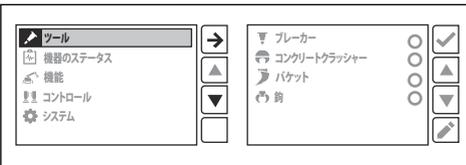
クイックアクションパナのシンボルは、ディスプレイで新しい選択を実行すると変化します。クイックアクションパナの横にあるボタン (B) を使用して選択を実行します。ボタン (C) でメニュー構造に戻ることができます。



メニューの概要



[Tools (ツール)] メニュー



- クイックアクションバーのボタン (A) を使用して、本製品に取り付けられているツールを選択します。
- クイックアクションバーのボタン (B) を使用して、選択したツールを編集します。

[Breaker (ブレーカー)]

- [Grease (グリース)]: 油圧ポンプが本製品に供給するグリースの量を調整します。
- [Water (給水)]: 給水機能を解除したり、作動させたりします。[Water (給水)] 39 ページを参照してください。

[Concrete crusher (コンクリートクラッシャー)]

- [Water (給水)]: 給水機能を解除したり、作動させたりします。[Water (給水)] 39 ページを参照してください。

[Grapple (鉤)]

- [Water (給水)]: 給水機能を解除したり、作動させたりします。[Water (給水)] 39 ページを参照してください。

[Steel shears (鋼製はさみ)]

- [Water (給水)]: 給水機能を解除したり、作動させたりします。[Water (給水)] 39 ページを参照してください。

[Drum cutter (ドラムカッター)]

- [Water (給水)]: 給水機能を解除したり、作動させたりします。[Water (給水)] 39 ページを参照してください。

[Custom tool 1~3 (カスタムツール 1~3)]

- [Hydraulics (油圧)]: 油圧オイルの圧力と流量の値は、ポート A からポート B まで調整できます。油圧オイルの方向を選択します。
- [Grease (グリース)]: 油圧ポンプが本製品に供給するグリースの量を調整します。
- [Water (給水)]: 機能を解除したり、作動させたりします。
- [Extra function 1 (その他の機能 1)]: カスタムツールは、右側操縦かんの右サイドスイッチで制御します。油圧オイルの圧力と流量の値は、ポート A からポート B まで調整できます。油圧オイルの方向を選択します。ディスプレイに [E1] と表示されます。
- [Extra function 2 (その他の機能 1)]: カスタムツールは、左側操縦かんの左サイドスイッチで制御します。油圧オイルの圧力と流量の値は、ポート A からポート B まで調整できます。油圧オイルの方向を選択します。ディスプレイに [E2] と表示されます。

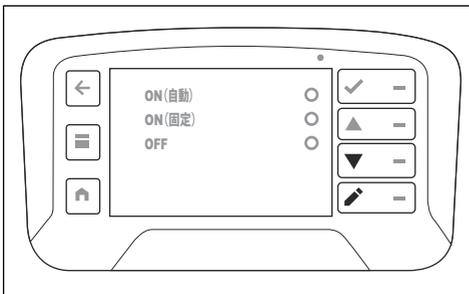


[Water (給水)]

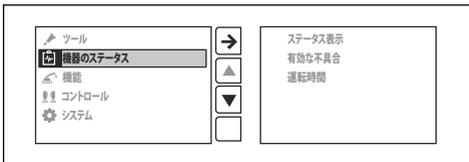
給水機能を使用するには、オプションの粉塵低減キットを取り付ける必要があります。給水機能は多くのツールに適用できます。

水滴シンボルが選択したツールとともにディスプレイに表示されている場合は、給水機能が作動しています。

- [Extended time (延長時間)] : ツールがスタンバイモードになった後の給水を延長します。
- [On (auto) (オン (自動))] : ツールを使用するときに自動的に給水されます。
- [On (auto close) (オン (自動閉))] : コンクリートクラッシャーが閉じるときに自動的に給水されます。
- [On (auto open/close) (オン (自動開/閉))] : コンクリートクラッシャーを使用するときに自動的に給水されます。
- [On (constant) (オン (一定))] : 本製品を停止するまでのツールを使用するまで、給水が一定になります。
- [Off (オフ)] : 給水が閉じられます。



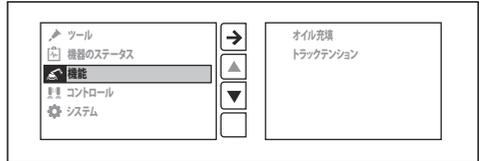
[Machine status (機器ステータス)] メニュー



- [View status (ステータス表示)] では、温度、電圧、電流が表示されます。

- [Active faults (アクティブな故障)] は、本製品が検出した故障のリストです。リストには、アクティブなメッセージがすべて表示されます。最新のメッセージがリストの一番上に表示されます。ディスプレイ上のメッセージ **99** ページを参照してください。
- [Operating time (運転時間)] では、本製品の合計運転時間が表示されます。

[Functions (機能)] メニュー



- [Oil refill (オイル充填)] では、油圧オイルを充填します。油圧オイルレベルの点検(DXR 145)72 ページおよび油圧オイルレベルの点検(DXR 275, DXR 305, DXR 315)72 ページを参照してください。
- [Track tension (トラクション)] では、自動トラクションを作動させます。自動キャタビラートラクションの実行 91 ページを参照してください。

[Controls (コントロール)] メニュー



[Joystick setup (操縦かん設定)]

- [Pattern (パターン)] では、パターンテストを開始できます。[Pattern test mode (パターンテストモード)] 51 ページを参照してください。リモートコントロールの操作に操縦かんパターンを変更することもできます。[Pattern 1 (パターン 1)] 40 ページ、[Pattern 2 (パターン 1)] 44 ページ、[Pattern 3 (パターン 1)] 46 ページ、[Pattern 4 (パターン 1)] 48 ページを参照してください。
- [Side switch setup (サイドスイッチ設定)] では、操縦かんの 2 つのサイドスイッチの機能を設定します。
- [Auto (自動)] : [Extra function 1 (その他の機能 1)] が作動している場合は、右サイドスイッチが機能を制御します。[Extra function 1 (その他の機能 1)] が作動していない場合は、右サイドスイッチは右側操縦かんの上部ボタンと同じ機能を持ちます。[Extra function 2 (その他の機能 2)] が作動している場合は、左サイドスイッチが機能を制御します。[Extra function 2 (その他の機能 2)] が作動していない場合は、左サイドスイッチは左側操縦かんの上部ボタンと同じ機能を持ち

ます。[Custom tool 1~3 (カスタムツール 1~3)]
38 ページを参照してください。

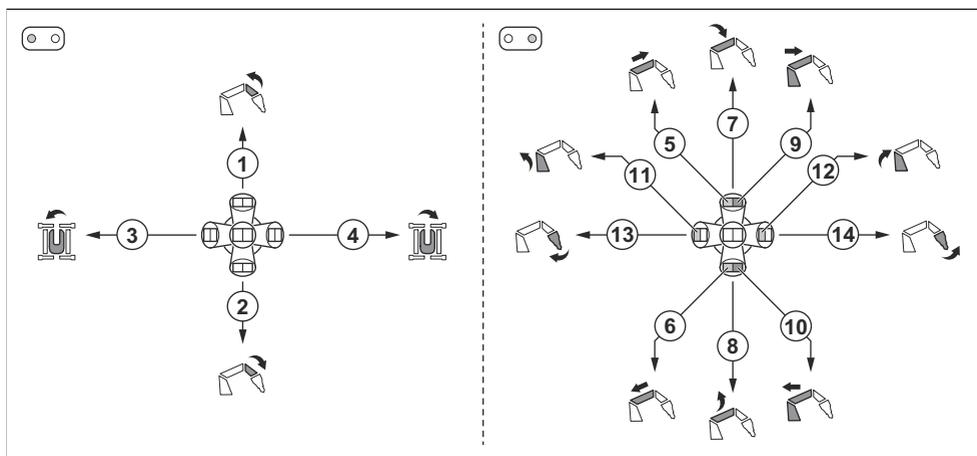
- [Extra 1/Extra 2 (その他 1/その他 2)]: サイドスイッチが [Extra function 1 (その他の機能 1)] と [Extra function 2 (その他の機能 2)] を制御します。その他の機能が作動していない場合、サイドスイッチはオフになります。
- [Tool (ツール)]: 左側操縦かんのサイドスイッチがツール機能を制御します。
- [Off (オフ)]: サイドスイッチがオフになります。
- [Precision (精度)] では、操縦かんの精度を設定します。
- [Reset to factory settings (工場出荷時設定にリセット)] では、操縦かんにリセットします。



[Pattern 1 (パターン 1)]

[Pattern 1 (パターン 1)] を標準として使用します。リモートコントロールの動作モードスイッチは、作業モードか輸送モードを選択するために使用します。動作モード 63 ページを参照してください。

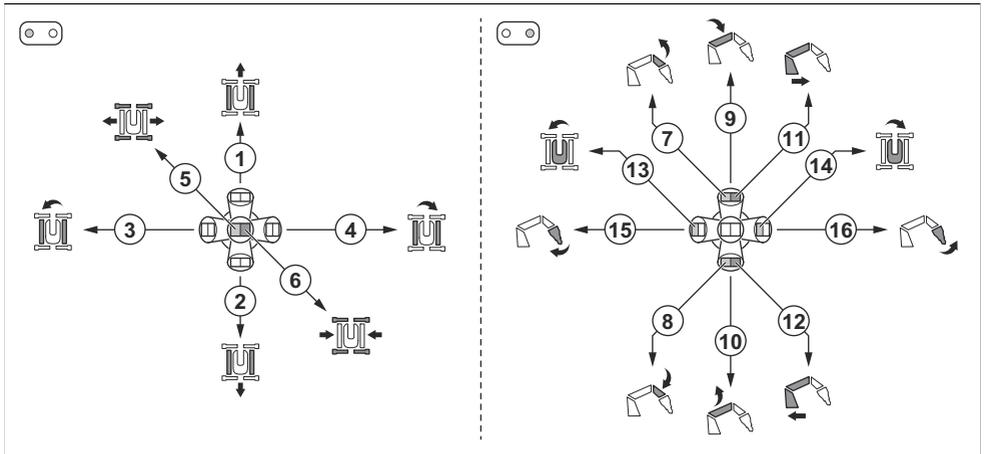
作業モードが選択されている場合:



ポジション	動作
1	アーム 3 (昇)。
2	アーム 3 (降)。
3	タワー回転 (反時計方向)。
4	タワー回転 (時計方向)。
5	DXR 315 : 伸縮式アーム (アウト)。
6	DXR 315 : 伸縮式アーム (イン)。
7	アーム 2 (降)。
8	アーム 2 (昇)。
9	アーム 1 および 2 (アウト)。

ポジション	動作
10	アーム 1 および 2 (イン)。
11	アーム 1 (イン)。
12	アーム 2 (アウト)。
13	ツール (イン)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
14	ツール (アウト)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。

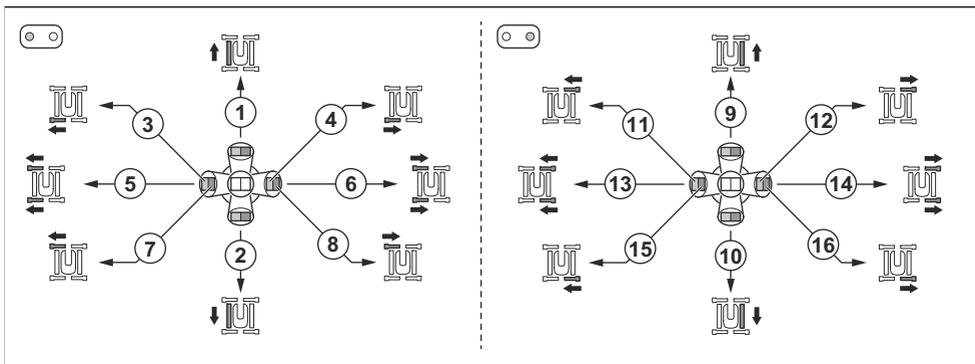
輸送モードで 1 レバー制御が選択されている場合：



ポジション	動作
1	キャタピラートラック前進。
2	キャタピラートラック後退。
3	右キャタピラートラック前進、左キャタピラートラック後退。
4	右キャタピラートラック後退、左キャタピラートラック前進。
5	すべてのアウトリガー (降)。
6	すべてのアウトリガー (昇)。
7	アーム 3 (昇)。
8	アーム 3 (降)。
9	アーム 2 (降)。
10	アーム 2 (昇)。
11	アーム 1 および 2 (アウト)。

ポジション	動作
12	アーム 1 および 2 (イン)。
13	タワー回転 (反時計方向)。
14	タワー回転 (時計方向)。
15	ツール (イン)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。
16	ツール (アウト)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。

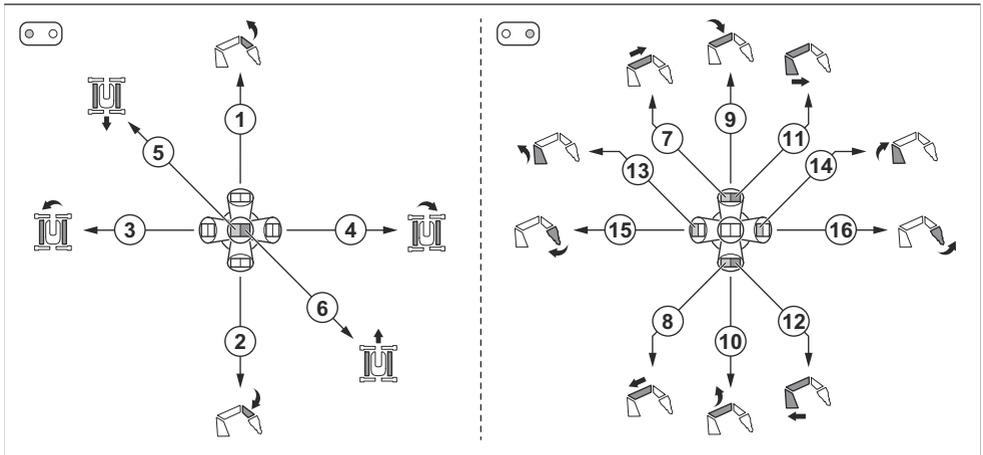
輸送モードで 2 レバー制御が選択されている場合：



ポジション	動作
1	左キャタピラートラック前進。
2	左キャタピラートラック後退。
3	後部左アウトリガー (降)。
4	後部左アウトリガー (昇)。
5	左アウトリガー (降)。
6	左アウトリガー (昇)。
7	前部左アウトリガー (降)。
8	前部左アウトリガー (昇)。
9	右キャタピラートラック前進。
10	右キャタピラートラック後退。
11	前部右アウトリガー (昇)。
12	前部右アウトリガー (降)。
13	右アウトリガー (昇)。
14	右アウトリガー (降)。

ポジション	動作
15	後部右アウトリガー (昇)。
16	後部右アウトリガー (降)。

輸送モードで徐行が選択されている場合：



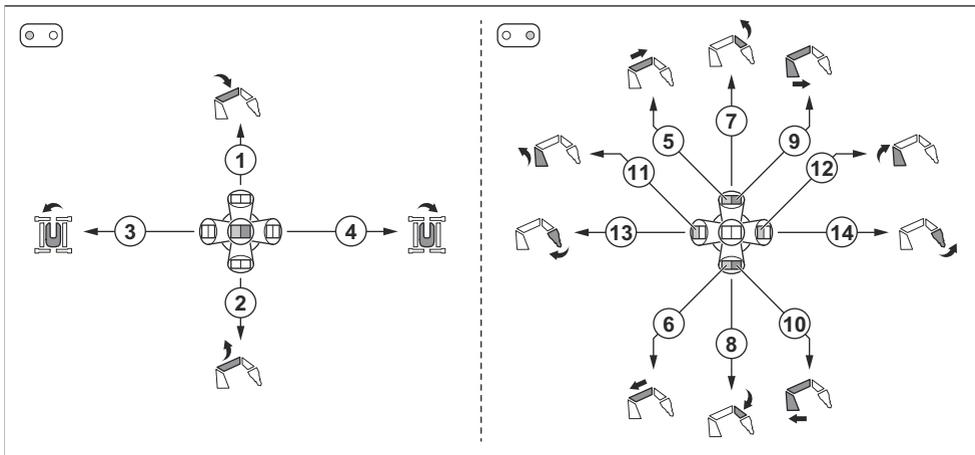
ポジション	動作
1	アーム 3 (昇)
2	アーム 3 (降)。
3	タワー回転 (反時計方向)。
4	タワー回転 (時計方向)。
5	キャタビラートラック前進。キャタビラートラックの速度は、製品速度調整ノブで調整できます。
6	キャタビラートラック後退。キャタビラートラックの速度は、製品速度調整ノブで調整できます。
7	DXR 315 : 伸縮式アーム (アウト)。
8	DXR 315 : 伸縮式アーム (イン)。
9	アーム 2 (降)。
10	アーム 2 (昇)。
11	アーム 1 とアーム 2 (アウト)。
12	アーム 1 とアーム 2 (イン)。
13	アーム 1 (イン)。
14	アーム 1 (アウト)。
15	ツール (イン)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。

ポジション	動作
16	ツール（アウト）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。

[Pattern 2 (パターン 1)]

リモートコントロールの動作モードスイッチは、作業モードか輸送モードを選択するために使用します。動作モード **63** ページを参照してください。

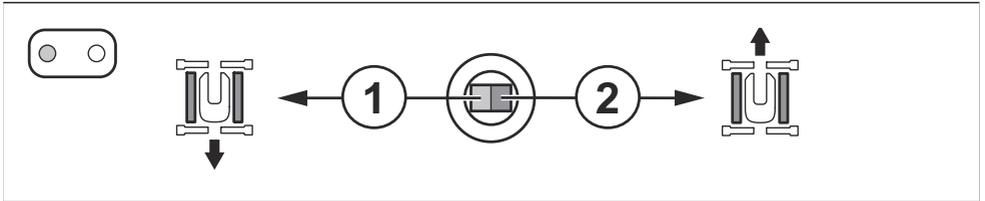
作業モード、または輸送モードで徐行が選択されている場合：



ポジション	動作
1	アーム 2 (降)。
2	アーム 2 (昇)。
3	タワー回転 (反時計方向)。
4	タワー回転 (時計方向)。
5	DXR 315 : 伸縮式アーム (アウト)。
6	DXR 315 : 伸縮式アーム (イン)。
7	アーム 3 (昇)。
8	アーム 3 (降)。
9	アーム 1 および 2 (アウト)。
10	アーム 1 および 2 (イン)。
11	アーム 1 (イン)。
12	アーム 2 (アウト)。

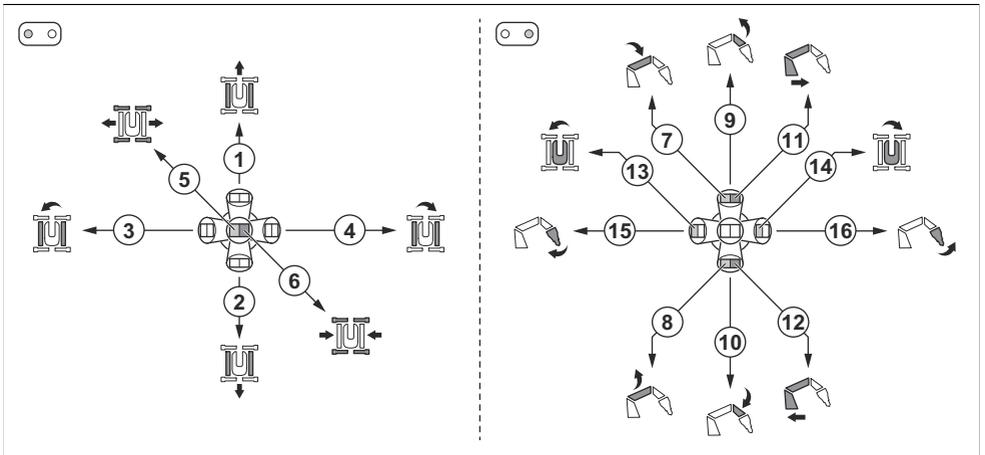
ポジション	動作
13	ツール（イン）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
14	ツール（アウト）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。

左側操縦かん（輸送モードで徐行が選択されている場合）：



ポジション	動作
1	キャタビラートラック後退。キャタビラートラックの速度は、製品速度調整ノブで調整できます。
2	キャタビラートラック前進。キャタビラートラックの速度は、製品速度調整ノブで調整できます。

輸送モードで 1 レバー制御が選択されている場合：



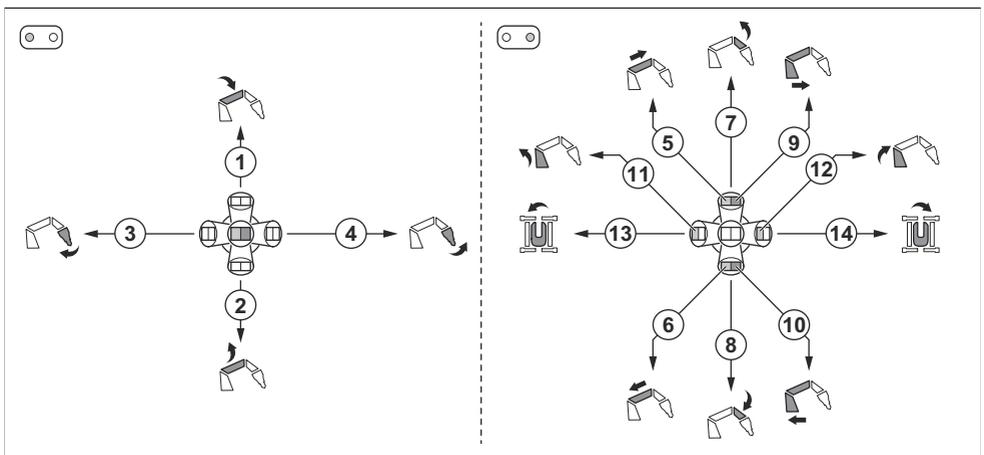
ポジション	動作
1	キャタビラートラック前進。
2	キャタビラートラック後退。
3	右キャタビラートラック前進、左キャタビラートラック後退。

ポジション	動作
4	右キャタピラートラック後退、左キャタピラートラック前進。
5	すべてのアウトリガー（降）。
6	すべてのアウトリガー（昇）。
7	アーム 2（降）。
8	アーム 2（昇）。
9	アーム 3（昇）。
10	アーム 3（降）。
11	アーム 1 および 2（アウト）。
12	アーム 1 および 2（イン）。
13	タワー回転（反時計方向）。
14	タワー回転（時計方向）。
15	ツール（イン）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。
16	ツール（アウト）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。

[Pattern 3 (パターン 1)]

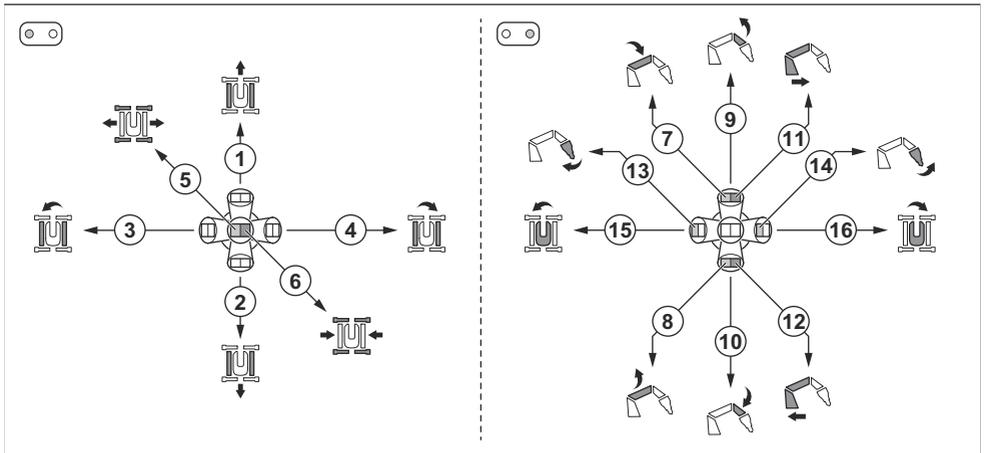
リモートコントロールの動作モードスイッチは、作業モードか輸送モードを選択するために使用します。動作モード **63** ページを参照してください。

作業モード、または輸送モードで徐行が選択されている場合：



ポジション	動作
1	アーム 2 (降)。
2	アーム 2 (昇)。
3	ツール (イン)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
4	ツール (アウト)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
5	DXR 315 : 伸縮式アーム (アウト)。
6	DXR 315 : 伸縮式アーム (イン)。
7	アーム 3 (昇)。
8	アーム 3 (降)。
9	アーム 1 および 2 (アウト)。
10	アーム 1 および 2 (イン)。
11	アーム 1 (イン)。
12	アーム 2 (アウト)。
13	タワー回転 (反時計方向)。
14	タワー回転 (時計方向)。

輸送モードで 1 レバー制御が選択されている場合：



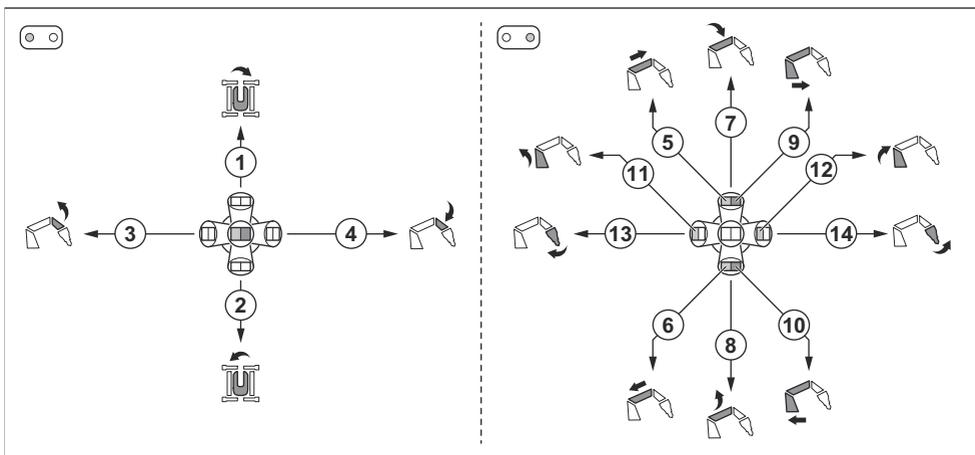
ポジション	動作
1	キャタピラートラック前進。

ポジション	動作
2	キャタピラートラック前進。
3	右キャタピラートラック前進、左キャタピラートラック後退。
4	右キャタピラートラック後退、左キャタピラートラック前進。
5	すべてのアウトリガー（降）。
6	すべてのアウトリガー（昇）。
7	アーム 2（降）。
8	アーム 2（昇）。
9	アーム 3（昇）。
10	アーム 3（降）。
11	アーム 1 および 2（アウト）。
12	アーム 1 および 2（イン）。
13	ツール（イン）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
14	ツール（アウト）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
15	タワー回転（反時計方向）。
16	タワー回転（時計方向）。

[Pattern 4 (パターン 1)]

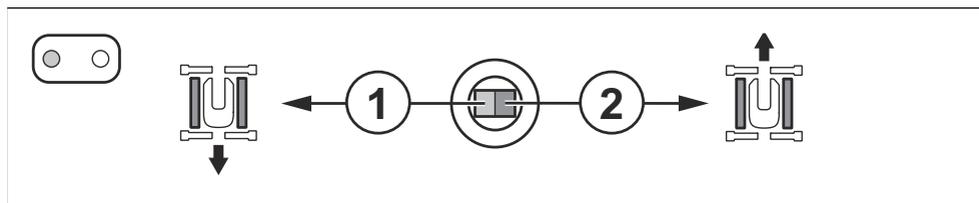
リモートコントロールの動作モードスイッチは、作業モードか輸送モードを選択するために使用します。動作モード **63** ページを参照してください。

作業モード、または輸送モードで徐行が選択されている場合：



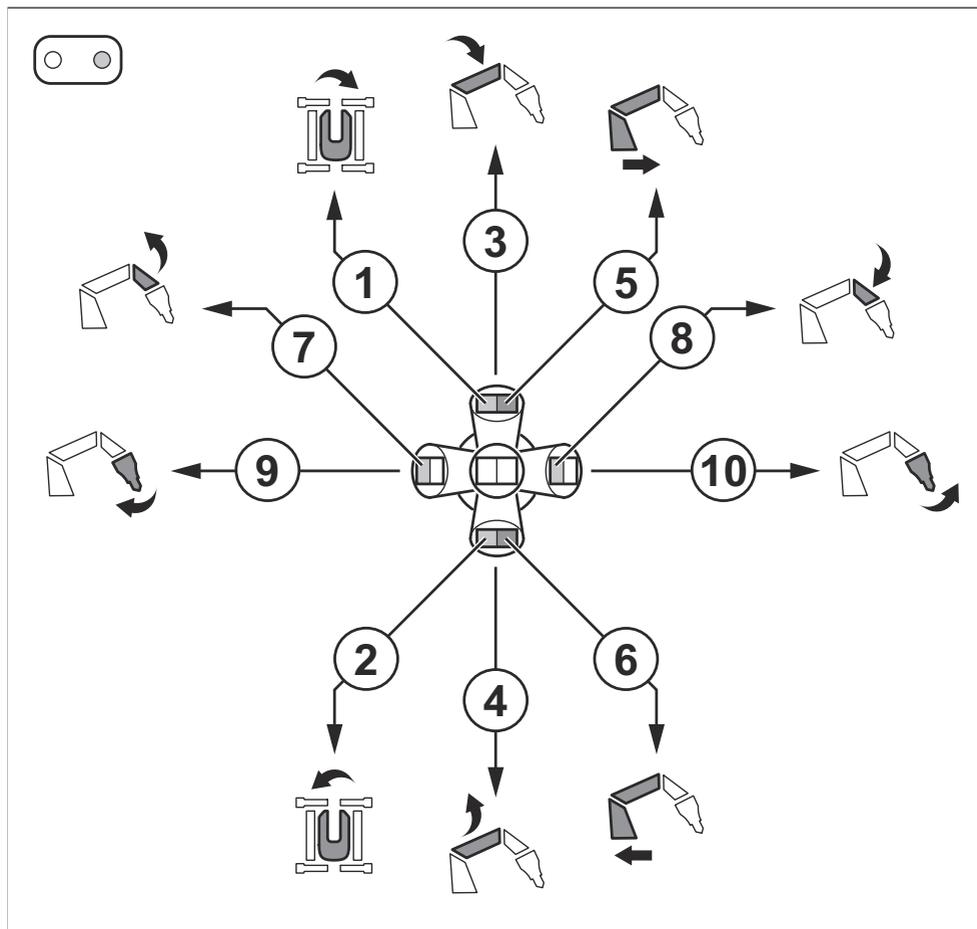
ポジション	動作
1	タワー回転（反時計方向）。
2	タワー回転（時計方向）。
3	アーム 3（昇）。
4	アーム 3（降）。
5	DXR 315：伸縮式アーム（アウト）。
6	DXR 315：伸縮式アーム（イン）。
7	アーム 2（降）。
8	アーム 2（昇）。
9	アーム 1 および 2（アウト）。
10	アーム 1 および 2（イン）。
11	アーム 1（イン）。
12	アーム 2（アウト）。
13	ツール（イン）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。
14	ツール（アウト）。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できません。

左側操縦かん（輸送モードで徐行が選択されている場合）：



ポジション	動作
1	キャタビラートラック後退。キャタビラートラックの速度は、製品速度調整ノブで調整できます。
2	キャタビラートラック前進。キャタビラートラックの速度は、製品速度調整ノブで調整できます。

右側操縦かん（輸送モードで1レバー制御が選択されている場合）：

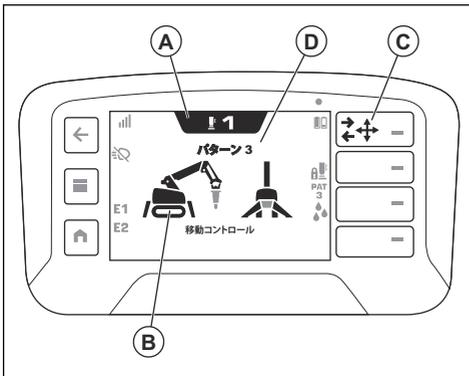


ポジション	動作
1	タワー回転（時計方向）。
2	タワー回転（反時計方向）。
3	アーム 2（降）。
4	アーム 2（昇）。
5	アーム 1 および 2（アウト）。
6	アーム 1 および 2（イン）。
7	アーム 3（昇）。

ポジション	動作
8	アーム 3 (降)。
9	ツール (イン)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。
10	ツール (アウト)。この機能は、右上部ボタンが押し下げられている場合にも作動します。右上部ボタンが押し下げられているときにツールを動かす場合、アーム 1 および 2 は並行して操作できます。

[Pattern test mode (パターンテストモード)]

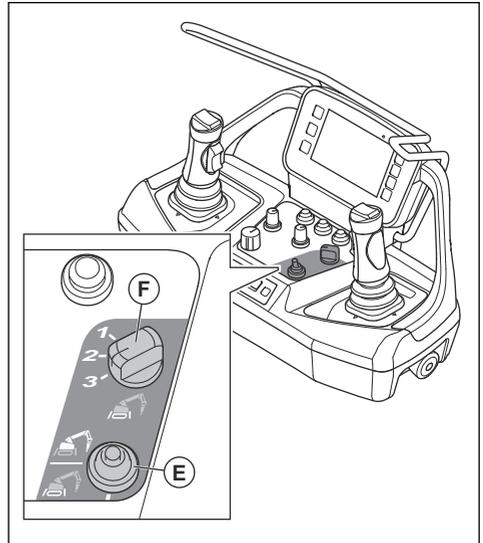
[Pattern test mode (パターンテストモード)] は、リモートコントロールで操縦かんを使用するときの本製品の動作を示しています。動作モードとパターンが異なると、動作が変わります。パターンテストモードを開始するには、ON/OFF/START スイッチを ON 位置に回し、クイックアクションバーで [Pattern test mode (パターンテストモード)] を選択します。表示色 (A) がオレンジ色から青色に変わります。ディスプレイの製品シンボル (B) はさまざまな色で表示され、製品部品の動作を示します。



- **水色**：現在の動作モードで動かせる製品部品。
- **オレンジ色**：現在の動作モードで動いている製品部品。また、白い矢印はディスプレイ上で移動方向を示します。
- **紺色**：現在の動作モードで動かせない製品部品。

クイックアクションバーでは、パターン (C) を変更できます。パターンを選択すると、ディスプレイ (D) に示されます。リモートコントロールの動作モードスイッ

チ (E) と輸送モードスイッチ (F) を使用して動作モードを変更します。



[Calibrate hydraulics (油圧の校正)]

- [Auto (calibrate) (自動 (校正))] 機能では、本製品の油圧とバルブを校正します。[Pressure and valves (圧力とバルブ)] か [Pressure (圧力)] を選択します。

バルブ校正により、本製品の動作をより適切に制御できるようになります。油圧校正により、油圧レベルの精度が向上します。

[Pressure (圧力)] では、油圧制御機能のみを校正し、お客様が指定したバルブ調整は行いません。
[Auto (calibrate) (自動 (校正))] を使用した油圧システムの校正 52 ページを参照してください。

- [Manual (calibrate) (手動 (校正))] 機能を使用すると、本製品の部品を 1 つずつ校正できます。
- [Boom pressure (ブーム圧力)] 機能を使用すると、アームシステムの最大油圧を調整できます。油圧は 5 バール / 72.5 psi 単位で変更されます。油圧を 200 ~ 150 バール / 2,901 ~ 2,175.6 psi に調整します。

- [Reset to factory settings (工場出荷時設定にリセット)] では、油圧システムをリセットします。

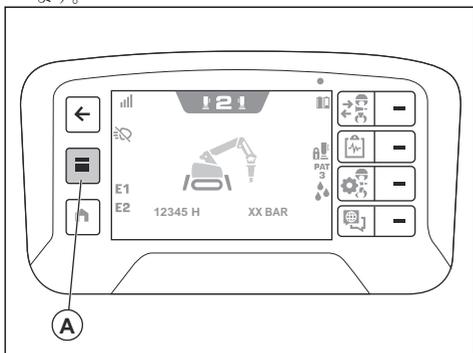
【Auto (calibrate) (自動 (校正))] を使用した油圧システムの校正

バルブの校正中、本製品が小さく動く場合があります。

1. 取り付けられているツールから油圧ホースを外します。

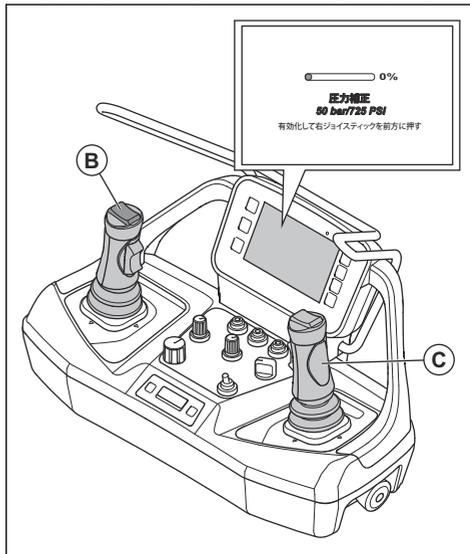
注記： ツールを本製品から取り外す必要はありません。

2. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
3. アウトリガーを伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. リモートコントロールのメニューボタン (A) を押します。



5. ディスプレイの [Controls (コントロール)] メニューで [Calibrate hydraulics (油圧の校正)] を選択します。
6. [Auto (calibrate) (自動 (校正))] を選択します。
7. [Pressure and valves (圧力とバルブ)] または [Pressure (圧力)] を選択します。

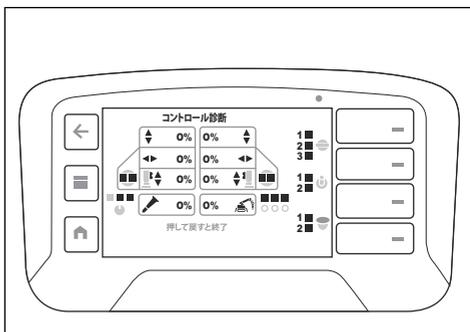
8. 左側操縦かんの左上部ボタン (B) を押します。



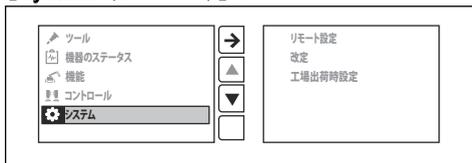
9. 校正が完了するまで、右側操縦かん (C) を前方へ押します。

【Control diagnostics (コントロール診断)]

【Control diagnostics (コントロール診断)] では、リモートコントロールのコントロールの機能テストを実行できます。各コントロールがディスプレイに表示されます。機能テストを実行すると、ディスプレイのコントロールインジケータが白色からオレンジ色に変わります。リモートコントロールにあるコントロールを1つ操作して最大にします。ディスプレイでコントロールインジケータが 100 % を示している場合、そのコントロールは正しく動作しています。



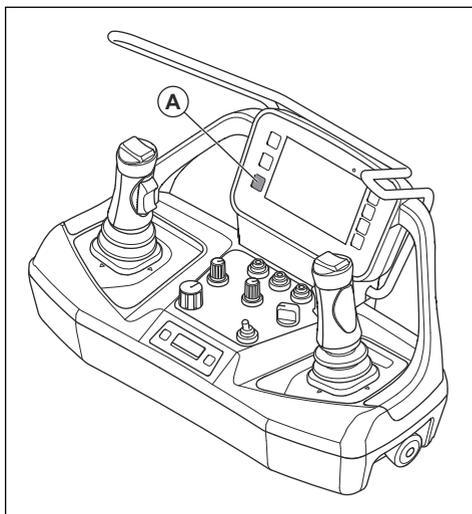
[System (システム)] メニュー



[Remote settings (リモート設定)]

- [Brightness (輝度)] では、ディスプレイの輝度を設定します。
- [Language (言語)] では、ディスプレイのテキスト言語を設定します。工場出荷時の言語設定は英語です。

注記： 言語と輝度を工場出荷時の設定に戻すには、ホームボタン (A) を 10 秒間押し続けます。



- [Units (単位)] では、ディスプレイの圧力と温度の単位を設定します。
- [Lock remote pincode (リモートピンコードのロック)] では、リモートコントロールの PIN コードを設定します。

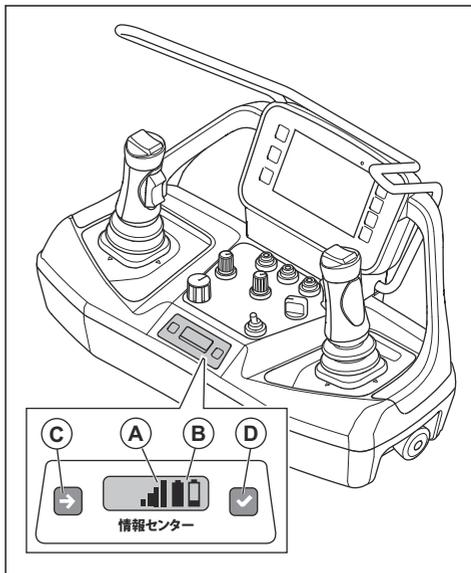
[Revisions (リビジョン)]

[Revisions (リビジョン)] には、リモートコントロール、コントロールモジュール、無線通信モジュールのハードウェアとソフトウェアのバージョンが表示されます。

[Factory settings (工場出荷時設定)]

[Factory settings (工場出荷時設定)] は、認定サービス代理店のみが使用します。

インフォメーションセンターディスプレイ



リモートコントロールのインフォメーションセンターディスプレイには、リモートコントロールに関する次の情報が表示されます。

- リモートコントロールがオンであるかオフであるか。
- リモートコントロールがロックされているかロック解除されているか。
- エラーコード。エラーコードと説明 99 ページを参照してください。
- リモートコントロールと製品のペアリング操作。リモートコントロールと本製品のペアリング操作(DXR 145)59 ページおよびリモートコントロールと本製品のペアリング操作(DXR 275, DXR 305, DXR 315)61 ページを参照してください。
- リモートコントロールと製品間の無線信号強度 (A)。ディスプレイのトップバーにも同じシンボルが表示されています。参照：ディスプレイのトップバーに表示されるシンボル 13 ページ

無線信号	シンボルマーク
無線信号強度には 4 つのレベルがあります。	

無線信号	シンボルマーク
無線信号がスタンバイモードになっています。リモートコントロールは正しく動作しません。リモートコントロールを始動するときは、リモートコントロールのすべてのコントロールがニュートラル位置にあることを確認してください。	
無線信号がありません。	

- バッテリーステータス (B)。ディスプレイのトップバーにも同じシンボルが表示されています。ディスプレイのトップバーに表示されるシンボル 13 ページを参照してください。

充電状態	シンボルマーク
バッテリーの充電には 5 つのレベルがあります。	
バッテリーの故障。	
リモートコントロールと本製品がケーブルで接続されています。	

インフォメーションセンターディスプレイ用に 2 つのボタンがあります。左側のボタン (C) を使用してディスプレイの次のシンボルに移動します。右側のボタン (D) を使用して選択を実行します。

リモートコントロールバッテリー

注記： リモートコントロールを初めて使用する前には、バッテリーを充電する必要があります。

注記： バッテリーがスリープモードの場合は、バッテリーを充電器に約 10 秒間入れて、バッテリーを始動します。

リモートコントロールには、2 つのバッテリースロットがあります。ディスプレイとインフォメーションセンターディスプレイには、各バッテリーの充電状態のシンボルが表示されます。参照：ディスプレイのトップバーに表示されるシンボル 13 ページおよびインフォメーションセンターディスプレイ 53 ページ。リモートコントロールバッテリーの充電状態が低すぎる場合は、リモートコントロールを操作できません。

完全に充電されたリモートコントロールバッテリーの作動時間は約 12 時間です。寒冷な気候では、作動時間が短くなることがあります。ディスプレイを頻繁に使用した場合、作動時間が短くなることがあります。

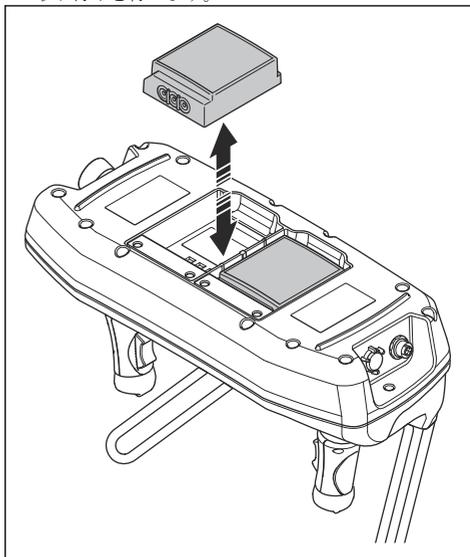
バッテリーが 5 日間作動しない場合、バッテリーはスリープモードになります。スリープモードはエネルギーを節約し、リモートコントロールは動作を開始できません。使用する前に、バッテリーを充電器に接続する必要があります。

リモートコントロールのリモートコントロールバッテリーの取り外しと取り付け

注記： リモートコントロールを初めて使用前には、バッテリーを充電する必要があります。

注記： バッテリーが輸送モードの場合は、バッテリーを充電器に約 20 秒間入れて、バッテリーを始動します。

1. リモートコントロールを回して、バッテリーがある背面にアクセスします。
2. リモートコントロールバッテリーの取り外しまたは取り付けを行います。

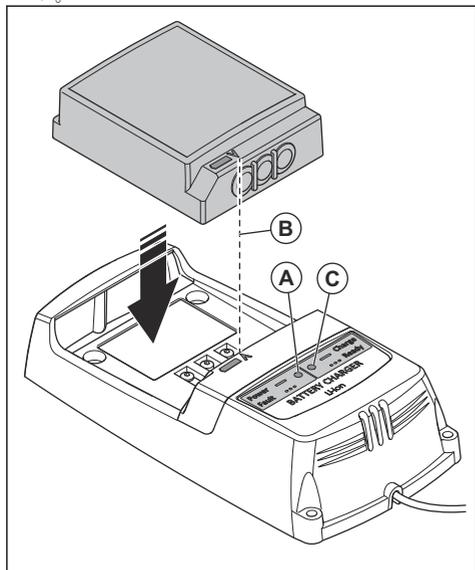


バッテリー充電器によるリモートコントロールバッテリーの充電

リモートコントロールバッテリーが空の場合、バッテリー充電器による充電時間は約 3 時間です。リモートコントロールバッテリーを充電するときは、温度が 10~45 °C (50~113 °F) である必要があります。

1. リモートコントロールから空のリモートコントロールバッテリーを取り外します。リモートコントロールのリモートコントロールバッテリーの取り外しと取り付け 54 ページを参照してください。

2. バッテリー充電器を電源コンセントに接続します。バッテリーの電源インジケータ (A) が赤色になります。バッテリー充電器 55 ページを参照してください。



3. リモートコントロールのバッテリーをバッテリー充電器に接続します。リモートコントロールバッテリーとバッテリー充電器の矢印 (B) の位置が合っていることを確認します。リモートコントロールバッテリーを充電しているときは、バッテリー充電器のバッテリーステータスを示すインジケータ (C) が緑色に点滅します。
4. リモートコントロールバッテリーが完全に充電されると、インジケータが緑色になります。バッテリー充電器からリモートコントロールのバッテリーを外します。
5. バッテリー充電器をコンセントから外します。

バッテリー充電器

バッテリーステータスインジケータは、バッテリー充電器上にある 2 つの LED です。バッテリー電源 LED (赤) とバッテリーステータス LED (緑) です。

電源 LED	ステータス LED	表示
赤色 ライト	OFF	充電器が ON になっています。充電器にバッテリーがありません。
赤色 ライト	緑色 ライト	充電器が ON になっています。バッテリーの充電が完了しています。

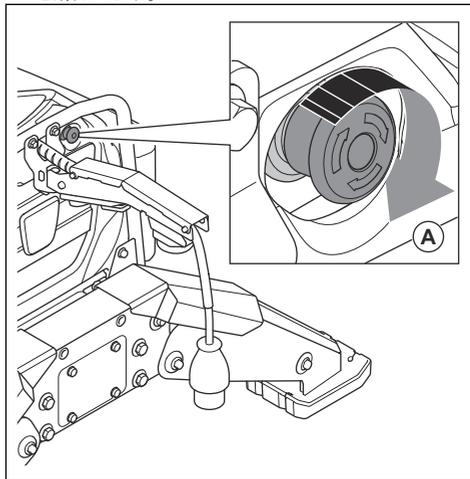
電源 LED	ステータス LED	表示
赤色 ライト	緑色 ライトの 点滅	充電器が ON になっています。バッテリーを充電しています。
赤色 ライトの 点滅	OFF	バッテリー充電器にエラーが発生しています。または、温度が充電範囲外です。

本製品の始動方法 (DXR 145)



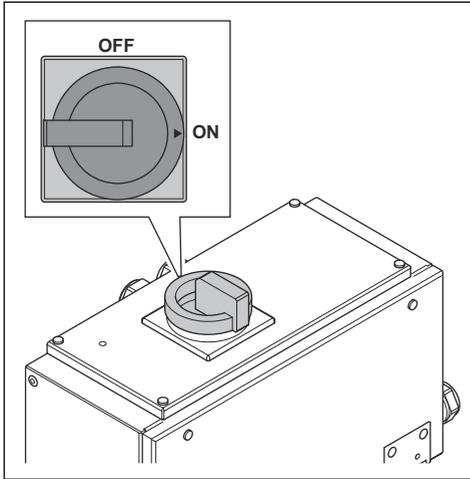
警告： 24 時間ごとに本製品を再始動し、本製品が正常に動作することを確認します。

1. 緊急停止ボタン (A) を時計方向に回して、緊急停止を解除します。

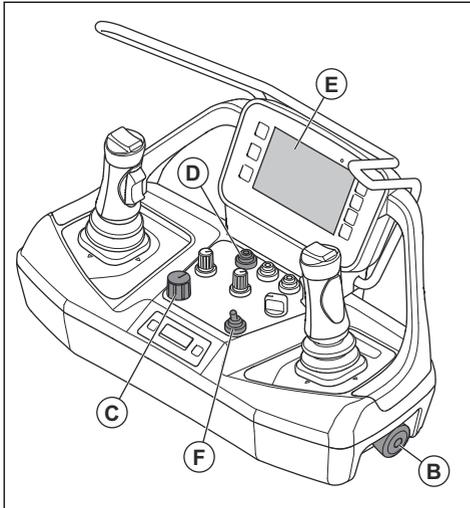


2. 本製品の右ハッチを開きます。

3. メインスイッチを ON 位置に回します。ヘッドライトが点灯します。



4. 本製品の右ハッチを閉じます。
 5. リモートコントロールを持って、作業エリアから出ます。
 6. 機器停止ボタン (B) を時計方向に回して、機器停止を解除します。



7. 同じ作業場でリモートコントロール付きの製品を複数使用する場合は、この手順を実行して、正しいリモートコントロールを使用していることを確認します。
- OFF/ON/START スイッチを ON 位置 (C) に回して、リモートコントロールを始動します。
 - 接続されている製品で点滅するまで、ヘッドライトボタン (D) を押し続けます。



警告： どの製品が接続されているか把握するまで、モーターを始動しないでください。

- OFF/ON/START スイッチを START 位置に回して、モーターを始動します。本製品の電源がオンになっている音が聞こえます。
- ディスプレイ (E) に、無線信号またはケーブル接続シンボルが表示されていることを確認します。このシンボルは、リモートコントロールと本製品の間で接続が動作していることを示します。

注記： 故障が発生すると、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。ディスプレイ上のメッセージ **99** ページを参照してください。

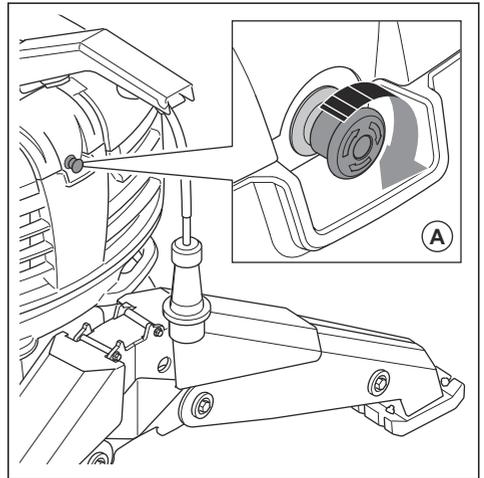
- 動作モードスイッチ (F) を押し上げて、作業モードを選択します。動作モードスイッチを押し下げて、輸送モードを選択します。動作モード **63** ページを参照してください。

本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)



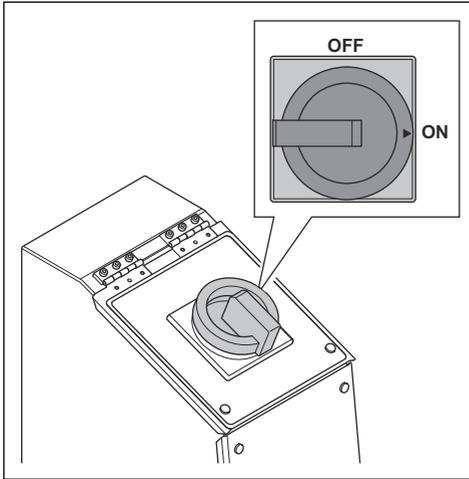
警告： 24 時間ごとに本製品を再始動し、本製品が正常に動作することを確認します。

- 緊急停止ボタン (A) を時計方向に回して、緊急停止を解除します。

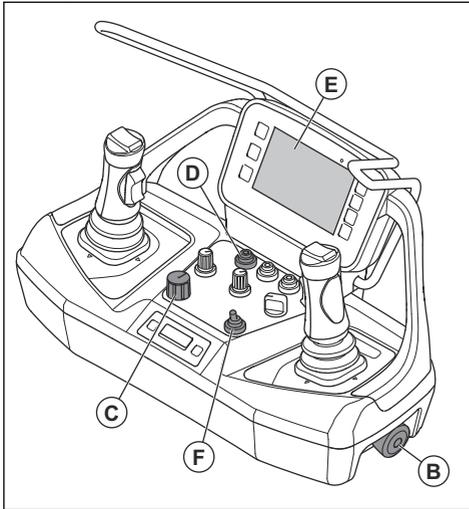


- 本製品の右ハッチを開きます。

3. メインスイッチを ON 位置に回します。ヘッドライトが点灯します。



4. 本製品の右ハッチを閉じます。
5. リモートコントロールを持って、作業エリアから出ます。
6. 機器停止ボタン (B) を時計方向に回して、機器停止を解除します。



7. 同じ作業場でリモートコントロール付きの製品を複数使用する場合は、この手順を実行して、正しいリモートコントロールを使用していることを確認します。
 - a) OFF/ON/START スイッチを ON 位置 (C) に回して、リモートコントロールを始動します。
 - b) 接続されている製品で点滅するまで、ヘッドライトボタン (D) を押し続けます。



警告： どの製品が接続されているか把握するまで、モーターを始動しないでください。

8. OFF/ON/START スイッチを START 位置に回して、モーターを始動します。本製品の電源がオンになっている音が聞こえます。
9. ディスプレイ (E) に、無線信号またはケーブル接続シンボルが表示されていることを確認します。このシンボルは、リモートコントロールと本製品の間で接続が動作していることを示します。

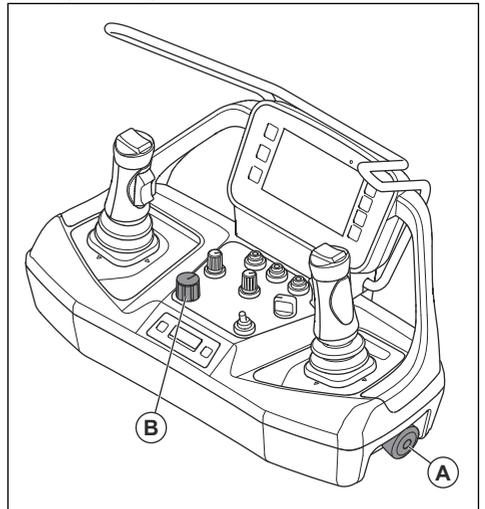
注記： 故障が発生すると、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。ディスプレイ上のメッセージ 99 ページを参照してください。

10. 動作モードスイッチ (F) を押し上げて、作業モードを選択します。動作モードスイッチを押し下げて、輸送モードを選択します。動作モード 63 ページを参照してください。

リモートコントロールの始動

リモートコントロールはモーターがオフの状態で行えます。ディスプレイには、モーターがオンになっている状態で操縦かんを使用したときの本製品の動作が表示されます。テスト運転はパターンテストモードで実行されます。[Pattern test mode (パターンテストモード)] 51 ページを参照してください。

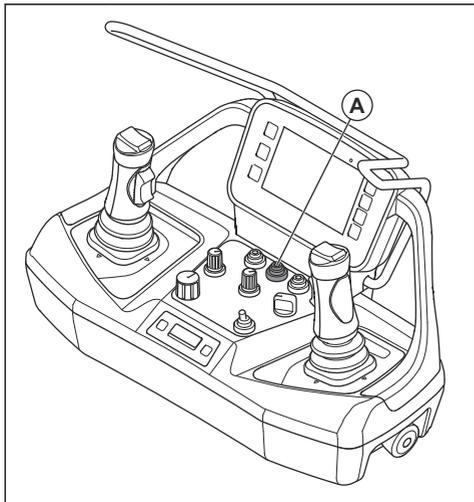
1. 機器停止ボタン (A) を時計方向に回して、機器停止を解除します。



2. OFF/ON/START スイッチを ON 位置 (B) に回して、リモートコントロールを始動します。ディスプレイには、モーターがオフの場合用のホームビューが表示されます。ホームビュー 36 ページを参照してください。

リモートコントロールのロックとロック解除

1. リモートコントロールが本製品に接続されていることを確認します。
2. リモートコントロールをロックまたはロック解除するには、すばやくロックボタン (A) を押し、PIN コードを入力します。工場出荷時の PIN コードは「123412」です。



注記： 誤った PIN コードを 5 回入力すると、本製品はロックされます。販売店にご相談ください。

注記： ロックボタンを 2 秒を超えて押すと、リモートコントロールがロックされ、本製品が停止します。メインスイッチを OFF 位置に回してから ON 位置に回して、本製品を再始動します。

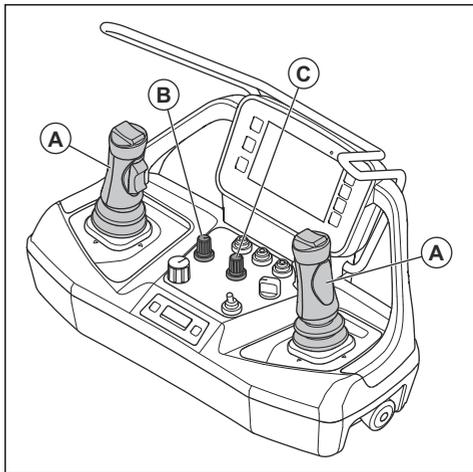
PIN コードの変更方法については、[Remote settings (リモート設定)] 53 ページを参照してください。

本製品の操作



警告： リモートコントロールで本製品を操作するときは、常に本製品が見えるようにしてください。リモートコントロールの操作範囲により、製品が見えない場合も本製品を動かすことができます。負傷や損傷の危険があります。

- 操縦かん (A) を使用して、本製品を移動します。操縦かんを小さく動かすと、本製品がゆっくりと移動します。操縦かんを大きく動かすと、本製品が速く移動します。リモートコントロールには 4 つの操縦かんパターンがあります。操縦かんパターン 63 ページを参照してください。



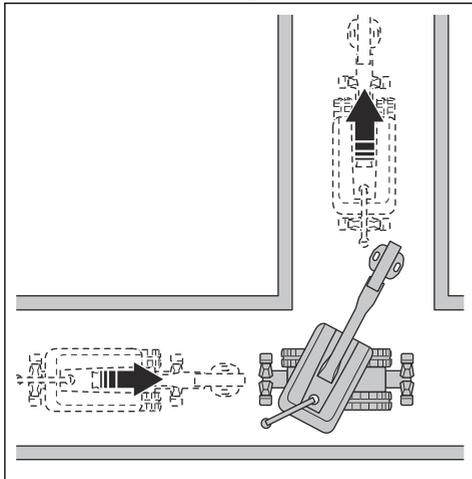
注意： 操縦かんは慎重に動かしてください。力を入れて操縦かんを動かしても、本製品の性能は向上しません。操作に力を入れすぎると、操縦かんが損傷するおそれがあります。



注意： リモートコントロールを操縦かんを持ち上げないでください。

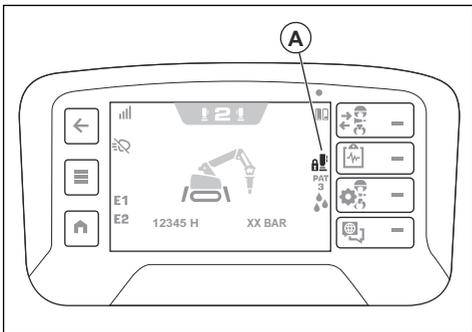
- ツール速度調整ノブ (B) を回して、ツールの速度を調整します。
- 製品速度調整ノブ (C) を回して、本製品の速度を調整します。
- 本製品を回転させるには、キャタピラートラックを異なる速度で動作させます。
- 本製品を狭いスペースで回転させるには、キャタピラートラックを異なる向きに動作させます。

- 狭いスペースの隅で本製品を移動するには、キャタピラートラックとタワーを同時に動かします。



リモートコントロールの操縦かんのロック解除

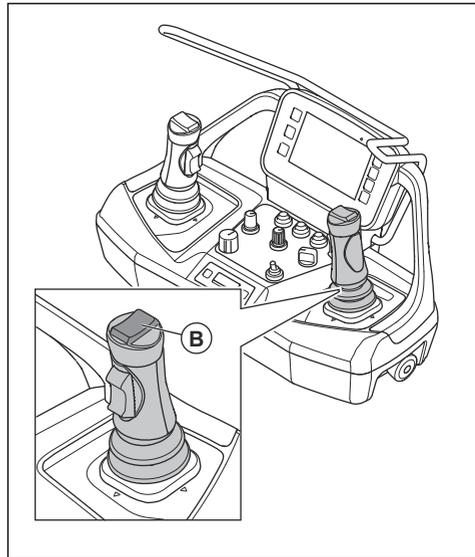
リモートコントロールの操縦か手を 3 秒間使用しないとロックされます。シンボル (A) がディスプレイに表示されます。



操縦か手がロックされると、本製品はアイドルモードになります。油圧オイルが油圧オイルタンクに入り、シリンダー内には圧力がかかりません。

1. 操縦か手がニュートラル位置にあることを確認してください。

2. 右側操縦か手で、左上部ボタン (B) を押します。リモートコントロールの操縦か手のロックが解除され、シンボル (A) が消えます。

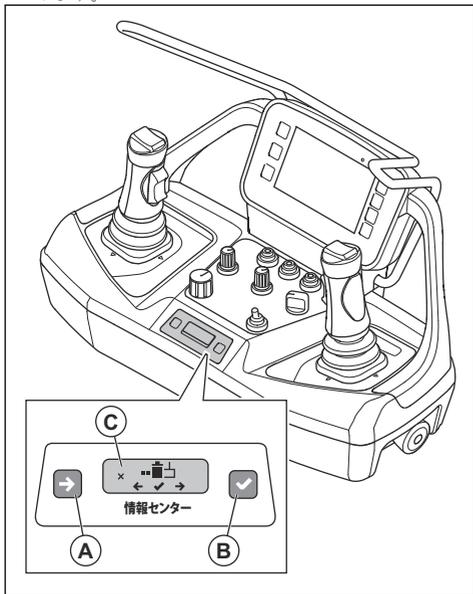


リモートコントロールと本製品のペアリング操作(DXR 145)

製品とリモートコントロールのペアリング操作は工場出荷時に行われます。リモートコントロールを交換した場合や、製品間でリモートコントロールを交換した場合も、新しくペアリング操作を行う必要があります。

1. リモートコントロールを始動します。参照：リモートコントロールの始動 57 ページ。

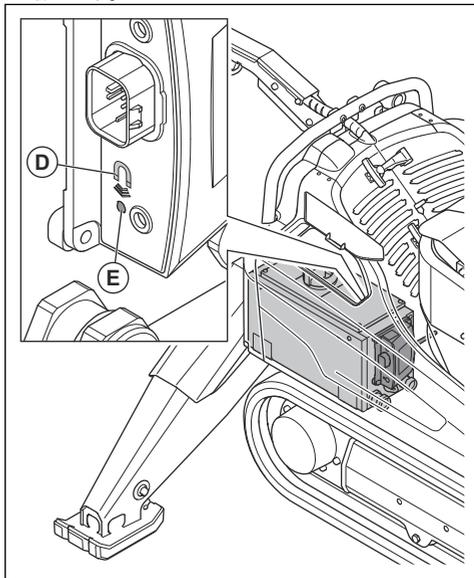
2. 左側のボタン (A) と右側のボタン (B) を同時に押します。



注記： ボタンを同時に押す場合、インフォメーションセンターディスプレイではモードが変更されません。

3. 左側のボタン (A) を押して、インフォメーションセンターディスプレイの選択 [2] に進みます。
4. 右側のボタン (B) を押して選択 [2] を選択します。シンボル (C) がインフォメーションセンターディスプレイに表示されます。
5. 左側と右側のボタンを同時に 3 秒間押し続けます。
6. 本製品の右側サイドカバーを取り外します。
7. 本製品を始動します。参照： **本製品の始動方法 (DXR 145)55** ページ。

8. 本製品の始動後 5 秒以内に、無線通信受信機の底面のマグネットをマグネットシンボル (D) に配置します。無線通信受信機のインジケータ (E) は、ペアリング操作の開始を待つ間、オレンジ色にすばやく点滅します。



注記： 本製品の始動後 5 秒以内に、マグネットをマグネットシンボル上に配置する必要があります。5 秒経過すると、無線通信受信機はペアリング操作を実行できません。

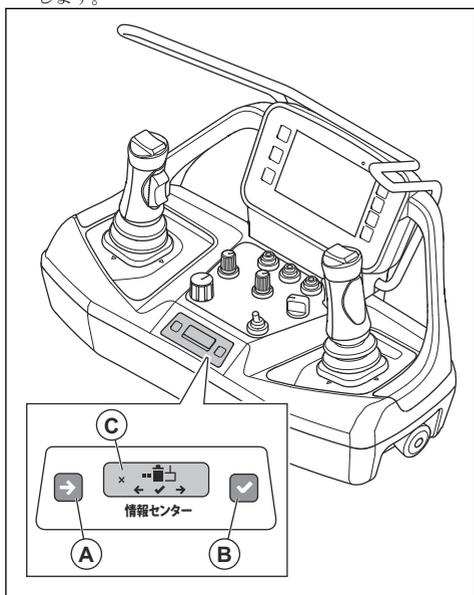
9. マグネットをすぐに取り外します。
10. 無線通信受信機が検出されると、インフォメーションセンターディスプレイにシリアル番号が表示されます。
11. インフォメーションディスプレイのシリアル番号が、無線通信受信機のシリアル番号と一致していることを確認します。
12. シリアル番号が一致しない場合、ペアリング操作が正しく実行されていません。次の手順を実行します。
 - a) シリアル番号が一致している製品を見つけて、その製品の電源を切ります。
 - b) お使いの製品を停止します。参照： **本製品の停止方法 (DXR 145)65** ページ。
 - c) ペアリング操作をもう一度実行します。
13. シリアル番号が一致したら、右側のボタンを押します。インフォメーションセンターディスプレイにペアリング操作が実行されたことを示すメッセージが 2 秒間表示されます。
14. 本製品を停止して、無線通信受信機を再始動します。参照： **本製品の停止方法 (DXR 145)65** ページ。

15. リモートコントロールを再始動します。参照：リモートコントロールの始動 57 ページ。
16. 本製品を始動します。参照：本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページ。
17. インフォメーションセンターディスプレイに無線信号のシンボルが表示されていることを確認します。参照：インフォメーションセンターディスプレイ 53 ページ。
18. 右側サイドカバーを本製品に取り付けます。

リモートコントロールと本製品のペアリング操作(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

製品とリモートコントロールのペアリング操作は工場出荷時に行われます。リモートコントロールを交換した場合や、製品間でリモートコントロールを交換した場合も、新しくペアリング操作を行う必要があります。

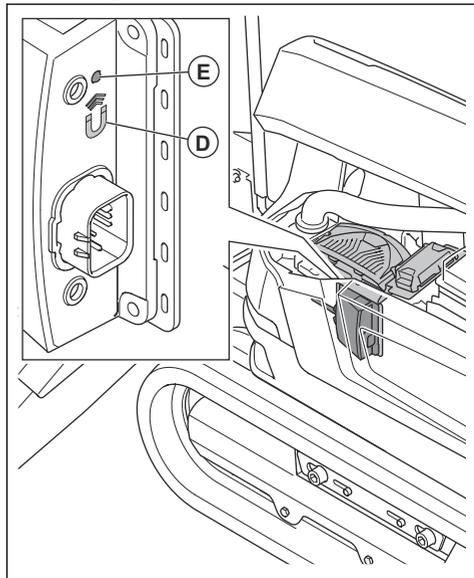
1. リモートコントロールを始動します。参照：リモートコントロールの始動 57 ページ。
2. 左側のボタン (A) と右側のボタン (B) を同時に押します。



注記： ボタンを同時に押す場合、インフォメーションセンターディスプレイではモードが変更されません。

3. 左側のボタン (A) を押して、インフォメーションセンターディスプレイの選択 [2] に進みます。

4. 右側のボタン (B) を押して選択 [2] を選択します。シンボル (C) がインフォメーションセンターディスプレイに表示されます。
5. 左側と右側のボタンを同時に 3 秒間押し続けます。
6. 左ハッチを開き、本製品の左側サイドカバーを取り外します。
7. 本製品を始動します。参照：本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページ。
8. 本製品の始動後 5 秒以内に、無線通信受信機の底面のマグネットをマグネットシンボル (D) に配置します。無線通信受信機のインジケータ (E) は、ペアリング操作の開始を待つ間、オレンジ色にすばやく点滅します。



注記： 本製品の始動後 5 秒以内に、マグネットをマグネットシンボル上に配置する必要があります。5 秒経過すると、無線通信受信機はペアリング操作を実行できません

9. マグネットをすぐに取り外します。
10. 無線通信受信機が検出されると、インフォメーションセンターディスプレイにシリアル番号が表示されます。
11. インフォメーションディスプレイのシリアル番号が、無線通信受信機のシリアル番号と一致していることを確認します。
12. シリアル番号が一致しない場合、ペアリング操作が正しく実行されていません。次の手順を実行します。
 - a) シリアル番号が一致している製品を見つけて、その製品の電源を切ります。

- b) お使いの製品を停止します。参照：本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページ。
- c) ペアリング操作手順をもう一度実行します。
13. シリアル番号が一致したら、右側のボタンを押します。インフォメーションセンターディスプレイにペアリング操作が実行されたことを示すメッセージが2秒間表示されます。
14. 本製品を停止して、無線通信受信機を再始動します。参照：本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページ。
15. リモートコントロールを再始動します。参照：リモートコントロールの始動 57 ページ。
16. 本製品を始動します。参照：本製品の始動方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページ。
17. インフォメーションセンターディスプレイに無線信号のシンボルが表示されていることを確認します。参照：インフォメーションセンターディスプレイ 53 ページ。
18. 左側サイドカバーを取り付け、本製品の左ハッチを閉じます。

CAN バスケーブルで接続したリモートコントロールによる本製品の操作



警告： 本製品が落下するおそれがあるところでは、CAN バスケーブルで接続したリモートコントロールを使用しないでください。

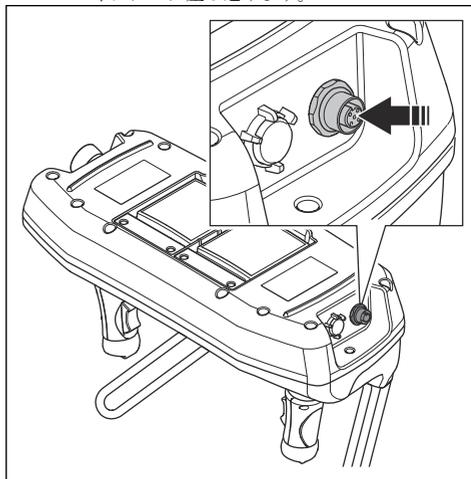
注記： CAN バスケーブルでリモートコントロールを使用する前に、無線機によるペアリング操作を行う必要があります。

リモートコントロールが CAN バスケーブルに接続されている場合は、無線信号の送信が停止します。

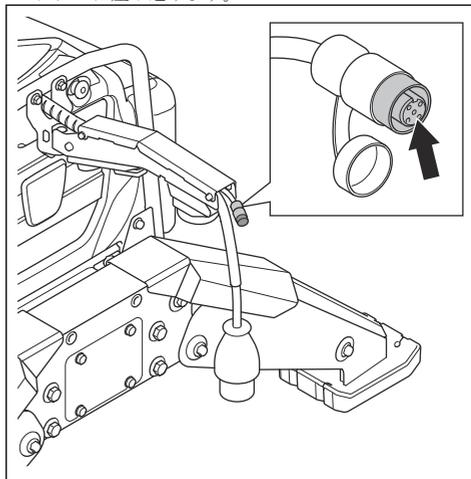
- CAN バスケーブルでリモートコントロールと本製品を接続します。参照：CAN バスケーブルを使用した本製品とリモートコントロールの接続(DXR 145)62 ページおよび CAN バスケーブルを使用した本製品とリモートコントロールの接続(DXR 275, DXR 305, DXR 315)63 ページ。

CAN バスケーブルを使用した本製品とリモートコントロールの接続(DXR 145)

1. CAN バスケーブルの一方の端をリモートコントロールのコネクタに差し込みます。



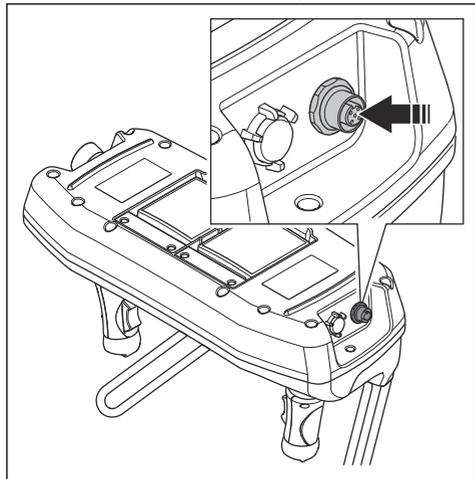
2. CAN バスケーブルのもう一方の端を、本製品のコネクタに差し込みます。



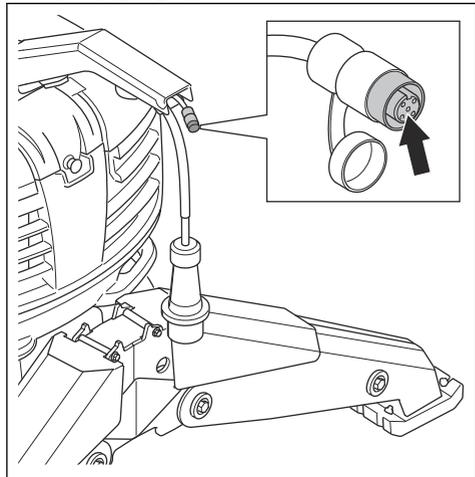
3. CAN バスケーブルのコネクタのネジを手で締めます。

CAN バスケーブルを使用した本製品とリモートコントロールの接続(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. CAN バスケーブルの一方の端をリモートコントロールのコネクターに差し込みます。



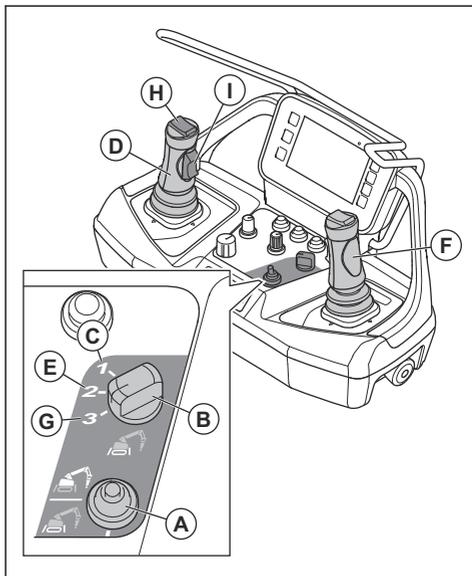
2. CAN バスケーブルのもう一方の端を、本製品のコンネクターに差し込みます。



3. CAN バスケーブルのコネクターのネジを手で締めます。

動作モード

動作モードスイッチ (A) は、作業モードか輸送モードを選択するために使用します。



作業モードでは、アーム 1、アーム 2、アーム 3、ツール、タワーを操作できます。

輸送モードは 3 つのモードに分かれています。輸送モードスイッチ (B) は、3 つの輸送モードのいずれかを選択するために使用します。

- 1 レバー制御 (C) : キャタピラートラック、アウトリガー、タワー、一部のアーム機能を操作できます。左側操縦かん (D) でキャタピラートラックを制御します。
- 2 レバー制御 (E) : キャタピラートラックとアウトリガーを操作できます。左側操縦かんで左キャタピラートラックを制御します。右側操縦かん (F) で右キャタピラートラックを制御します。
- 徐行 (G) : キャタピラートラック、タワー、すべてのアーム機能を操作できます。左側操縦かんの上部ボタン (H) とサイドスイッチ (I) でキャタピラートラックを制御します。キャタピラートラックは、前方または後方の直進のみ可能です。

リモートコントロールの操縦かんを 3 秒間使用しないと、本製品はアイドルモードになります。油圧オイルが油圧オイルタンクに入り、シリンダー内には圧力がかかりません。

操縦かんパターン

リモートコントロールには 4 つの操縦かんパターンがあります。[Pattern 1 (パターン 1)] が標準として使用されます。[Pattern 1 (パターン 1)] 40 ページを参照してください。操縦かんパターンは、ディスプレイの

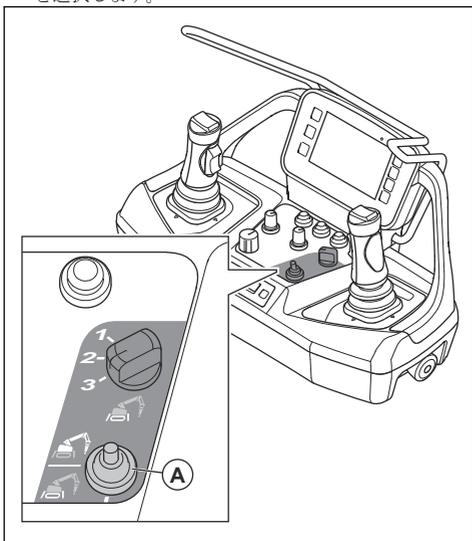
[Controls (コントロール)] メニューにある [Joystick setup (操縦かん設定)] で変更できます。[Joystick setup (操縦かん設定)] 39 ページを参照してください。



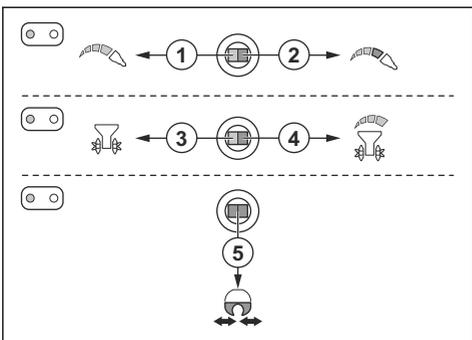
警告： 負傷や損傷の危険があります。本製品を運転する前に、どの操縦かんパターンが作動しているかを確認してください。ディスプレイのステータスバーで確認します。ディスプレイのステータスバーに表示されるシンボル 14 ページを参照してください。

ツールの操作

1. 動作モードスイッチ (A) を押し上げて、作業モードを選択します。



2. 下図に示すように、左側操縦かんを使用します。

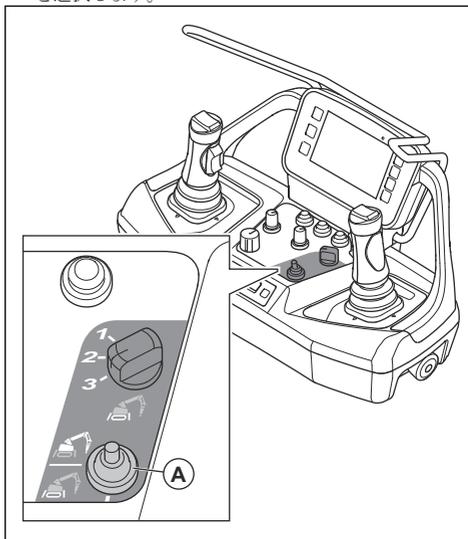


ポジション	使用
1	ブレードまたはカッターへの圧力または流量を調整します。
2	ブレードまたはカッターに最大圧力または最大流量を供給します。
3	ドラムカッター内に詰まっている物を取り除きます。ドラムカッターは、半分の速度で反対方向に回転します。
4	ドラムカッターへの流量を調整します。
5	コンクリートクラッシャー、鋼製はさみ、鉤を開閉します。

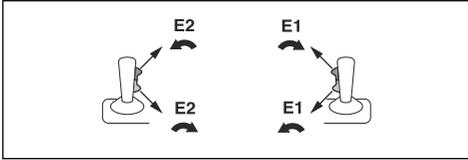
注記： カッターごとに異なる上部ボタンを使用して、カッターを開閉します。

運転中に [Extra function (その他の機能)] を使用して操縦かんを操作する方法

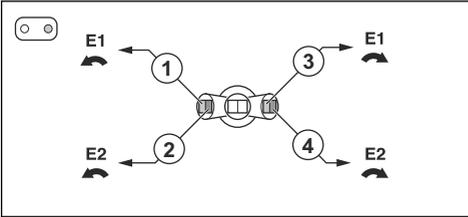
1. リモートコントロールのメニューボタンを押します。
2. ディスプレイの [Tools (ツール)] メニューから [Custom tool 1-3 (カスタムツール 1~3)] を選択します。
3. [Extra function 1 (その他の機能 1)] または [Extra function 2 (その他の機能 2)] を選択します。[Custom tool 1-3 (カスタムツール 1~3)] 38 ページを参照してください。
4. 動作モードスイッチ (A) を押し上げて、作業モードを選択します。



5. [Side switch setup (サイドスイッチ設定)] が [Auto (自動)] または [Extra 1/Extra 2 (その他 1/その他 2)] に設定されている場合は、図に示すように操縦かんのサイドスイッチを使用します。[Joystick setup (操縦かん設定)] 39 ページを参照してください。



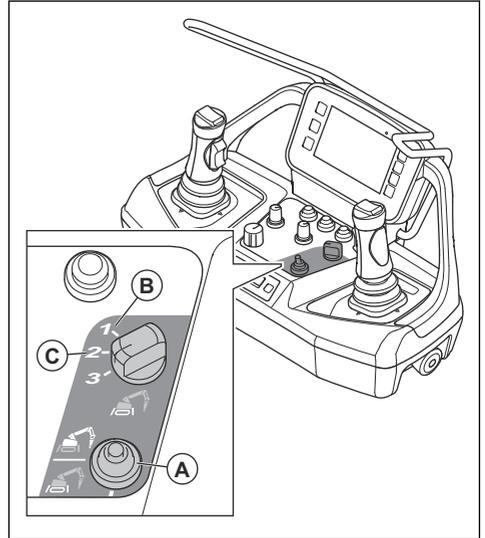
6. [Side switch setup (サイドスイッチ設定)] が [Off] に設定されている場合は、下図に示すように右側操縦かんを使用します。



ポジション	使用
1	[Extra function 1 (その他の機能 1)] : 油圧オイルの方向 1 を選択します。
2	[Extra function 1 (その他の機能 1)] : 油圧オイルの方向 2 を選択します。
3	[Extra function 2 (その他の機能 1)] : 油圧オイルの方向 1 を選択します。
4	[Extra function 2 (その他の機能 1)] : 油圧オイルの方向 2 を選択します。

アウトリガーの操作

1. 動作モードスイッチ (A) を押し下げて、輸送モードを選択します。

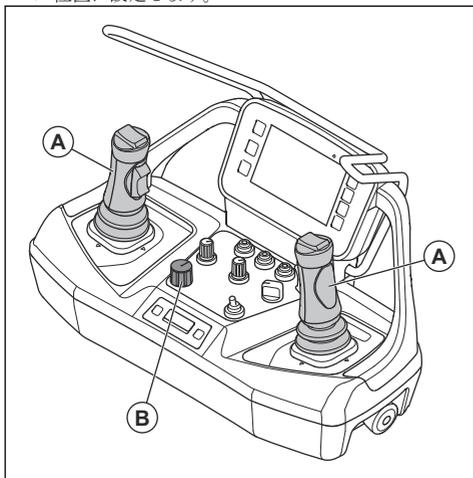


2. 次に示す 1 レバー制御の手順を実行します。
- 輸送モードスイッチを 1 レバー制御 (B) に回します。
 - 操縦かんを使用して、アウトリガーを伸ばしたり、引き込みます。[Pattern 1 (パターン 1)] 40 ページ、[Pattern 2 (パターン 1)] 44 ページ、[Pattern 3 (パターン 1)] 46 ページを参照してください。
3. 次に示す 2 レバー制御の手順を実行します。
- 輸送モードスイッチを 2 レバー制御 (C) に回します。
 - 操縦かんを使用して、アウトリガーを伸ばしたり、引き込みます。[Pattern 1 (パターン 1)] 40 ページを参照してください。

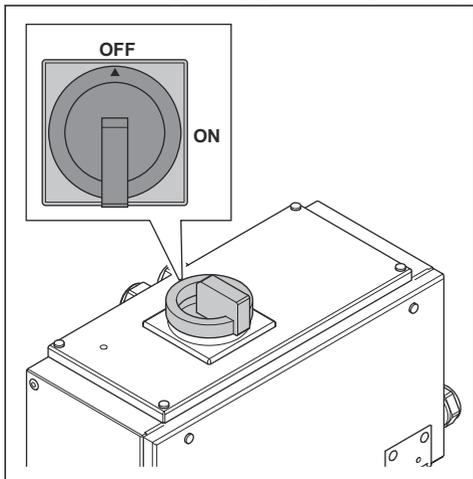
本製品の停止方法(DXR 145)

1. アームシステムが地面に着くまでアームシステムを引き込みます。

2. リモートコントロールの操縦かん (A) をニュートラル位置に設定します。



3. OFF/ON/START スイッチ (B) を OFF 位置に回します。
4. 作業エリアに入り、本製品の右ハッチを開きます。
5. メインスイッチを OFF 位置にして電源を切ります。

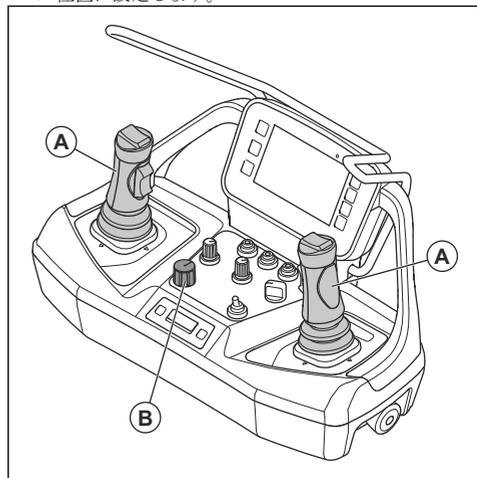


6. 本製品の右ハッチを閉じます。
7. 電源プラグを外します。

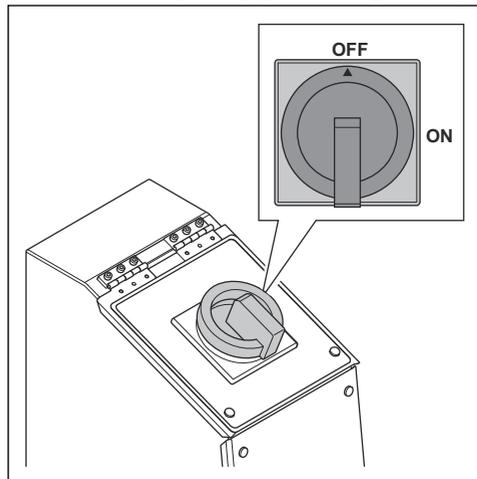
本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. アームシステムが地面に着くまでアームシステムを引き込みます。

2. リモートコントロールの操縦かん (A) をニュートラル位置に設定します。



3. OFF/ON/START スイッチ (B) を OFF 位置に回します。
4. 作業エリアに入り、本製品の右ハッチを開きます。
5. メインスイッチを OFF 位置にして電源を切ります。



6. 本製品の右ハッチを閉じます。
7. 電源プラグを外します。

メンテナンス

はじめに



警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



警告： 怪我を防ぐため、メンテナンスを行う前に電源コードを抜いてください。

メンテナンス前の作業



警告： 電気により、重傷や死亡事故が発生するおそれがあります。本製品を整備する際は、本取扱説明書に記載されているすべての安全注意事項に従ってください。

- 身体保護具を使用してください。プロテクティブ装具 20 ページを参照してください。
- 本製品は、十分な広さがある安全な場所に駐車してください。
- 本製品は、アームシステムとアウトリガーを降ろした状態で水平な地面に駐車してください。
- 本製品の一部の部品は、運転中非常に高温になります。メンテナンス前に本製品を冷ましてください。
- メンテナンス作業中であることを周囲の人々に警告するために、分かりやすい標識を設置してください。
- エリアの照明が十分であることを確認してください。

- リフト装置を使用して、重量のある製品部品を持ち上げ、メンテナンス中は安定した位置に保持します。メンテナンス前に製品部品を機械的にロックし、可動部品による負傷を防ぎます。
- メンテナンス中に誤って始動しないように、モーターを停止して電源プラグを抜きます。メンテナンス中は、電源プラグが外されていることを確認してください。
- 本製品の周囲に付着したオイルやほこりを清掃します。不要な付着物などがあれば取り除いてください。
- 製品を清掃します。油圧システムに汚れがあると、損傷が生じるおそれがあります。
- 消火器や医療用品、緊急用電話を近くに用意しておきます。
- ネジ接合部を緩める前に、または油圧ホースを外す前に、機械的に動く可能性がある製品部品をロックします。
- 接続を外すときは注意してください。パイプとホースのカップリングは、本製品が停止しても加圧されたままになっている場合があります。
- すべてのケーブルとホースにマークを付けて、本製品を簡単に正しく組み立てられるようにします。

メンテナンスのスケジュール

* = 作業者が行う通常のメンテナンス。この取扱説明書には説明がありません。

X = この取扱説明書に説明があります。

一般的な製品メンテナンス	最初の8時間	毎日	毎週	250時間ごと	500時間ごと	1000時間ごと
アームシステムとアウトリガーシステムの留め具が締め付けられていることを確認します。必要に応じて留め具を締め付けます。締め付けトルク(DXR 145)87 ページおよび締め付けトルク(DXR 275, DXR 305, DXR 315)88 ページを参照してください。	X	X				
油圧シリンダー、スルーモーター、駆動モーターを点検します。		*				
アームシステムとツールヒッチのすべてのジョイントとシリンダー取り付け具を潤滑します。本製品の潤滑方法(DXR 145)84 ページおよび本製品の潤滑方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)85 ページを参照してください。		X				
ボルトと留め具が締め付けられていることを確認します。必要に応じてボルトと留め具を締め付けます。		*				
シリンダーとホースに漏れがないか点検します。		X				

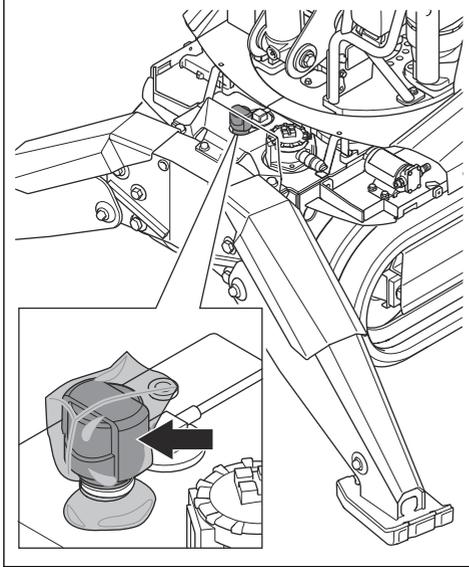
一般的な製品メンテナンス	最初の 8時間	毎日	毎週	250時 間ごと	500時 間ごと	1000 時間ご と
電源ケーブル、コネクタ、ソケットに損傷がないか点検します。電気ケーブルに摩耗がないか点検する方法 84 ページを参照してください。		*				
キャタピラトラックとアウトリガーに損傷がないか点検します。本製品にひびがないか点検する方法 84 ページを参照してください。		*				
油圧オイルレベルを点検します。		X				
ブレーカークリースポンプのグリースカートリッジを点検します。		X				
本製品の緊急停止ボタンとリモートコントロールの機器停止ボタンを点検します。正常に作動することを確認してください。			X			
アウトリガーのすべてのジョイントと取り付けブラケットを潤滑します。			X			
ギアリングのボールベアリングとギアリングのギアを潤滑します。			X			
溶接継ぎ目、穴、鋭利な角に損傷やひびがないか点検します。			X			
本製品と油圧オイルクーラーを清掃します。			X			
バルブブロック、油圧オイルクーラー、スルーモーター、駆動モーターに漏れがないか点検します。			*			
標識とステッカーに損傷がないか点検します。				*		
リモートコントロールに損傷がないか点検します。				*		
駆動モーターのオイルレベルを点検します。				X		
DXR 145, DXR 275, DXR 305, DXR 315 : スルーモーターのオイルレベルを点検します。				X		
油圧エアフィルターを交換します				X		
油圧油フィルターを交換します。				X		
駆動モーター sprocket を締め付けます。				*		
油圧オイルを交換します。					X	
駆動モーターのオイルを交換します。						X
DXR 145, DXR 275, DXR 305, DXR 315 : スルーモーターのオイルを交換します。						X



警告： すべての安全重要機能は、20 年ごとに交換する必要があります。安全重要部品 30 ページを参照してください。

製品の清掃(DXR 145)

- 本製品を清掃する前に、油圧オイルタンクのエアフィルター周囲にプラスチックバッグをしっかりと取り付けます。これは、水が油圧オイルタンクに入らないようにするためです。



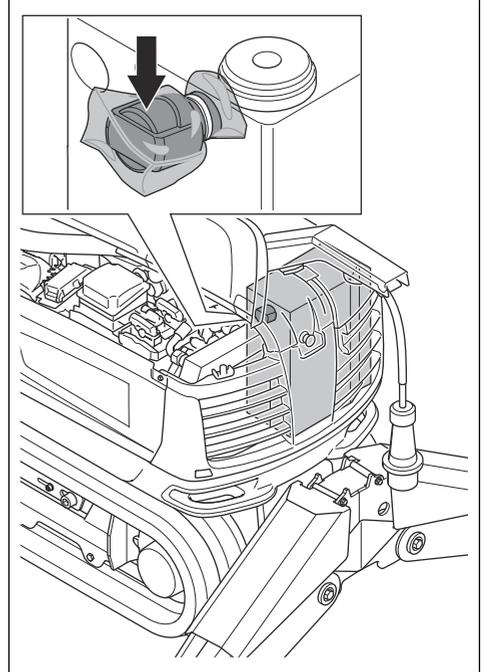
- 本製品を水または圧縮空気で清掃します。
- 本製品が水できれいにならない場合は、弱い洗浄剤を使用します。



警告： 高圧洗浄機や圧縮空気を電気部品、油圧ホース、シールに直接向けないでください。水や汚れが本製品に入り込み、損傷を引き起こすおそれがあります。

製品の清掃(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

- 本製品を清掃する前に、油圧オイルタンクのエアフィルター周囲にプラスチックバッグをしっかりと取り付けます。これは、水が油圧オイルタンクに入らないようにするためです。



- 本製品を水または圧縮空気で清掃します。
- 本製品が水できれいにならない場合は、弱い洗浄剤を使用します。



警告： 高圧洗浄機や圧縮空気を電気部品、油圧ホース、シールに直接向けないでください。水や汚れが本製品に入り込み、損傷を引き起こすおそれがあります。

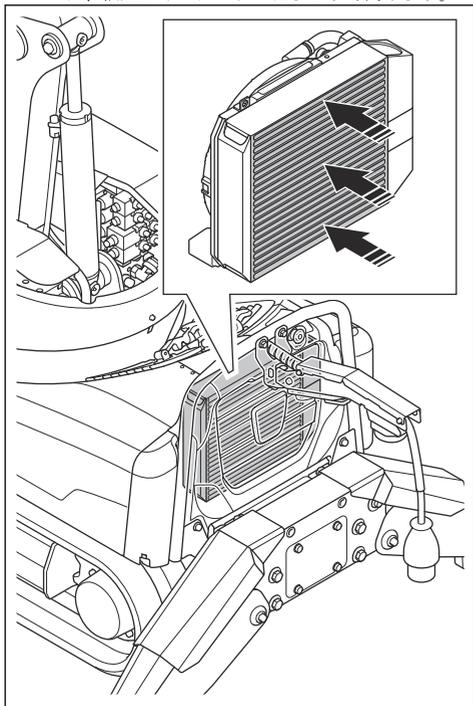
油圧オイルクーラーの清掃(DXR 145)



警告： やけどのおそれがあります。清掃前に油圧オイルクーラーを冷ましてください。

- 油圧オイルクーラー周辺を、水と弱い洗浄剤で清掃します。
- 油圧オイルクーラーの冷却フィンを圧縮空気で清掃します。
- 冷却フィンが圧縮空気できれいにならない場合は、高圧洗浄機と洗浄剤を使用します。

- 冷却フィンの損傷を防ぐため、次の指示に従ってください。
 - a) 最大圧力 100 バール / 1,450 psi のみを使用します。
 - b) 油圧オイルクーラーとノズルの間に 40 cm/15.7 インチ以上の隙間があることを確認します。
 - c) 水または空気は、冷却フィンと平行になるように、油圧オイルクーラーにまっすぐ向けます。



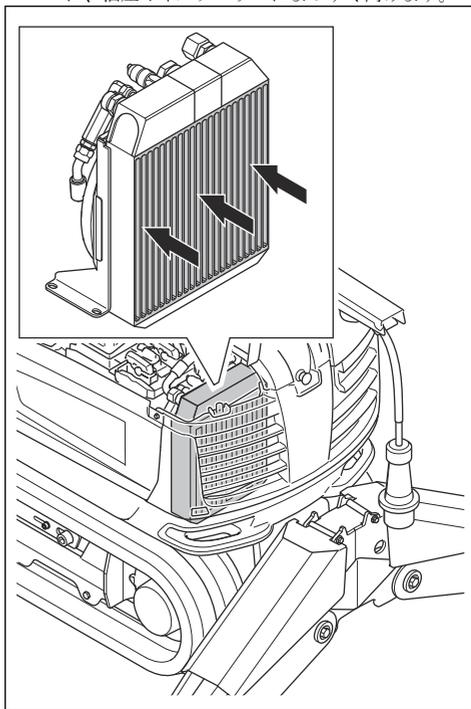
油圧オイルクーラーの清掃(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



警告： やけどのおそれがあります。清掃前に油圧オイルクーラーを冷ましてください。

- 油圧オイルクーラー周辺を、水と弱い洗浄剤で清掃します。
- 油圧オイルクーラーの冷却フィンを圧縮空気で清掃します。
- 冷却フィンが圧縮空気できれいにならない場合は、高圧洗浄機と洗浄剤を使用します。
- 冷却フィンの損傷を防ぐため、次の指示に従ってください。
 - a) 最大圧力 100 バール / 1,450 psi のみを使用します。
 - b) 油圧オイルクーラーとノズルの間に 40 cm/15.7 インチ以上の隙間があることを確認します。

- c) 水または空気は、冷却フィンと平行になるように、油圧オイルクーラーにまっすぐ向けます。



電気部品の清掃

- 電動モーター、電気ボックス、電気の端子、その他の電気部品を清掃します。布または圧縮空気を使用します。



注意： 電気部品には水を直接使用しないでください。

- リモートコントロールの外側の部品を湿らせた布で拭きます。リモートコントロールの内側の部品を圧縮空気で清掃します。



注意： リモートコントロールに高圧洗浄機を使用しないでください。

バッテリーとバッテリー充電器の清掃



注意： バッテリーまたはバッテリー充電器は、水で洗浄しないでください。

- バッテリー充電器にバッテリーを接続する前に、バッテリーとバッテリー充電器に汚れがなく、乾燥していることを確認してください。

- バッテリーの端子を圧縮空気または柔らかい乾いた布で清掃します。
- バッテリーとバッテリー充電器の表面を柔らかい乾いた布で清掃します。

本製品を清掃した後の作業

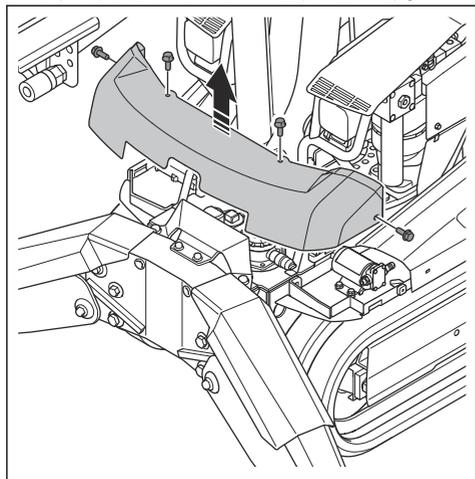
- 本製品のすべての潤滑点を潤滑します。本製品の潤滑方法(DXR 145)84 ページおよび本製品の潤滑方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)85 ページを参照してください。
- 本製品を水で洗浄した場合は、始動する前に完全に乾燥させてください。



注意：本製品を水で洗浄した後で始動するときは注意してください。湿気が原因で損傷した部品は、本製品の動作に望ましくない影響を与えるおそれがあります。

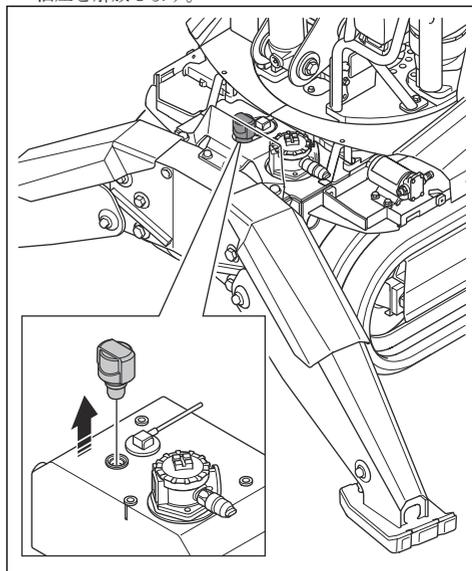
油圧システムの油圧の解放(DXR 145)

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページを参照してください。
2. アームシステムが最低の圧力で地面に着くまでアームシステムを伸ばします。油圧シリンダーの油圧が解放されます。
3. アウトリガーが最低の圧力で地面に着くまでアウトリガーを伸ばします。油圧シリンダーの油圧が解放されます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。
5. 4本のネジとフロントカバーを取り外します。



6. エアフィルター周辺を清掃します。

7. エアフィルターを取り外し、油圧オイルタンク内の油圧を解放します。



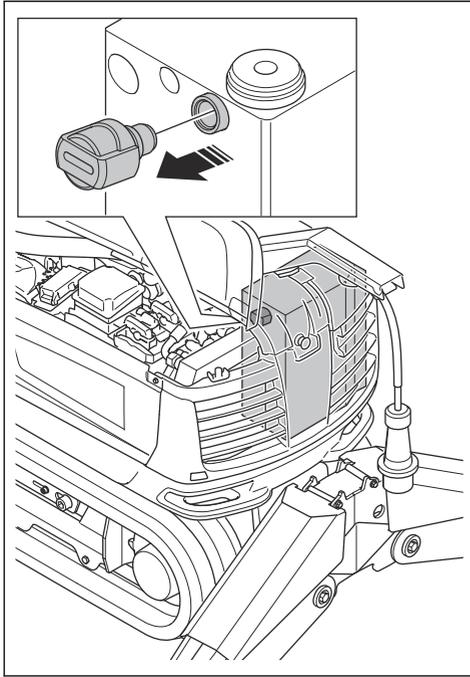
8. 内部の漏れによって油圧が下がるまで5分間待ちます。
9. エアフィルターを油圧オイルタンクに取り付けます。
10. フロントカバーを取り付け、4本のネジを締め付けます。

キャタピラートラックユニットの場合は、油圧蓄圧器の油圧を解放します。キャタピラートラックの取り外しと取り付け(DXR 145)89 ページを参照してください。

油圧システムの油圧の解放(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
2. アームシステムが最低の圧力で地面に着くまでアームシステムを伸ばします。油圧シリンダーの油圧が解放されます。
3. アウトリガーが最低の圧力で地面に着くまでアウトリガーを伸ばします。油圧シリンダーの油圧が解放されます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
5. 本製品の左ハッチを開きます。
6. エアフィルター周辺を清掃します。

- エアフィルターを取り外し、油圧オイルタンク内の油圧を解放します。



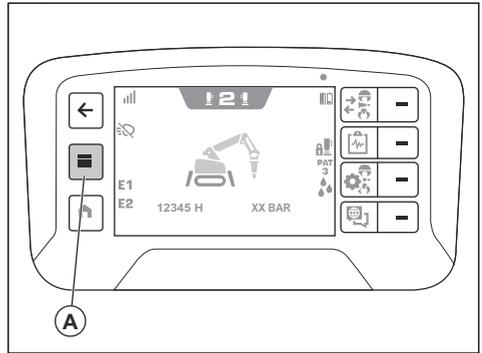
- 内部の漏れによって油圧が下がるまで5分間待ちます。
- エアフィルターを油圧オイルタンクに取り付けます。
- 本製品の左ハッチを閉じます。

キャタピラートラックユニットの場合は、油圧蓄圧器の油圧を解放します。キャタピラートラックの取り外しと取り付け(DXR 275, DXR 305, DXR 315)90 ページを参照してください。

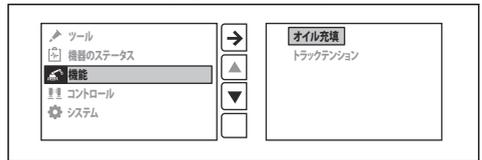
油圧オイルレベルの点検(DXR 145)

- 本機を水平面に駐車します。
- アームシステムを完全に引き込みます。
- アウトリガーを完全に引き込みます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。

- リモートコントロールのメニューボタン (A) を押します。



- ディスプレイの [Function (機能)] メニューで [Oil refill (オイル充填)] を選択します。

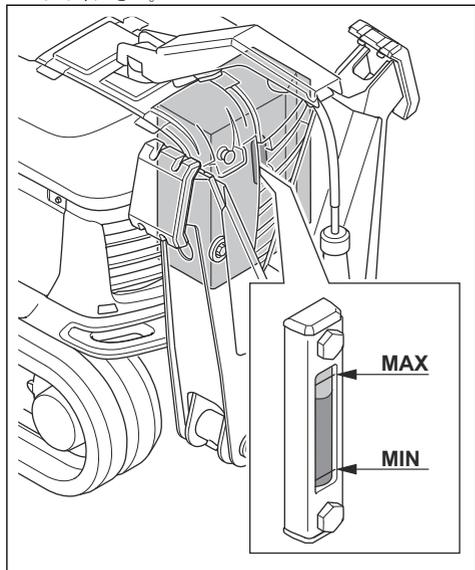


- ディスプレイの油圧オイルレベルを読み取ります。
- 油圧オイルレベルが 80 %未満の場合は、油圧オイルを充填します。油圧オイルの充填(DXR 145)75 ページを参照してください。

油圧オイルレベルの点検(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

- 本機を水平面に駐車します。
- アームシステムを完全に引き込みます。
- アウトリガーを完全に引き込みます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。

- 油圧オイルタンクのサイトガラスで油圧オイルレベルを点検します。油圧オイルレベルは、最大レベルより **1 cm/0.39** インチを超えて低くならないようにしてください。



- 油圧オイルレベルが低くなる場合は、油圧オイルを充填します。油圧オイルの充填(DXR 275, DXR 305, DXR 315)76 ページを参照してください。

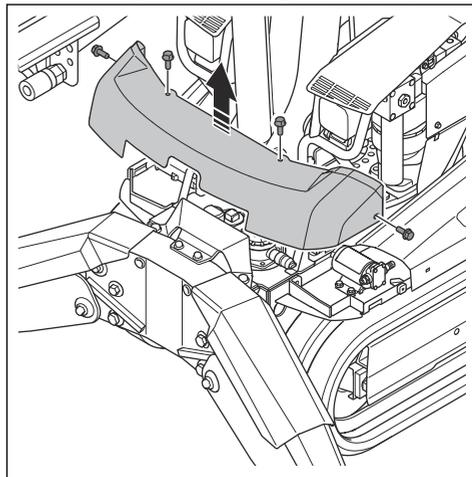
油圧オイルの排出(DXR 145)



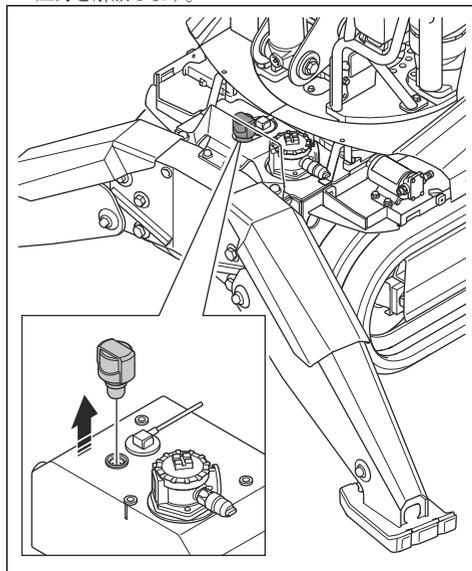
警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。油圧オイルを排出する前に本製品を冷ましてください。

- 本機を水平面に駐車します。
- アームシステムを本製品の片側に **90°** 回転させます。
- アームシステムを完全に引き込みます。
- アウトリガーを完全に引き込みます。アウトリガーの操作 **65** ページを参照してください。
- 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。

- 4本のネジとフロントカバーを取り外します。

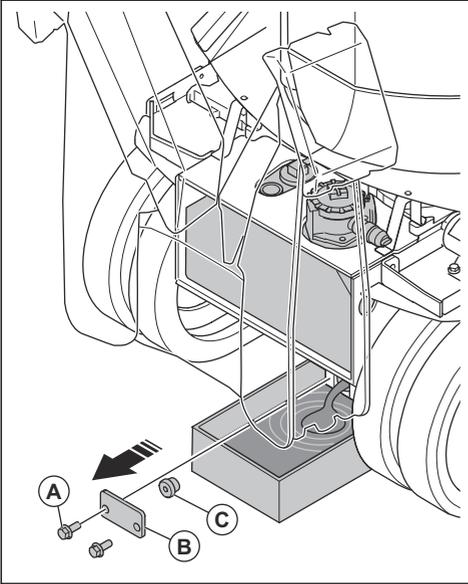


- エアフィルター周辺を清掃します。
- エアフィルターを取り外し、油圧オイルタンク内の圧力を解放します。



- 油圧オイル用ドレンプラグの下に容器を置きます。

10. 2本のネジ (A) とドレンプラグカバー (B) を取り外します。

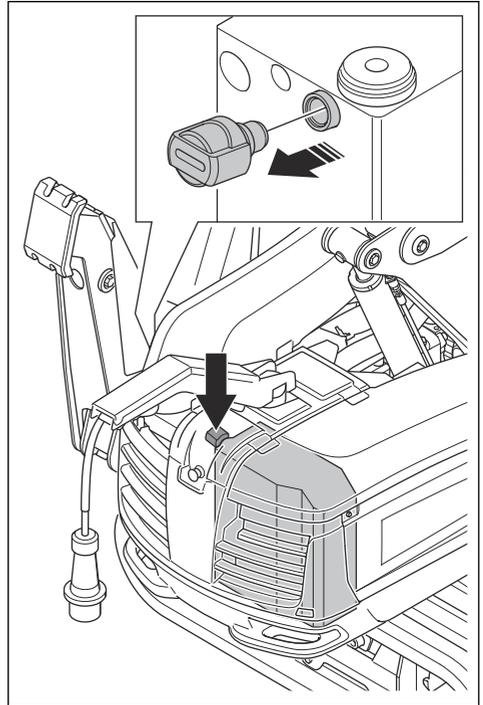


11. 油圧オイルのドレンプラグ (C) を取り外します。
 12. 油圧オイルを容器に排出します。
 13. 必要に応じて油圧オイルフィルターを交換します。
 油圧オイルフィルターの交換(DXR 145)77 ページを参照してください。
 14. 油圧オイルのドレンプラグを取り付け、締め付けます。
 15. ドレンプラグカバーを取り付け、2本のネジを締め付けます。
 16. エアフィルターを取り付け、締め付けます。
 17. フロントカバーを取り付け、4本のネジを締め付けます。



注意： 油圧オイルタンクが空の場合は、本製品を始動しないでください。油圧ポンプが損傷します。油圧オイルタンクに油圧オイルを充填します。油圧オイルの充填(DXR 145)75 ページを参照してください。

2. アームシステムを本製品の片側に 90°回転させます。
 3. アームシステムを完全に引き込みます。
 4. アウトリガーを完全に引き込みます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
 5. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
 6. 本製品の左ハッチを開きます。
 7. エアフィルター周辺を清掃します。
 8. エアフィルターを取り外し、油圧オイルタンク内の圧力を解放します。



9. 油圧オイル用ドレンプラグの下に容器を置きます。

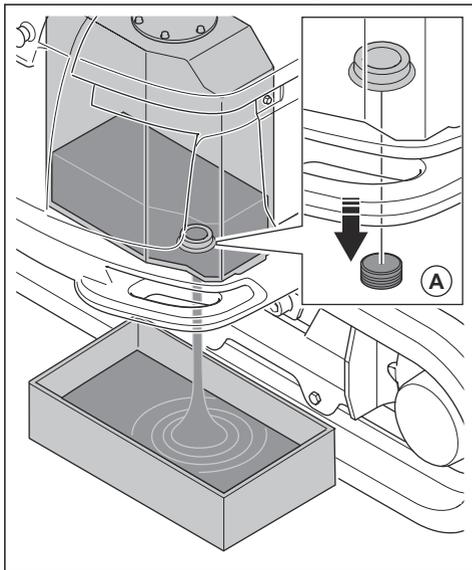
油圧オイルの排出(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



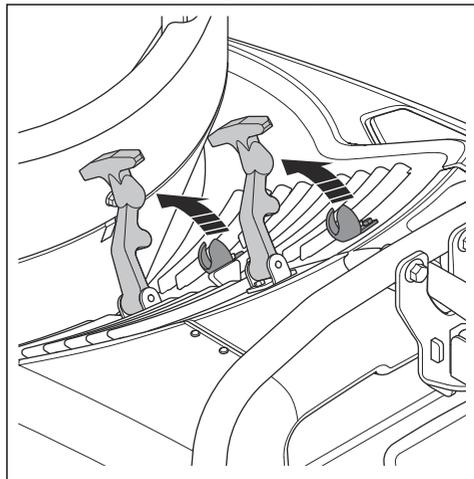
警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。油圧オイルを排出する前に本製品を冷ましてください。

1. 本機を水平面に駐車します。

10. 油圧オイルのドレンプラグ (A) を取り外します。



5. 2つのラバークリップを開きます。



11. 油圧オイルを容器に排出します。

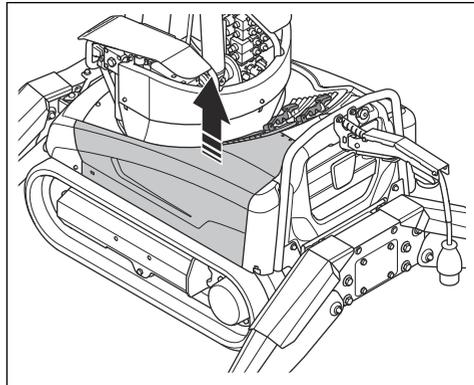
12. 必要に応じて油圧オイルフィルターを交換します。
油圧オイルフィルターの交換(DXR 275, DXR 305, DXR 315)78 ページを参照してください。

13. 油圧オイルのドレンプラグを取り付け、締め付けます。

14. エアフィルターを取り付け、締め付けます。

15. 本製品の左ハッチを閉じます。

6. 左側サイドカバーを外します。



注意： 油圧オイルタンクが空の場合は、本製品を始動しないでください。油圧ポンプが損傷します。油圧オイルタンクに油圧オイルを充填します。油圧オイルの充填(DXR 275, DXR 305, DXR 315)76 ページを参照してください。

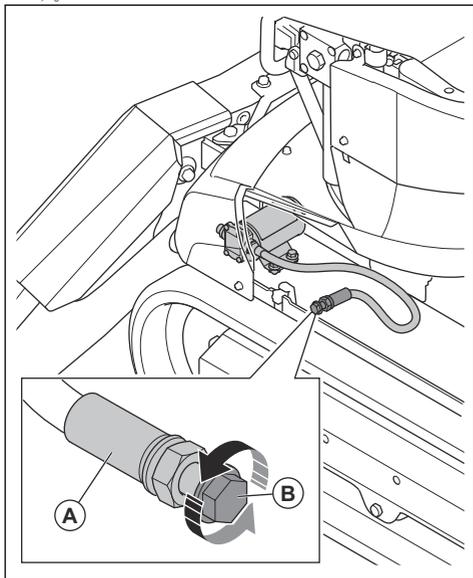
油圧オイルの充填(DXR 145)



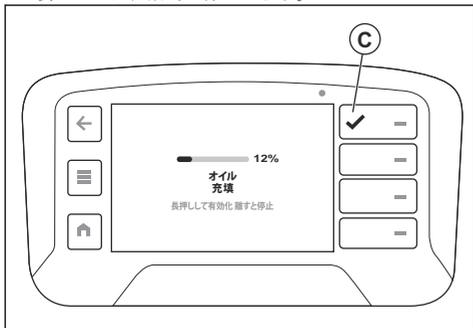
警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。油圧オイルを交換する前に本製品を冷ましてください。

1. 本機を水平面に駐車します。
2. アームシステムを完全に引き込みます。
3. アウトリガーを完全に引き込みます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。

- 油圧充填ポンプ (A) のサクシオンホースを清掃します。



- サクシオンホース (B) のプラグを取り外します。
- サクシオンホースを油圧オイル容器に入れます。新しい油圧オイルを使用してください。油圧オイル 115 ページを参照してください。
- リモートコントロールのメニューボタンを押します。
- ディスプレイの [Function (機能)] メニューで [Oil refill (オイル充填)] を選択します。
- ディスプレイの油圧オイルレベルを読み取ります。
- ボタン (C) を押し続けて、油圧オイルを充填します。油圧オイルタンクがいっぱいになると、油圧充填ポンプは自動的に停止します。



- 油圧オイル容器からサクシオンホースを取り外します。
- サクシオンホースのプラグを取り付けます。

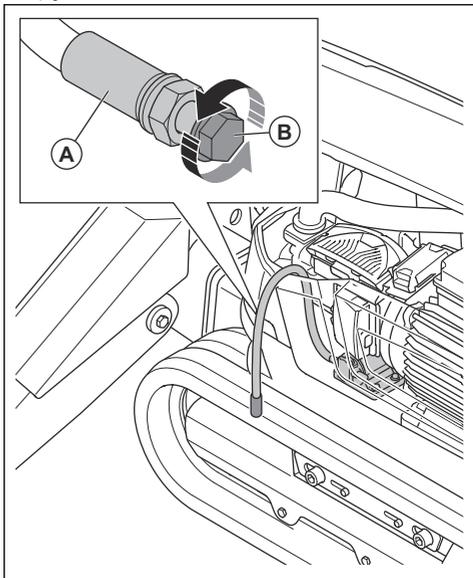
- 左側サイドカバーを取り付け、2 つのラパークリップを締め付けます。
- 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページを参照してください。
- アームシステムを外側と内側の末端位置の間で数回動かして、油圧システム内の空気を除去します。
- 本製品を停止し、漏れがないことを確認します。
- ディスプレイの油圧オイルレベルを読み取ります。必要に応じて油圧オイルを充填します。

油圧オイルの充填(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



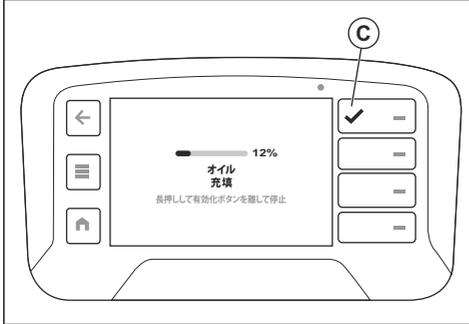
警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。油圧オイルを交換する前に本製品を冷ましてください。

- 本機を水平面に駐車します。
- アームシステムを完全に引き込みます。
- アウトリガーを完全に引き込みます。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
- 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
- 本製品の左ハッチを開きます。
- 油圧充填ポンプ (A) のサクシオンホースを清掃します。

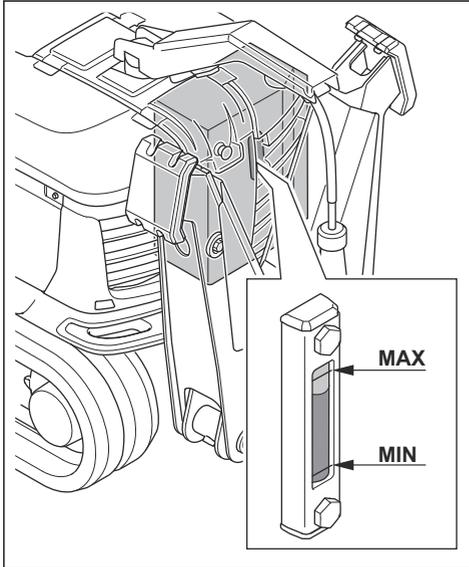


- サクシオンホース (B) のプラグを取り外します。

8. サクションホースを油圧オイル容器に入れます。新しい油圧オイルを使用してください。油圧オイル 115 ページを参照してください。
9. リモートコントロールのメニューボタンを押します。
10. ディスプレイの [Function (機能)] メニューで [Oil refill (オイル充填)] を選択します。
11. ボタン (C) を押し続けて、油圧オイルを充填します。



12. 油圧オイルタンクのサイトガラスで油圧オイルレベルを点検します。油圧オイルレベルは、最大レベルより 1 cm/0.39 インチを超えて低くならないようにしてください。



13. サイトガラスで油圧オイルが適切なレベルになったら、ボタン (C) を放します。
14. 油圧オイル容器からサクションホースを取り外します。
15. サクションホースのプラグを取り付けます。
16. 本製品の左ハッチを閉じます。

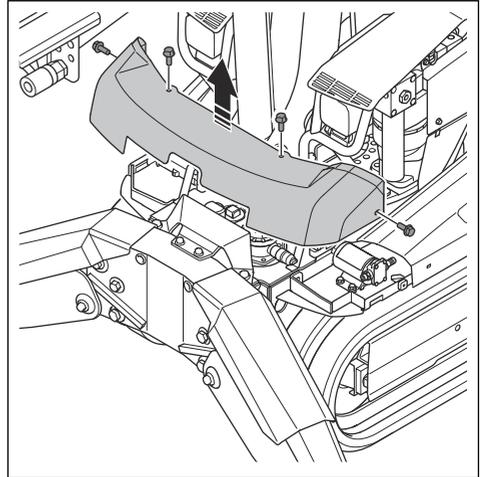
17. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
18. アームシステムを外側と内側の末端位置の間で数回動かして、油圧システム内の空気を除去します。
19. 本製品を停止し、漏れがないことを確認します。
20. 油圧オイルタンクのサイトガラスで油圧オイルレベルを点検します。必要に応じて油圧オイルを充填します。

油圧オイルフィルターの交換(DXR 145)



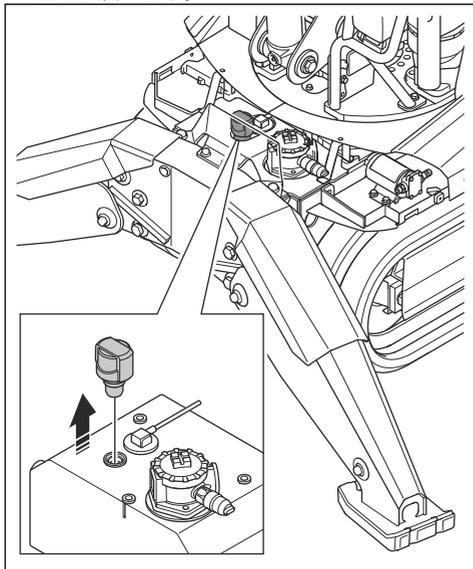
警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。油圧オイルフィルターを交換する前に本製品を冷ましてください。

1. 本機を水平面に駐車します。
2. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。
3. 4本のネジとフロントカバーを取り外します。

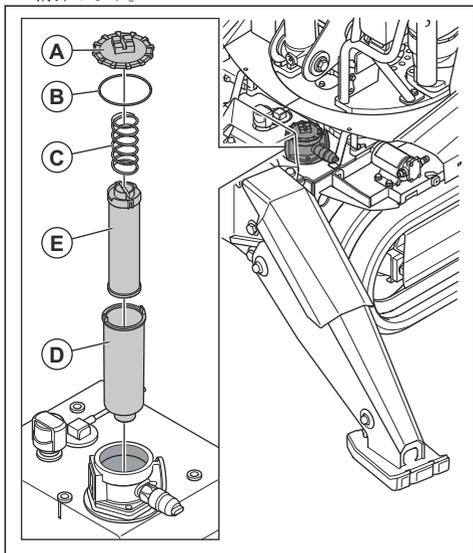


4. エアフィルター周辺を清掃します。

- エアフィルターを取り外し、油圧オイルタンク内の圧力を解放します。



- 油圧オイルフィルターカバー (A) と隣接する部品を清掃します。



- 油圧オイルフィルターカバーをシールリング (B) とスプリング (C) とともに取り外します。
- シールリングに損傷がないか点検します。必要に応じてシールリングを交換します。
- フィルターホルダー (D) を取り外します。

- フィルターホルダーから油圧オイルフィルター (E) を取り外します。
- フィルターホルダーに不要な物質や粒子がないか点検します。不要な物質や粒子がある場合、油圧システムに損傷や汚染があることを示しています。
- フィルターホルダーを脱脂剤で清掃し、フィルターホルダーを温水で洗浄します。フィルターホルダーを圧縮空気で乾燥させます。
- 新しい油圧オイルフィルターをフィルターホルダーに取り付けます。
- フィルターホルダーを油圧オイルタンクに取り付けます。
- 油圧オイルフィルターカバーを取り付けます。
- エアフィルターを取り付けます。
- フロントカバーを取り付け、4本のネジを締め付けます。

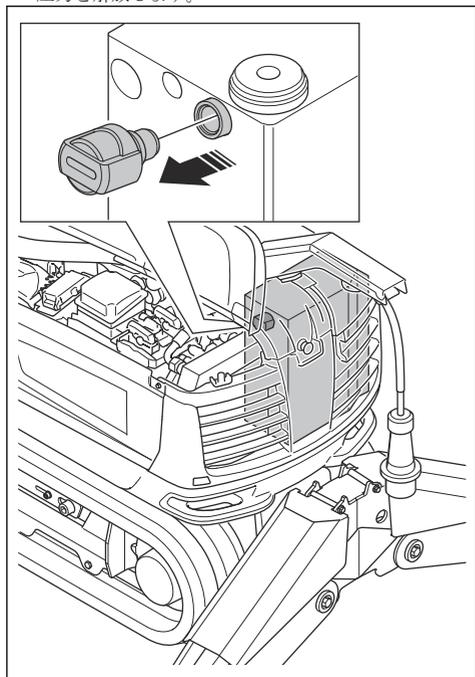
油圧オイルフィルターの交換(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。油圧オイルフィルターを交換する前に本製品を冷ましてください。

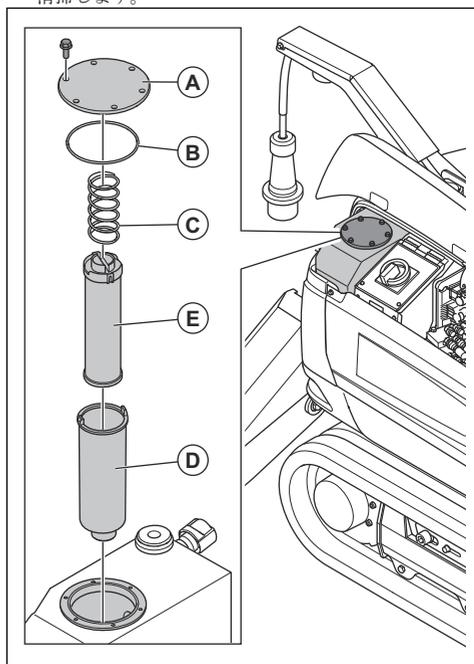
- 本機を水平面に駐車します。
- 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
- 本製品の左ハッチを開きます。
- エアフィルター周辺を清掃します。

5. エアフィルターを取り外し、油圧オイルタンク内の圧力を解放します。



6. 本製品の右ハッチを開きます。

7. 油圧オイルフィルターカバー (A) と隣接する部品を清掃します。



8. 油圧オイルフィルターカバーを取り外します。
9. シールリング (B)、スプリング (C)、フィルターホルダー (D) を取り外します。
10. フィルターホルダーから油圧オイルフィルター (E) を取り外します。
11. フィルターホルダーに不要な物質や粒子がないか点検します。不要な物質や粒子がある場合、油圧システムに損傷や汚染があることを示しています。
12. フィルターホルダーを脱脂剤で清掃し、フィルターホルダーを温水で洗浄します。フィルターホルダーを圧縮空気で乾燥させます。
13. 新しい油圧オイルフィルターをフィルターホルダーに取り付けます。
14. フィルターホルダーを油圧オイルタンクに取り付けます。
15. 新しいシーリングリングを取り付けます。
16. スプリングを取り付けます。
17. 油圧オイルフィルターカバーを取り付けます。
18. エアフィルターを取り付けます。
19. 本製品の右ハッチと左ハッチを閉じます。

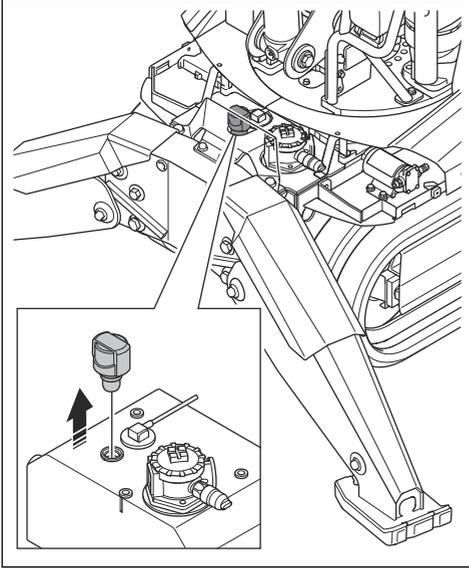
エアフィルターの交換 (DXR 145)



警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。

す。エアフィルターを交換する前に本製品を冷ましてください。

1. 本機を水平面に駐車します。
2. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。
3. エアフィルターの外面と隣接する部品を清掃します。
4. エアフィルターを取り外します。



5. 新しいエアフィルターを取り付けます。

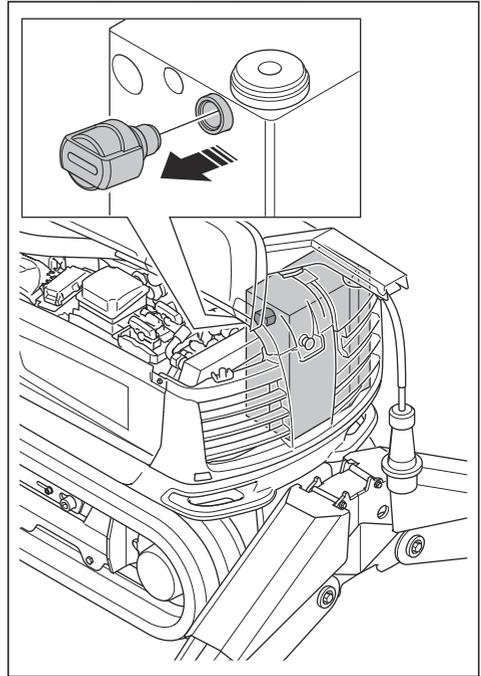
エアフィルターの交換 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)



警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。エアフィルターを交換する前に本製品を冷ましてください。

1. 本機を水平面に駐車します。
2. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
3. エアフィルターの外面と隣接する部品を清掃します。

4. エアフィルターを取り外します。

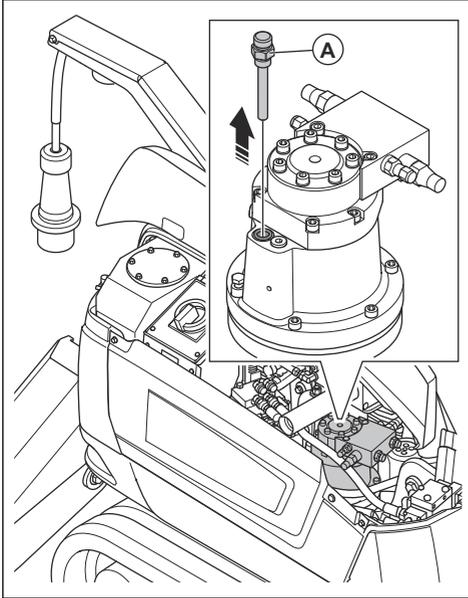


5. 新しいエアフィルターを取り付けます。

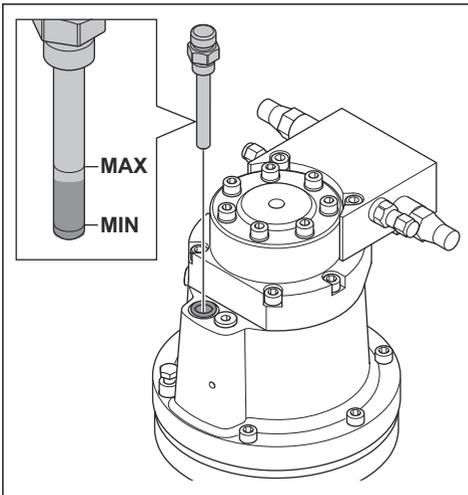
スルーモーターのオイルレベルの点検 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 本製品を水平な地面に駐車し、停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
2. システムの汚染を防ぐため、スルーモーターのオイルレベルゲージ周辺を清掃します。

3. オイルレベルゲージ (A) を取り外します。



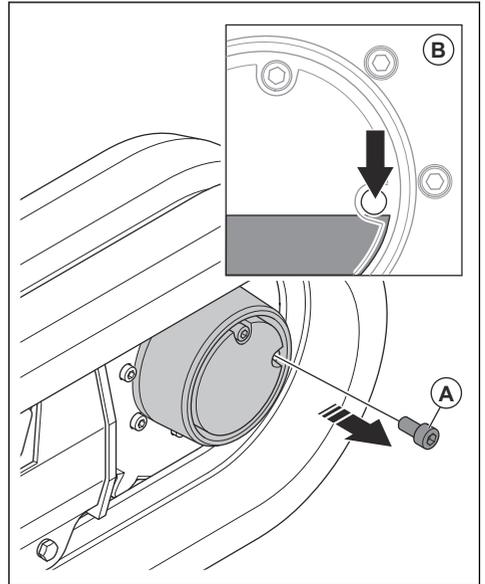
4. オイルレベルゲージのオイルを拭き取ります。
 5. オイルレベルゲージを戻して締め込みます。
 6. オイルレベルゲージを再び取り外し、オイルレベルを確認します。オイルレベルゲージの「Max.」と「Min.」のマークの間が適切なオイルレベルです。



7. オイルレベルが低い場合は、オイルレベルゲージの穴からオイルを充填します。オイルをゆっくり補充してください。主要諸元 112 ページを参照してください。
 8. オイルレベルをもう一度点検します。

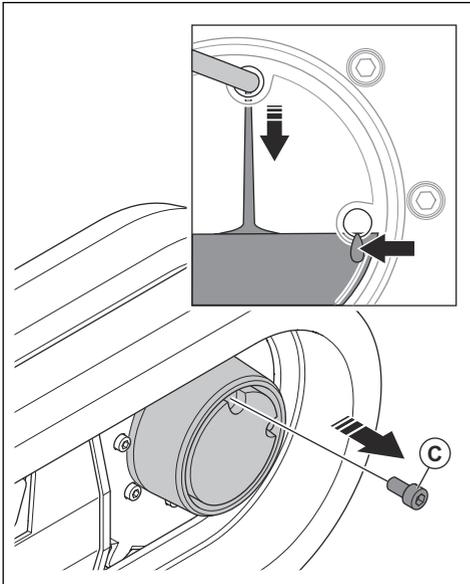
駆動モーターのオイルレベルの点検

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
2. プラグの 1 つがハブの中心と水平になるまで、キャタピラートラックを動作させます。もう一方のプラグは最も高い位置にあります。
3. 本製品を水平な地面に駐車し、停止します。本製品の停止方法 (DXR 145)65 ページおよび本製品の停止方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
4. 駆動モーターシステムの汚染を防ぐため、プラグ周辺を清掃します。
5. レベルプラグ (A) を取り外します。



6. レベルプラグ穴 (B) を確認します。オイルがレベルプラグ穴の端にあるとき、オイルレベルは適切です。

7. オイルレベルが低い場合は、上部プラグ (C) を開き、上部プラグ穴からオイルを充填します。オイルがオイルレベル穴から出るまで、ゆっくりとオイルを充填します。主要諸元 112 ページを参照してください。

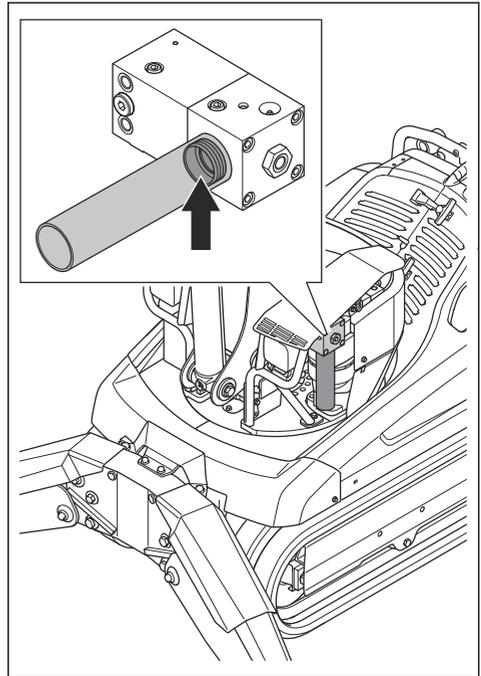


8. レベルプラグと上部プラグを取り付けます。

ブレーカーグリースポンプにあるグリースカートリッジのグリース量を点検する方法(DXR 145)

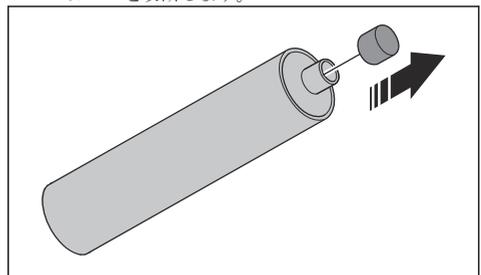
1. 本製品を水平な地面に駐車し、停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。

2. グリースカートリッジのグリース量を点検します。プラスチックスリーブがエンドストップにある場合、グリースカートリッジは空です。



3. グリースカートリッジが空の場合は、次の手順を実行します。

- グリースカートリッジとブレーカーグリースポンプの周辺を清掃します。これにより、ブレーカーグリースポンプシステムの汚染を防ぎます。
- ブレーカーグリースポンプからグリースカートリッジを取り外します。
- 新しいグリースカートリッジからプラスチックカバーを切断します。

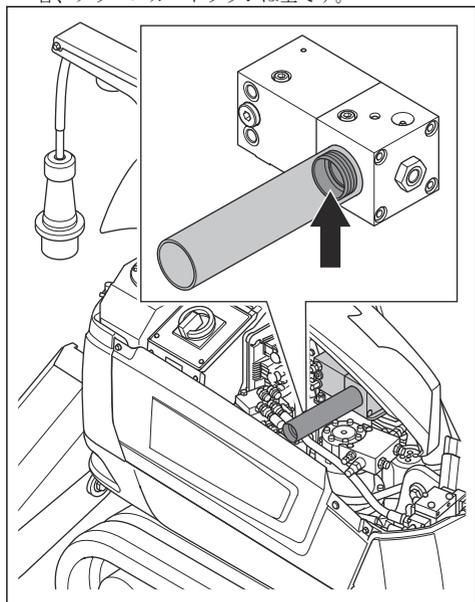


- d) ブレーカーグリースポンプに新しいグリースカートリッジを取り付けます。

- e) 新しいグリースカートリッジからグリースが出ていない場合は、ブレイカーグリースポンプの空気を抜きます。ブレイカーグリースポンプの空気抜き 83 ページを参照してください。

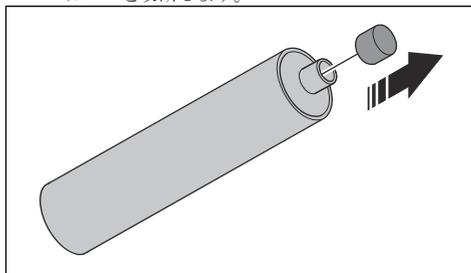
ブレイカーグリースポンプにあるグリースカートリッジのグリース量を点検する方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 本製品を水平な地面に駐車し、停止します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
2. グリースカートリッジのグリース量を点検します。プラスチックスリーブがエンドストップにある場合、グリースカートリッジは空です。



3. グリースカートリッジが空の場合は、次の手順を実行します。
 - a) グリースカートリッジとブレイカーグリースポンプの周辺を清掃します。これにより、ブレイカーグリースポンプシステムの汚染を防ぎます。
 - b) ブレイカーグリースポンプからグリースカートリッジを取り外します。

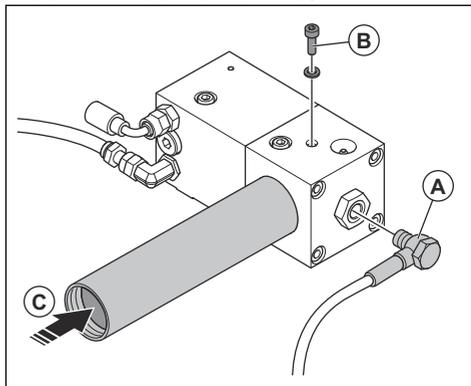
- c) 新しいグリースカートリッジからプラスチックカバーを切断します。



- d) ブレイカーグリースポンプに新しいグリースカートリッジを取り付けます。
- e) 新しいグリースカートリッジからグリースが出ていない場合は、ブレイカーグリースポンプの空気を抜きます。ブレイカーグリースポンプの空気抜き 83 ページを参照してください。

ブレイカーグリースポンプの空気抜き

1. 出口ホース (A) を取り外します。



2. ネジおよびワッシャー (B) を取り外します。
3. ネジ穴からグリースが出るまで、ピストン (C) をグリースカートリッジに慎重に押し込みます。これにより、ブレイカーグリースポンプ内の空気が抜けます。
4. ネジとワッシャーを取り付けます。
5. 取り付けられているツールから油圧ホースを外します。

注記： ツールを本製品から取り外す必要はありません。

6. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
7. ディスプレイの[Tools(ツール)]メニューで[Breaker (ブレイカー)]を選択します。

8. 左側操縦かんの右または左上部ボタンを約 40 秒間押し、油圧を上げます。
9. 出口ホースの穴からグリースが出ていることを確認します。
10. グリースが出ない場合は、手順 2~8 をもう一度実行します。
11. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページおよび本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
12. 出口ホースを接続します。
13. 取り付けられているツールに油圧ホースを接続します。

シャフトとブッシングに摩耗があるか点検する方法

- 緩んでいるジョイントのブッシングを交換します。
- シャフトに摩耗による損傷がある場合は交換します。展開スリーブに摩耗による損傷がある場合は、展開スリーブが十分に締め付けられていません。
- ピボットジョイントが潤滑されていることを確認します。潤滑により、ピボットジョイント内の汚れや水を防ぎ、シャフトとブッシングの摩耗が低減されます。

ゴム製部品に摩耗がないか点検する方法

- キャタピラートラックを点検します。補強コードから金属が見える場合は、キャタピラートラックを交換します。
- アウトリガー底部を点検します。プレートが見える場合は、アウトリガー底部を交換します。

油圧ホースに摩耗がないか点検する方法



注意： ねじれや摩耗、損傷のある油圧ホースを使用しないでください。

- コードが見える場合は、油圧ホースを交換します。
- 油圧ホースを鋭利な角で擦らないように注意してください。
- 油圧ホースが完全に伸びていないことを確認します。必要に応じて油圧ホースの長さを調整します。
- 油圧ホースがねじれていないことを確認します。
- 油圧ホースが折れ曲がっていないことを確認します。

電気ケーブルに摩耗がないか点検する方法



警告： モーターを停止し、電源プラグを外した状態で点検します。

- 電気ケーブルの絶縁体に損傷がないか点検します。電気ケーブルが損傷している場合は、交換してください。

油圧システムに漏れがないか点検する方法



注意： 本製品に漏れがあると、機械的破損のリスクが高まります。摩耗して損傷した部品は交換してください。



警告： やけどのおそれがあります。本製品の運転中は、油圧オイルが高温になります。漏れの点検に手を使わないでください。漏れの点検をする前に本製品を冷ましてください。

- 漏れを見つけやすくするために、本製品を定期的に清掃してください。
- 本製品の下の地面と、タワーのベースプレートに油圧オイルがないか点検します。油圧オイルが見つかった場合は、漏れを修理します。
- ホースコネクター、油圧ホースのクイック接続部、油圧オイルのシリンダーを点検します。油圧オイルが見つかった場合は、漏れを修理します。
- 他の油圧部品に帯状の汚れがないか点検します。帯状の汚れにより、漏れを特定できます。

本製品にひびがないか点検する方法

本製品がきれいに清掃されていれば、ひびは簡単に見つかります。溶接継ぎ目、穴、鋭利な角では、ひびのリスクが高まります。

- アウトリガーとギアリングのブラケットの周囲にひびがないか点検します。また、本製品のシャーシとキャタピラートラック側面の間の溶接継ぎ目も点検します。
- アームシステムのジョイント、シリンダーブラケット、溶接継ぎ目にひびがないか点検します。

本製品の溶接作業



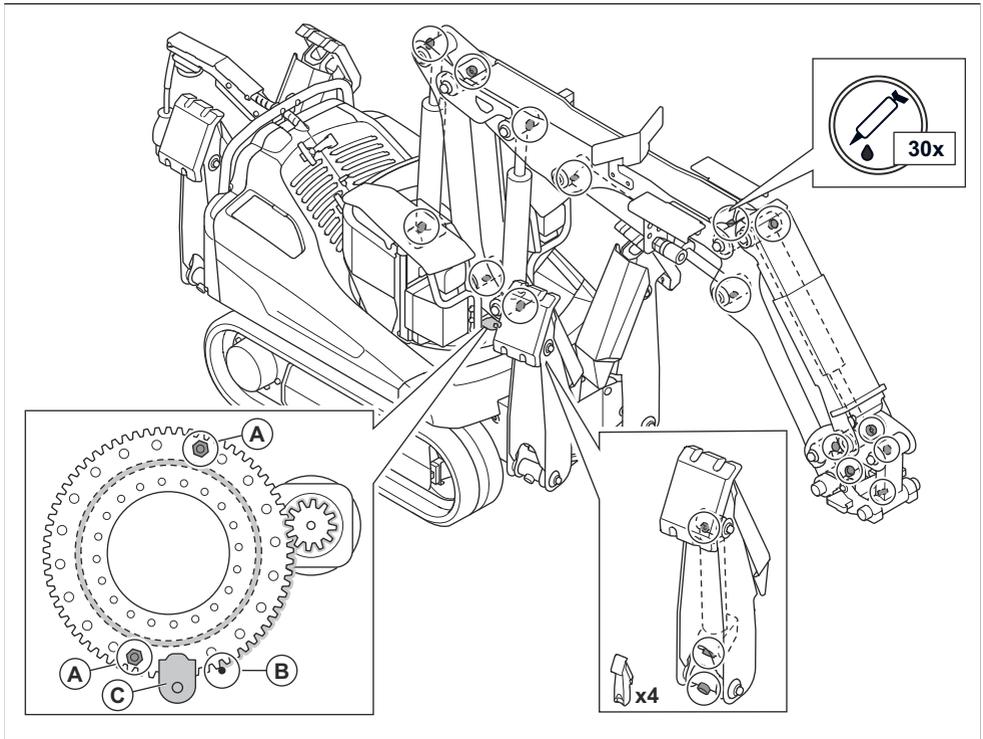
注意： 認定溶接技師のみが、本製品の溶接作業を行ってください。

- Husqvarna 認定サービス代理店にご相談ください。

本製品の潤滑方法(DXR 145)



注意： 潤滑手順に従わないと、ギアリングのシールが押し出されるリスクが高まります。シールが押し出されると、ギアリングのボールベアリングに汚れが入り、損傷を引き起こすおそれがあります。損傷したシールは交換してください。

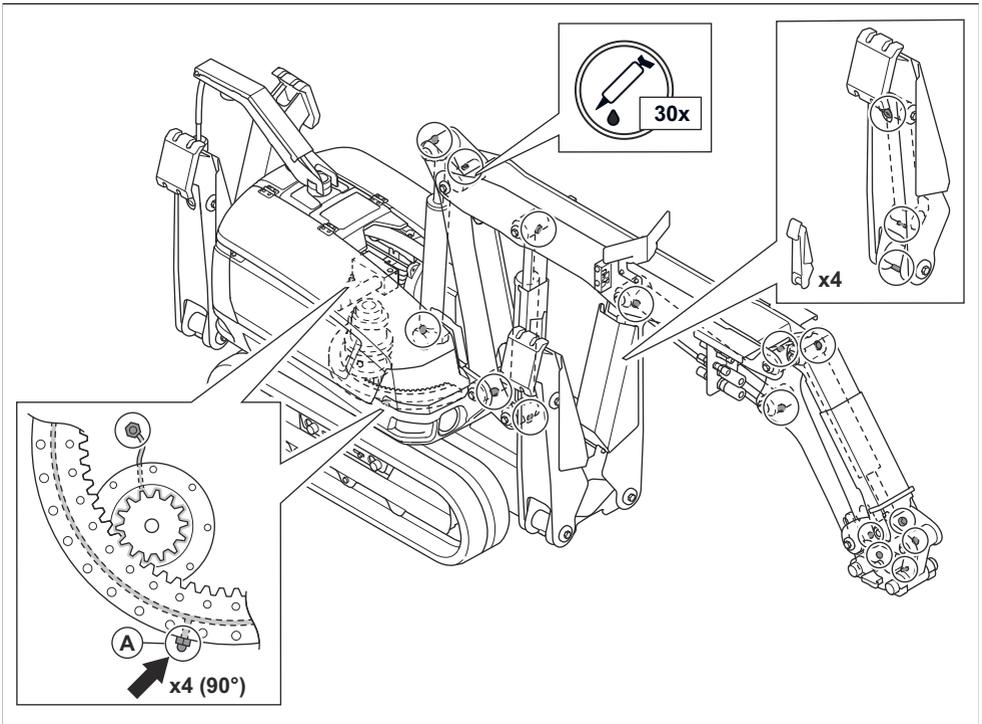


1. すべてのグリースニップルにアクセスできるように本製品を動かします。グリースニップルは、図に示しています。
2. 本製品を停止し、電源ケーブルを外します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。
3. グリースニップルを清掃します。
4. 破損または詰まっているグリースニップルがあれば交換してください。
5. グリースガンでグリースニップルを潤滑します。グリースガンを 2~3 回、またはグリースが端に見えるまで押します。潤滑剤 115 ページを参照してください。
6. アウトリガーのすべてのジョイントとシリンダー取り付け具を潤滑します。
7. アームシステムのすべてのジョイントとシリンダー取り付け具を潤滑します。
8. ギアリングベアリングの 2 つのグリースニップル (A) とギアリングのギア (B) を潤滑します。
 - a) アームシステムがまっすぐ前方に向くまでアームシステムを伸ばします。
 - b) タワーの点検用ドア (C) を開き、2 つのグリースニップルにアクセスします。
- 9) グリースガンでグリースニップルを潤滑します。グリースガンを 2~3 回押します。

本製品の潤滑方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



注意： 潤滑手順に従わないと、ギアリングのシールが押し出されるリスクが高まります。シールが押し出されると、ギアリングのボールベアリングに汚れが入り、損傷を引き起こすおそれがあります。損傷したシールは交換してください。



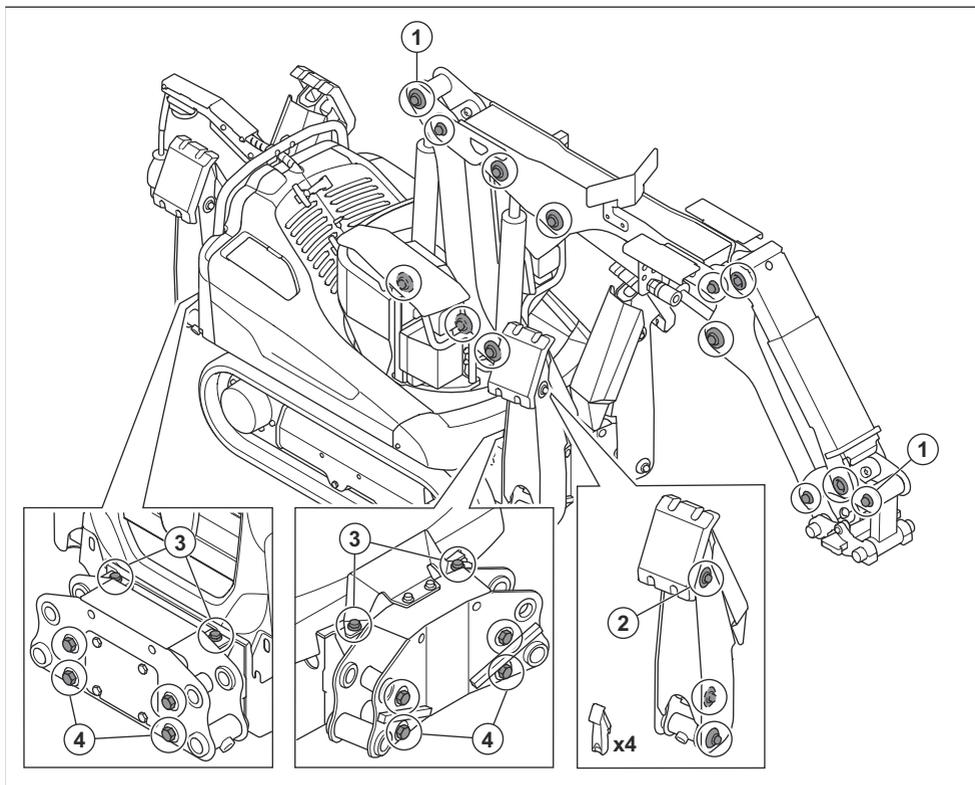
1. すべてのグリースニップルにアクセスできるように本製品を動かします。グリースニップルは、図に示しています。
2. 本製品を停止し、電源ケーブルを外します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
3. グリースニップルを清掃します。
4. 破損または詰まっているグリースニップルがあれば交換してください。
5. グリースガンでグリースニップルを潤滑します。グリースガンを2~3回、またはグリースが端に見えるまで押します。潤滑剤 115 ページを参照してください。
6. アウトリガーのすべてのジョイントとシリンダー取り付け具を潤滑します。
7. アームシステムのすべてのジョイントとシリンダー取り付け具を潤滑します。
8. ギアリングのボールベアリングでグリースニップル(A)を潤滑します。
 - a) グリースガンでグリースニップルを潤滑します。グリースガンを2~3回押します。
 - b) 本製品を始動します。作業者が安全な距離にいることを確認します。本製品の始動方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。

- c) タワーを 90° 回転させます。
- d) 本製品を停止し、電源ケーブルを外します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
- e) この手順を 3 回実行します。ギアリングのボールベアリングとギアリングのギアを 4 か所で潤滑します。

ネジ接合部の点検

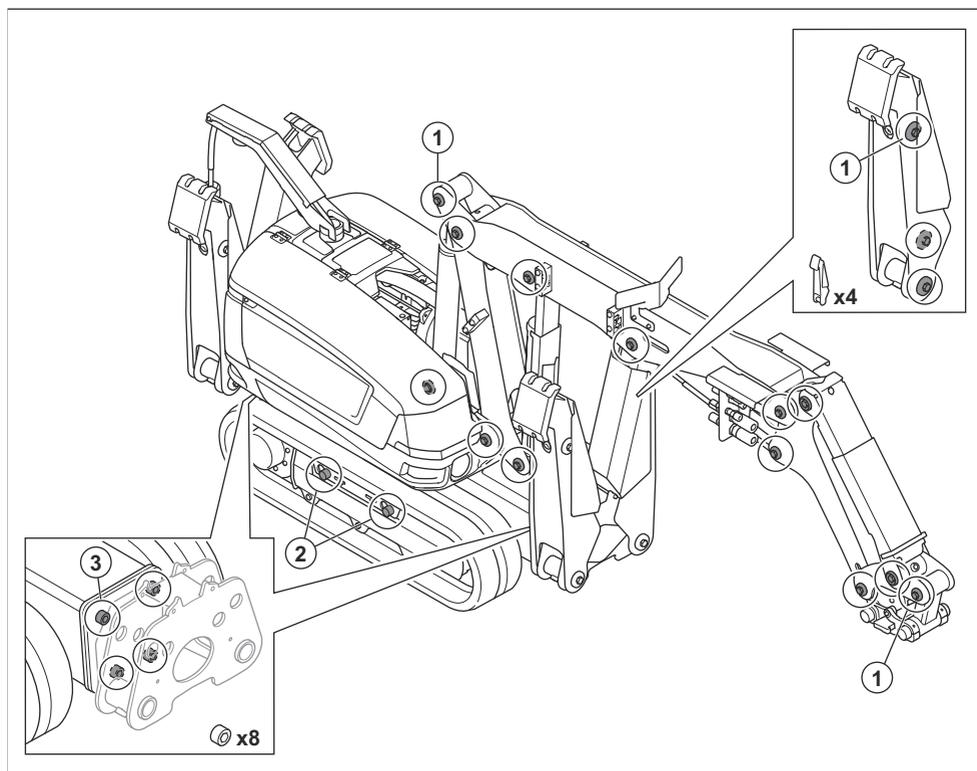
- すべての部品が正しく取り付けられており、摩耗による損傷がないことを確認します。
- トルクレンチを使用して、展開シャフトのトルクを点検します。展開シャフトを適切なトルクで締め付けます。締め付けトルク(DXR 145)87 ページおよび締め付けトルク(DXR 275, DXR 305, DXR 315)88 ページを参照してください。
 - a) 展開シャフトは定期的な締め付けます。最初の締め付けの後、本製品を 2~3 回フルレンジで動作させます。8 時間後と 40 時間後にトルクを点検します。
 - b) 展開シャフトが所定の位置から外れた場合は、中央に移動します。次に、展開シャフトをもう一度締め付けます。

締め付けトルク(DXR 145)



ポジション	製品部品	締め付けトルク (Nm)
1	シャフト、アームシステム	204
2	シャフト、アウトリガー (M14)	128
3	サポートレッグブラケット (M12)	81
4	サポートレッグブラケット (M16)	197

締め付けトルク (DXR 275, DXR 305, DXR 315)



ポジション	製品部品	締め付けトルク (Nm)
1	シャフト (アームシステムとアウトリガー)	204
2	キャタピラートラックユニット	500
3	サポートレッグブラケット	650

ブレーキ機能の点検



警告： ブレーキ機能を点検するときは注意してください。負傷のおそれがあります。

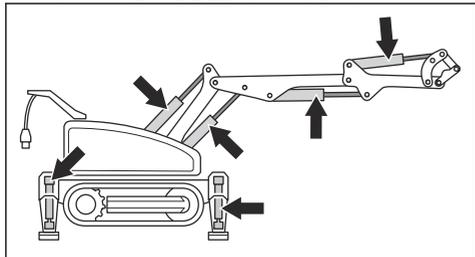
1. 作業エリアに人がいないことを確認してください。
2. 斜面で運転する場合は、本製品よりも上にいるようにしてください。
3. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。

4. 駆動モーターのブレーキ機能を点検します。次の手順を実行します。
 - a) 本製品を斜面で運転します。
 - b) 操縦かんを放します。
 - c) 本製品にブレーキがかかり、静止していることを確認します。
5. スルーモーターのブレーキ機能を点検します。次の手順を実行します。
 - a) 本製品を斜面で運転します。
 - b) アームシステムを回転させます。
 - c) 操縦かんを放します。

- d) アームシステムにブレーキがかかり、ゆっくりと停止することを確認します。
6. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページおよび本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。

シリンダーの点検

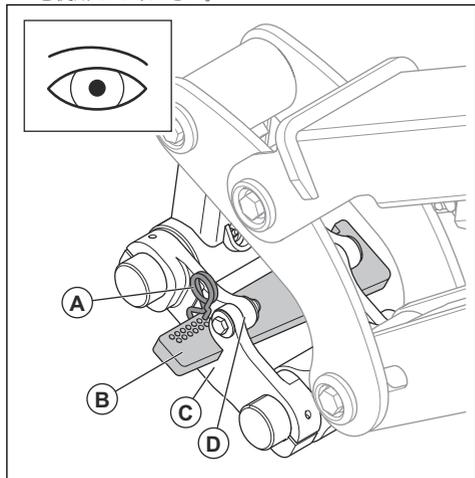
1. シリンダーを末端位置まで伸ばします。



2. シリンダーチューブを点検します。損傷したシリンダーチューブは、ただちに交換してください。
3. ピストンロッドを点検します。損傷したり曲がったりしているピストンロッドは、ただちに交換してください。
4. スクレーパーを点検します。損傷したスクレーパーは、ただちに交換してください。

ツールヒッチの点検

1. ツールヒッチのピン (A) とクサビ (B) に摩耗や損傷がないか点検します。クサビに摩耗または損傷がある場合は交換します。常に、純正のスペアパーツを使用してください。



2. ツールヒッチ (C) に損傷がないことを確認します。
3. ツールヒッチが本製品に適切に取り付けられていることを確認します。
4. ジョイント (D) に損傷がないことを確認します。

ツールの点検

- ツールを使用するときは、作業者や周囲の人々が負傷するリスクがないことを確認してください。
- 詳細については、ツールの取扱説明書を参照してください。

キャタピラートラックテンション

トラックテンションが正しいことは、キャタピラートラックのサービス寿命にとって重要です。

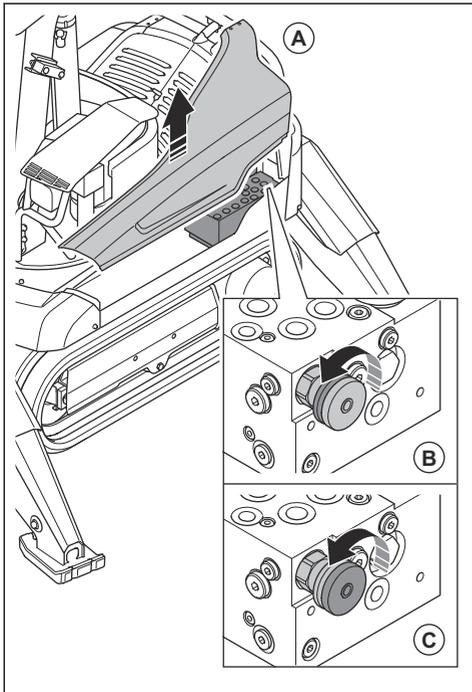
運転中に解体資材がキャタピラートラックに入った場合、キャタピラートラックのバネ機能により、運転停止が防止されます。バネ機能には、油圧蓄圧器が含まれません。キャタピラートラックのバネ機能が作動しない場合は、油圧蓄圧器に不具合がある可能性があります。

キャタピラートラックのテンション機能には、チェックバルブがあります。いずれかのチェックバルブが詰まったり損傷したりすると、キャタピラートラックのテンションが低下することがあります。チェックバルブの清掃方法については、キャタピラートラックテンション用チェックバルブの清掃(DXR 145)92 ページおよびキャタピラートラックテンション用チェックバルブの清掃(DXR 275, DXR 305, DXR 315)92 ページを参照してください。

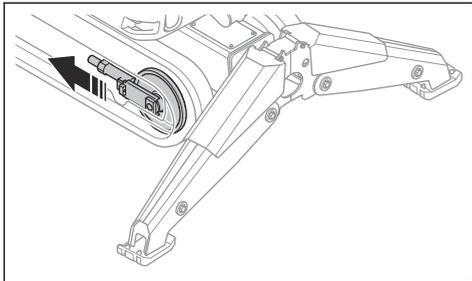
キャタピラートラックの取り外しと取り付け (DXR 145)

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページを参照してください。
2. 本機を水平面に駐車します。
3. アウトリガーを完全に伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. 本製品を停止します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。

5. 左側サイドカバー (A) を取り外します。



6. ロックノブを反時計方向 (B) に回します。
 7. キャタピラートラックテンション (C) 用バルブを止まるまで反時計方向に回して、バルブを開きます。これにより圧力が解放されます。
 8. 本製品の両側で次の手順を実行します。
 a) テンションホイールを中央に向かって押します。

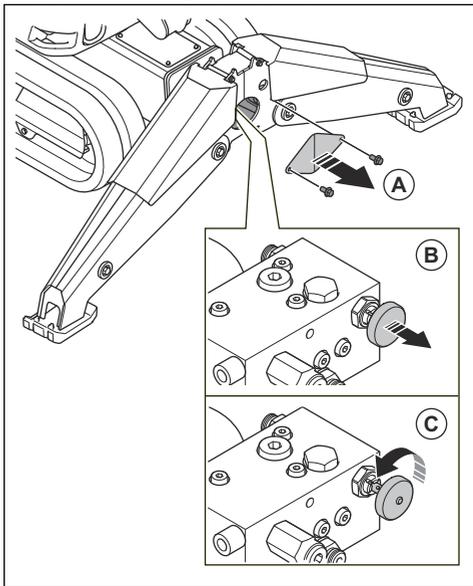


- b) キャタピラートラックを取り外します。
 c) 新しいキャタピラートラックを取り付けます。
 9. キャタピラートラックテンション用バルブを時計方向に回してバルブを閉じます。
 10. ロックノブを時計方向に回します。
 11. 左側サイドカバーを取り付けます。

12. 本製品を始動し、自動キャタピラートラックテンションを実行します。自動キャタピラートラックテンションの実行 91 ページを参照してください。

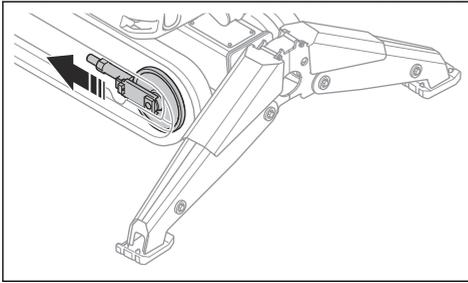
キャタピラートラックの取り外しと取り付け (DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315) 56 ページを参照してください。
2. 本機を水平面に駐車します。
3. アウトリガーを完全に伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。
4. 本製品を停止します。本製品の停止方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315) 66 ページを参照してください。
5. 点検カバー (A) を取り外します。



6. キャタピラートラックテンション用バルブを引き出し、反時計方向に $\frac{1}{4}$ 回転回して、開位置 (B) および (C) でロックします。これにより圧力が解放されます。
7. 本製品の両側で次の手順を実行します。

a) テンションホイールを中央に向かって押します。



b) キャタピラートラックを取り外します。

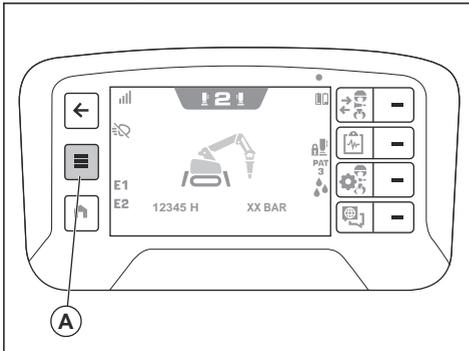
c) 新しいキャタピラートラックを取り付けます。

8. キャタピラートラックテンション用バルブを引き出して時計方向に回し、閉位置で放します。
9. 点検カバーを取り付けます。
10. 本製品を始動し、自動キャタピラートラックテンションを実行します。自動キャタピラートラックテンションの実行 91 ページを参照してください。

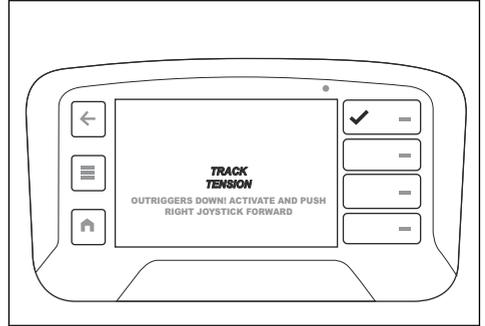
自動キャタピラートラックテンションの実行

自動キャタピラートラックテンションは、2 つの手順で実行できます。

- 自動キャタピラートラックテンションは、ディスプレイで実行できます。次の手順を実行します。
 - a) アウトリガーを下げます。参照：アウトリガーの操作 65 ページ。
 - b) リモートコントロールのメニューボタン (A) を押します。



c) ディスプレイの [Function (機能)] メニューで [Track tension (トラックテンション)] を選択します。



d) トラックに十分な張力がかかるまで、右側の操縦かんを前方に押します。

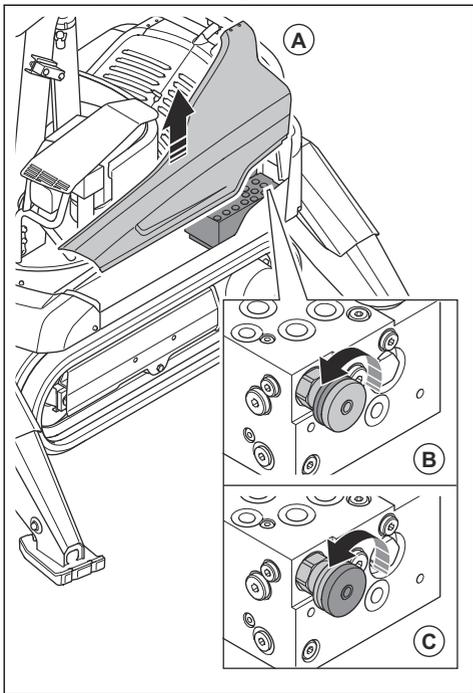
e) 右側の操縦かんを放すと、自動キャタピラートラックテンションが停止します。

- アウトリガーを作動させると、自動キャタピラートラックテンションを実行できます。次の手順を実行します。

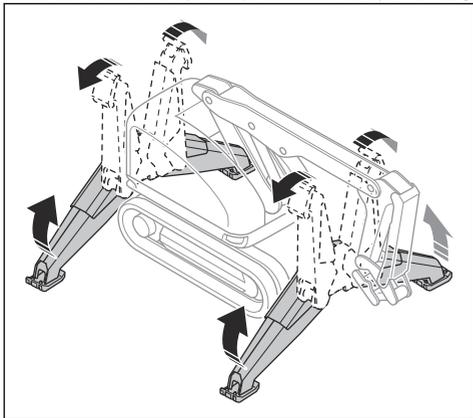
a) アウトリガーを上下に動かします。参照：アウトリガーの操作 65 ページ。

キャタピラートラックテンション用チェックバルブの清掃(DXR 145)

1. 左側サイドカバー (A) を取り外します。



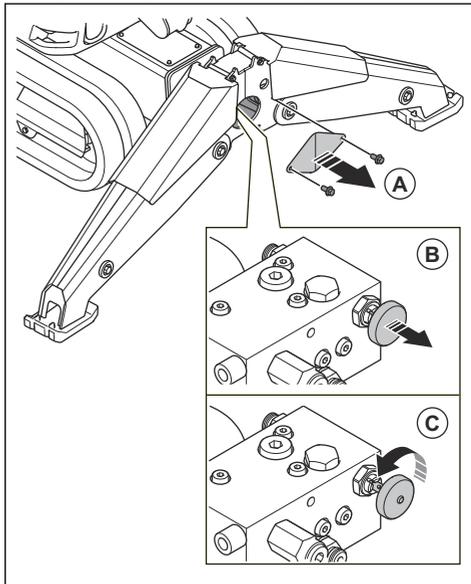
2. ロックノブを反時計方向 (B) に回します。
3. キャタピラートラックテンション (C) 用バルブを止まるまで反時計方向に回して、バルブを開きます。これにより圧力が解放されます。
4. アウトリガーを上下に動かします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。システム内の油圧オイルにより、チェックバルブが洗浄されます。



5. キャタピラートラックテンション用バルブを時計方向に回してバルブを閉じます。
6. ロックノブを時計方向に回します。
7. アウトリガーを上下に動かして、自動キャタピラートラックテンションを実行します。
8. 左側サイドカバーを取り付けます。

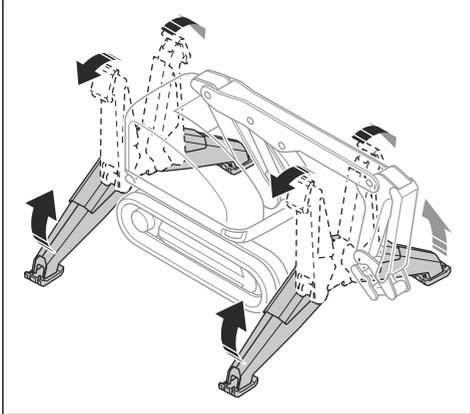
キャタピラートラックテンション用チェックバルブの清掃(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

1. 点検カバー (A) を取り外します。



2. キャタピラートラックテンション用バルブを引き出し、反時計方向に $\frac{1}{4}$ 回転回して、開位置 (B) および (C) でロックします。これにより圧力が解放されます。

3. アウトリガーを上下に動かします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。システム内の油圧オイルにより、チェックバルブが洗浄されます。



4. キャタピラートラックテンション用バルブを時計方向に回し、閉位置で放します。
5. アウトリガーを上下に動かして、自動キャタピラートラックテンションを実行します。
6. 点検カバーを取り付けます。

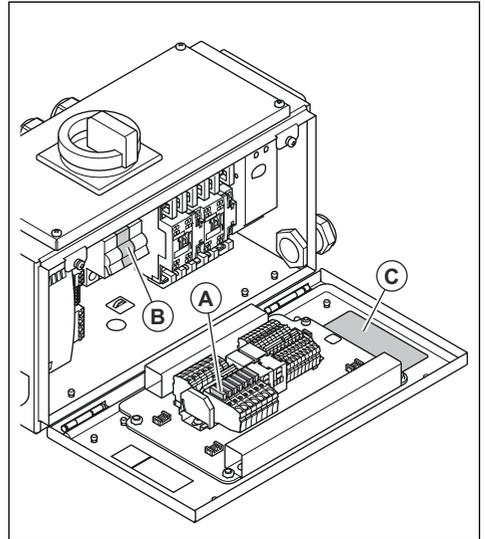
ヒューズの交換(DXR 145)



警告： 電気により、重傷や死亡事故が発生するおそれがあります。本取扱説明書の安全注意事項をよくお読みにになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を整備してください。

1. 本製品を停止し、電源ケーブルを外します。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページを参照してください。
2. 電気ボックスのカバーを開きます。

3. 切れたヒューズを交換します。ステッカー (C) およびヒューズの概要 94 ページを参照してください。



注記： (A) はヒューズ F2~F8、(B) はヒューズ F1 です。

4. 電気ボックスのカバーを閉じます。

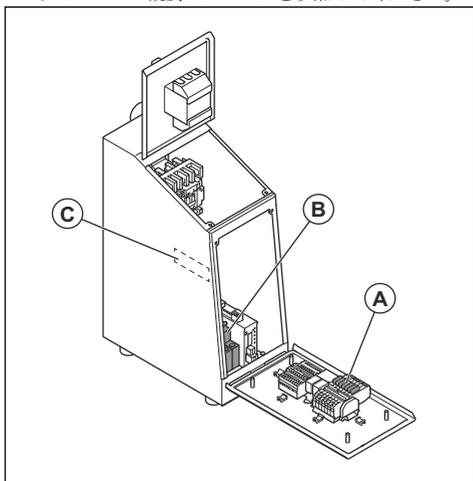
ヒューズの交換(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



警告： 電気により、重傷や死亡事故が発生するおそれがあります。本取扱説明書の安全注意事項をよくお読みにになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を整備してください。

1. 本製品を停止し、電源ケーブルを外します。本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
2. 電気ボックスのカバーを開きます。

3. 切れたヒューズを交換します。ステッカー (C) およびヒューズの概要 94 ページを参照してください。



注記： (A) はヒューズ F2～F8、(B) はヒューズ F1 です。

4. 電気ボックスのカバーを閉じます。

ヒューズの概要

ヒューズ	現在	電圧	保護されている部品の説明
F1	4 A	400 VAC	T1 : AC/DC、KE4 : 電源モーター
F2	15 A	24 VDC	M2 : 冷却ファン
F3	10 A	24 VDC	M3 : オイル充填ポンプ

ヒューズ	現在	電圧	保護されている部品の説明
F4	10 A	24 VDC	KE1 : PLC (マスター)
F5	10 A	24 VDC	KE2 : PLC (I/O スレーブ 1)
F6	10 A	24 VDC	KE3 : PLC (I/O スレーブ 2)
F7	1 A	24 VDC	KE4 : 電力計
F8	3 A	24 VDC	KE5 : 無線受信機

製品ソフトウェア

製品ソフトウェアに問題がある場合や必要なアップデートについては、サービス代理店にお問い合わせください。

メンテナンス後に実行する手順

1. メンテナンスが完了したら、テスト運転を実行します。



警告： 負傷や損傷の危険があります。リモートコントロール、ケーブル、またはホースが正しく取り付けられていないと、本製品の動作に望ましくない影響を与えるおそれがあります。

2. 不具合がある場合は、ただちに本製品を停止してください。本製品の停止方法(DXR 145)65 ページおよび本製品の停止方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

問題	原因	解決策	
製品が始動しない。	メインスイッチがオフである。	メインスイッチを点検します。	
	延長ケーブルが外れているか、損傷している。	延長ケーブルを接続します。延長ケーブルが損傷している場合は交換します。	
	本製品の緊急停止ボタンが作動している。	本製品の緊急停止ボタンを時計方向に回して解除します。	
	リモートコントロールの機器停止ボタンが作動している。	リモートコントロールの機器停止ボタンを時計方向に回して解除します。	
	主電源から本製品への電圧が低すぎる。	電源を点検します。正しい電圧を使用していることを確認します。	
	メインヒューズが切れている。		主電源の電圧が本製品に対応しており、正しいヒューズが使用されていることを確認します。
			電源ケーブルを点検します。
本製品とリモートコントロールの間に無線通信がない。		無線信号を点検します。無線信号がない場合は、リモートコントロールのバッテリーが充電されていて、正しく取り付けられているか点検します。	
		正しいリモートコントロールを使用していることを確認します。	
		本製品の通信ケーブルとアンテナケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。	
		本製品とリモートコントロールをケーブルで接続して、本製品のテスト運転を行います。	
本製品の始動直後に、主電源接続用のヒューズが切れる。	主電源接続用のヒューズの定格値が低すぎる。	主電源の電圧が本製品に対応しており、正しいヒューズが使用されていることを確認します。	
	電動モーターに不具合がある。	販売店にご相談ください。	
	電源ケーブルに不具合がある。	電源ケーブルを交換します。	
	油圧ポンプに不具合がある。	販売店にご相談ください。	

問題	原因	解決策
モーターは作動するが、油圧機能に動力がないか機能しない。	油圧オイルタンクに十分な油圧オイルがない。油圧ポンプで異音が発生している。	本製品をただちに停止します。油圧システムに漏れがないか点検します。必要に応じて部品を新品と交換します。油圧オイルタンクに油圧オイルを充填します。
	循環バルブが開いたままになっている。	バルブブロック 1 下部のバルブキャップのダイオードを点検します。循環バルブが開いている場合、ダイオードは点灯しません。制御モジュールのケーブルを確認します。
	スタンバイ時の圧力が低すぎる。	販売店にご相談ください。
	ポンプのレギュレータに故障がある。	販売店にご相談ください。
アームシステムとツール機能の動作が遅い。	ツール速度調整ノブおよび/または製品速度調整ノブが反時計方向に回されている。	ツール速度調整ノブおよび/または製品速度調整ノブを時計方向に回します。
	スタンバイ時の圧力が低すぎる。	リモートコントロールを始動します。リモートコントロールのコントロールは使用しないでください。リモートコントロールディスプレイでスタンバイ時の圧力を点検します。圧力は 20 ± 1 パール/ 290 ± 14.5 psi である必要があります。圧力値が異なる場合は、圧力を調整します。
本製品の機能の動作が遅い。	シリンダー内部に漏れがある。	負荷をかけずにシリンダーを末端位置まで伸ばします。リモートコントロールディスプレイでポンプの圧力を点検します。ポンプは最大圧力で動作させる必要があります。ポンプが最大圧力で動作しない場合は、認定サービス代理店にご相談ください。
	油圧ホースが詰まっている。	負荷をかけずにシリンダーを作動させます。リモートコントロールディスプレイでポンプの圧力を点検します。シリンダーに最大圧力がかかっているにもかかわらずフルスピードにならない場合は、油圧ホースが詰まっています。油圧ホースを交換します。
	パイロット制御バルブに故障がある。	販売店にご相談ください。
本製品の機能が動作しない。	リモートコントロールの始動時に、操縦かんがニュートラル位置にない。	操縦かんをニュートラル位置にしてリモートコントロールを再始動します。
	パイロット制御バルブに故障があるか、またはパイロット制御バルブのスプールに詰まりや損傷がある。	販売店にご相談ください。
アウトリガーで本製品が下がる。	アウトリガーシリンダーのチェックバルブに漏れがある。	販売店にご相談ください。

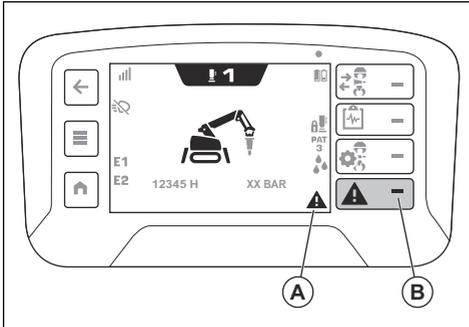
問題	原因	解決策
アームシステムが不規則な動きをする。	製品／油圧オイルが冷えすぎている。	本製品を温めます。
	パイロット制御バルブに空気が入っている。	空気とオイルが分離されるまで、負荷をかけずに本製品を運転します。
	パイロット制御バルブまたはパイロット制御バルブのスプールが汚れているために不具合が生じている。	販売店にご相談ください。
	パイロット制御バルブの O リングが破損している。	販売店にご相談ください。
	パイロット圧力回路に故障がある。	販売店にご相談ください。
シリンダーが下がる。 ¹	油圧システムに汚れがある。	油圧システムに漏れがないか点検します。必要に応じて、油圧オイルと油圧オイルフィルターを交換します。
	シリンダーに漏れがある。	漏れを見つけ、不具合のある部品を交換します。
	カウンターバランスバルブに不具合がある。	販売店にご相談ください。
	パイロット制御バルブまたはパイロット制御バルブのスプールに不具合がある。	販売店にご相談ください。
油圧システムが過熱している。	油圧オイルクーラーが詰まっている。	油圧オイルクーラーを清掃します。
	冷却ファンが回転しない、または故障している。	電気ボックスの冷却ファンを点検します。 冷却ファンのブレードを点検します。冷却ファンが損傷している場合は交換します。
	周囲温度が高すぎる。	外部装置を使用して本製品を冷却します。
	ホースまたはクイックカップリングに不具合がある。	損傷した部品を交換します。
	ポンプの最大圧力またはスタンバイ時の圧力が高すぎる。	販売店にご相談ください。
	メインパイプまたはツールへのパイプが詰まっている。	損傷した部品を交換します。
	ツールに不具合があるか、ツールが不適切なため、消費電力が高くなりすぎている。	ツール圧力および流量が本製品に対応していることを確認します。
	油圧ポンプに不具合がある。	販売店にご相談ください。
油圧システムで異音が発生している。	油圧オイルタンク内の油圧オイルが不足している。	本製品をただちに停止します。油圧システムに漏れがないか点検します。必要に応じて新品と交換します。油圧オイルタンクに油圧オイルを充填します。
	油圧オイルに空気が入っている。	空気とオイルが分離されるまで、負荷をかけずに本製品を運転します。
	油圧ポンプに不具合がある。	販売店にご相談ください。

¹ シリンダー 3 および 4 には、カウンターバランスバルブがありません。通常、シリンダー 3 とシリンダー 4 は、約 1 cm/分 (0.39 インチ/分) の速度でゆっくりと下がります。

問題	原因	解決策
油圧オイルの色が異なる。	油圧オイルが灰色の場合は油圧システムに水が入っている。	どこで油圧システムに水が浸入しているのか確認します。必要に応じて、損傷した部品を交換します。油圧オイルと油圧オイルフィルターを交換します。
	油圧オイルが黒色の場合は動作温度が高すぎるために油圧システムに炭素が発生している。	動作温度が高すぎる原因を特定します。必要に応じて損傷した部品を交換します。油圧オイルと油圧オイルフィルターを交換します。
リモートコントロールが始動しない。	リモートコントロールバッテリーが充電されていない。	リモートコントロールバッテリーを充電します。
	バッテリーが輸送モードになっている。参照：リモートコントロールバッテリー 54 ページ。	バッテリーを充電器に接続します。
リモートコントロールはオンになっているが、制御機能がオフになっている。	本製品の無線通信受信機がオフになっている。	本製品の無線通信受信機がオンになっていることを確認します。
	本製品とリモートコントロールのペアリング操作が行われていない。	本製品とリモートコントロールのペアリング操作を行います。
	リモートコントロールが操作範囲にない。リモートコントロールが本製品から遠すぎる。	リモートコントロールが操作範囲にあることを確認します。
	部品に不具合がある。	本製品とリモートコントロールを CAN バスケーブルで接続します。
	無線通信の干渉が原因で、リモートコントロールと本製品の間で無線通信が行われない。	干渉を引き起こす可能性のある他のすべての無線通信機器を停止します。
	無線通信受信機のアンテナに不具合がある。	アンテナが正しく取り付けられていることを確認します。アンテナは、リモートコントロールと垂直に揃え、リモートコントロールからはっきりと見えるようにしてください。
リモートコントロールの制御機能の一部がオフになっている。	リモートコントロールの始動時に、操縦かんと操縦かんのボタンがニュートラル位置にない。	リモートコントロールを起動するときに、操縦かんと操縦かんのボタンがニュートラル位置にあることを確認します。
	操縦かん、ノブ、スイッチに不具合がある。	ディスプレイで、[Control diagnostics (コントロール診断)]を確認します。リモートコントロールのメニューボタンを押します。ディスプレイの [Controls (制御)] メニューで [Control diagnostics (コントロール診断)] を選択します。
	安全上のリスクがあるため、システムがオフになっている。	ディスプレイで、[Control diagnostics (コントロール診断)]を確認します。リモートコントロールのメニューボタンを押します。ディスプレイの [Controls (制御)] メニューで [Control diagnostics (コントロール診断)] を選択します。
	無線通信受信機と本製品をつなぐケーブルが損傷しているか、緩んでいる。	ケーブルを接続します。ケーブルが損傷している場合は交換します。
インフォメーションセンターディスプレイが赤色になっている。	エラーが発生したため、システムがオフになっている。 「11」または「81」で始まるエラーコードのトラブルシューティング手順を実行します。参照：エラーコードと説明 99 ページ。	

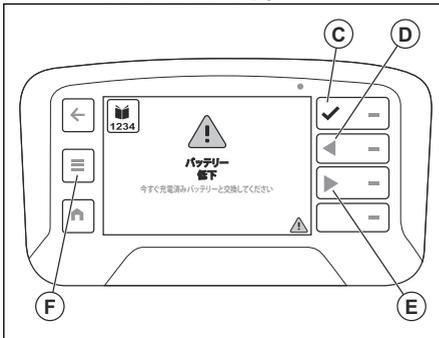
ディスプレイ上のメッセージ

ディスプレイの下部バー (A) には、アクティブなメッセージや故障が表示されます。メッセージを表示するには、三角形のシンボルの付いたクイックアクションの横にあるボタン (B) を押します。



メッセージには、次の 4 種類があります。

- 情報メッセージは、本製品の操作方法について支援し、ヒントを提供します。情報メッセージは、下部バーに情報シンボルとして表示されます。
- 注意メッセージは、何かが不適切であることを示しています。注意メッセージは、下部バーに黄色の三角形として表示されます。
- 警告メッセージは、機械的損傷を引き起こすおそれがある故障や安全上の不具合を示します。本製品はすぐに停止します。警告は、まず赤色の三角形とテキストで全画面表示されます。警告メッセージを確認 (C) すると、警告は下部バー (A) に赤い三角形のシンボルとして表示されます。



- エラーメッセージは、故障または安全上の不具合が原因で本製品が停止したときに表示されます。エラーメッセージは、白い三角形と白いテキストとともに赤色で表示されます。不具合を修正したら、本製品を再始動する必要があります。OFF/ON/START スイッチを ON 位置に回してください。次に、OFF/ON/START スイッチを START 位置に回します。

アクティブなメッセージが複数ある場合は、最新のメッセージが右側に追加されます。矢印 (D および E) の横にあるボタンを押して、ディスプレイのメッセージ間を移動します。

メニューボタン (F) の [Machine status (機器ステータス)] にある [Active faults (アクティブな故障)] でも故障リストを表示できます。[Machine status (機器ステータス)] メニュー 39 ページを参照してください。

エラーコードと説明

本製品のエラーコード番号がディスプレイに表示されます。リモートコントロールのエラーコード番号 (1001 からのエラーコード番号) もインフォメーションセンターディスプレイに表示されます。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
1	[Softstart error Start not possible (Softstart エラー、始動不能)]	ソフトスターターの一般的なエラー。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
2	[Softstart Fault indication (Softstart 不具合インジケータ)]	SoftStart が過負荷になっています。入力電圧が範囲外です。	入力電圧を点検します。本製品を冷却してください。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
3	[Wrong incoming voltage Phase lost (誤った入力電圧、位相喪失)]	入力電圧が誤っていて位相が失われています。	入力電圧とケーブルを点検します。
5	[Wrong incoming voltage Grid frequency (誤った入力電圧、グリッド周波数)]	グリッド周波数が範囲外です。	電圧源を点検します。
6	[Wrong incoming voltage Voltage too low (誤った入力電圧、電圧が低すぎます)]	バッテリー電圧が過度に低いです。	入力電圧とケーブルを点検します。
7	[Wrong incoming voltage Voltage too high (誤った入力電圧、電圧が高すぎます)]	バッテリー電圧が過度に高いです。	
10	[Grid frequency Out of range (グリッド周波数、範囲外)]	グリッド周波数が本製品の周波数設定と一致しません。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
11	[Oil temperature High (オイル温度、高)]	オイル温度が高すぎます。動作速度が低下し、ツールが無効になっています。	本製品をアイドルモードで運転してオイルを冷却します。油圧オイルクーラーを清掃し、冷却ファンを点検します。
12	[Oil temperature Low (オイル温度、低)]	オイル温度が低すぎます。動作速度が低下し、ツールが無効になっています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本製品をアイドル状態で運転します。 2. アウトリガーを伸ばします。まず、キャタピラートラックをゆっくり動作させてから、速度を上げます。 3. 調整可能温度制限の設定を確認します。 4. 温度センサー (T4) とセンサーへのケーブルを点検します。 5. 油圧オイルグレード ISO VG が動作温度に適合していることを確認します。参照：油圧オイル 115 ページ。
13	[Oil pressure Too high (オイル圧力、高すぎます)]	オイル圧力が高すぎます。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
14	[Safety Error Idle valve (安全エラー、アイドルバルブ)]	-	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
16	[Hydraulic oil level Low (油圧オイルレベル、低)]	油圧オイルレベルが低すぎます。	油圧オイルタンクに油圧オイルを充填します。
17	[Oil filter Service needed (オイルフィルター、整備が必要です)]	油圧オイルフィルターの圧力が高すぎます。	油圧油フィルターを交換します。
19	[Remote control Communication lost (リモートコントロール、通信喪失)]	120 秒を超えてリモートコントロールとの通信が失われています。	リモートコントロールと本製品のペアリング操作を新しく実行します。参照：リモートコントロールと本製品のペアリング操作(DXR 145)59 ページおよび リモートコントロールと本製品のペアリング操作(DXR 275, DXR 305, DXR 315)61 ページ。
20	[Motor temperature Too high (モーター温度、高すぎます)]	モーターの温度が高すぎます。動作速度が低下し、ツールが無効になっています。	本製品をアイドルモードで運転します。
34	[Machine type Not selected (本機タイプが選択されていません)]	-	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
36	[Remote control Impact detected (リモートコントロール、衝撃が検出されました)]	リモートコントロールが地面に落下しました。本製品は操縦かんからの信号を無視します。	ディスプレイ上の警告メッセージを確認します。操作する前に、リモートコントロールが損傷していないことを確認します。
57	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 1 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
58	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 1 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
60	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 2 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
61	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 2 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
63	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 3 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
64	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 3 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
66	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 4 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
67	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 4 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
70	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 5 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
71	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	シリンダー 5 バルブへのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
75	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	カスタムツールのケーブルが損傷しています。ポート A の油圧オイル圧力がポート B よりも高くなっています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
76	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	カスタムツールのケーブルが損傷しています。ポート B の油圧オイル圧力がポート A よりも高くなっています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
78	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	その他の機能 1 バルブのケーブルが損傷しています。ポート A の油圧オイル圧力がポート B よりも高くなっています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
79	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	その他の機能 1 バルブのケーブルが損傷しています。ポート B の油圧オイル圧力がポート A よりも高くなっています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
81	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	その他の機能 2 バルブのケーブルが損傷しています。ポート A の油圧オイル圧力がポート B よりも高くなっています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
82	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	その他の機能 2 バルブのケーブルが損傷しています。ポート B の油圧オイル圧力がポート A よりも高くなっています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
84	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	アウトリガーを下げるためのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
85	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	アウトリガーを上げるためのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
87	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	左キャタピラートラックを前進させるためのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
88	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	左キャタピラートラックを後退させるためのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
90	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	右キャタピラートラックを前進させるためのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
91	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	右キャタピラートラックを後退させるためのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
93	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	前部左アウトリガーバルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
94	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	グリースポンプのバルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
95	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	水バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
96	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	前部右アウトリガーバルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
99	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	後部左アウトリガーバルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
102	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	後部右アウトリガーバルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
114	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	左ヘッドライトのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
115	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	右ヘッドライトのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
117	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	インジケータライトのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
120	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	ホーンのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
121	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	オイルフィルターモニターのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
122	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	モーター温度モニターのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
123	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	オイルレベルモニターのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
124	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	オイル温度センサーが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
130	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	循環バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
131	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	循環バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
132	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	圧力制御バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
133	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	圧力制御バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
134	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	タワー回転バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
135	[Cable error Loss of function (ケーブルエラー、機能喪失)]	タワー回転バルブのケーブルが損傷しています。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
170	[Safety PLC error Safety Stop (安全 PLC エラー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
171	[Oil pressure sensor Safety Stop (オイル圧力センサー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
172	[Oil pressure sensor Safety Stop (オイル圧力センサー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
173	[System pressure Safety Stop (システム圧力、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
174	[Contactor error Safety Stop (接触器エラー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
175	[Contact error Safety Stop (接触エラー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
176	[Remote control error Safety Stop (リモートコントロールエラー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
177	[Emergency STOP pressed Safety Stop (緊急停止押下、安全停止)]	[Emergency STOP (緊急停止)] ボタンが押されています。	緊急停止ボタンを時計方向に回して解除します。
178	[Emergency STOP error Safety stop (緊急停止エラー、安全停止)]	[Emergency STOP (緊急停止)] ボタンのケーブルが損傷しています。	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
179	[Machine stop Safety Stop (機器停止、安全停止)]	リモートコントロールで機器停止ボタンが押されています。	リモートコントロールの緊急停止ボタンを時計方向に回して、緊急停止を解除します。
180	[Remote control error Safety Stop (リモートコントロールエラー、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
181	[System pressure Safety Stop (システム圧力、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
182	[System pressure Safety Stop (システム圧力、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
183	[System pressure Safety Stop (システム圧力、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
184	[System pressure Safety Stop (システム圧力、安全停止)]	-	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
185	[System pressure Safety Stop (システム圧力、安全停止)]	-	メインスイッチを ON に回してから OFF にします。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。
301	[Oil Temperature Normal (オイル温度正常)]	-	ディスプレイ上の警告メッセージを確認します。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
302	[Motor Temperature Normal (モーター温度正常)]	-	ディスプレイ上の警告メッセージを確認します。
304	[Auto Calibrate Failed (自動校正失敗)]	-	もう一度自動校正を行います。
305	[Track Tension Failed (トラックテンション失敗)]	トラックテンションは、電動モーターがオンの場合にのみ開始できます。	モーターを始動し、トラックテンションを再開します。
306	[Oil refill failed (オイル充填失敗)]	電動モーターがオンの場合、オイルは充填できません。	電動モーターを停止し、オイルの充填を再開します。
307	[Remote control Free fall detected (リモートコントロール、落下を検出しました)]	リモートコントロールが地面に落下しました。本製品は操縦かんからの信号を無視します。	ディスプレイ上の警告メッセージを確認します。操作する前に、リモートコントロールが損傷していないことを確認します。
1101	[Left joystick X-axis disabled (左側操縦かん X 軸無効)]	リモートコントロールの始動時に、左側操縦かんがニュートラル位置にありません。	左側操縦かんをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1102	[Left joystick Y-axis disabled (左側操縦かん Y 軸無効)]	リモートコントロールの始動時に、左側操縦かんがニュートラル位置にありません。	左側操縦かんをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1103	[Left joystick side rocker disabled (左側操縦かんサイドロッカー無効)]	リモートコントロールの始動時に、左側操縦かんのサイドスイッチがニュートラル位置にありません。	左側操縦かんのサイドスイッチをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1104	[Right joystick X-axis disabled (右側操縦かん X 軸無効)]	リモートコントロールの始動時に、右側操縦かんがニュートラル位置にありません。	右側操縦かんをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1105	[Right joystick Y-axis disabled (右側操縦かん Y 軸無効)]	リモートコントロールの始動時に、右側操縦かんがニュートラル位置にありません。	右側操縦かんをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1106	[Right joystick side rocker disabled (右側操縦かんサイドロッカー無効)]	リモートコントロールの始動時に、右側操縦かんのサイドスイッチがニュートラル位置にありません。	右側操縦かんのサイドスイッチをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1109	[Left joystick top rocker disabled (左側操縦かん上部ロッカー無効)]	左側操縦かんの左上部ボタンが押し下げられています。	左側操縦かんの左上部ボタンをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1110	[Left joystick top rocker disabled (左側操縦かん上部ロッカー無効)]	左側操縦かんの右上部ボタンが押し下げられています。	左側操縦かんの右上部ボタンをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
1111	[Right joystick top rocker disabled (右側操縦かん上部ロッカー無効)]	右側操縦かんの左上部ボタンが押し下げられています。	右側操縦かんの左上部ボタンをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1112	[Right joystick top rocker disabled (右側操縦かん上部ロッカー無効)]	右側操縦かんの右上部ボタンが押し下げられています。	右側操縦かんの右上部ボタンをニュートラル位置に設定し、リモートコントロールを再始動します。
1001 1107-1108 1113-1116 1201-1216 1301-1316 1401-1416 1501-1504 1701-1702 1801-1816 1901-1916 2002-2030 2098-2099 2202-2230 2298-2299 3201-3204 9001-9002 9401-9499 9801-9899	[Remote control Faulty (リモートコントロール、故障)]	リモートコントロールに故障があります。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。

エラーコード番号	ディスプレイのメッセージ	原因	解決策
2102-2123 2198-2199 2302-2323 2398-2399 3103 9101-9199 9301-9399 9501-9506	[Remote control receiver Faulty (リモートコントロール受信機、故障)]	本製品の無線通信受信機に故障があります。	Husqvarna サービスにお問い合わせください。
8101-8107	[Receiver CAN interface communication not working (受信機 CAN インターフェイス通信が機能していません)]	無線通信受信機と本製品をつなぐ CAN バスケーブルにエラーがあります。内部エラーの可能性もあります。	本製品を点検します。問題が解決しない場合は、Husqvarna サービスにお問い合わせください。

ポップアップエラーコードと説明

エラーコード	ディスプレイのメッセージ	解決策
本機のタイムアウト。	無線接続が失われました。	範囲に入って本機をオンにしてください。
リモートバッテリーが黄色。	バッテリー低下。	今すぐ充電済みバッテリーと交換してください。
リモートバッテリーが赤。	バッテリーが空。	充電済みバッテリーと交換するかケーブルを使用してください。
機器停止機能の有効化。	機器停止機能の有効化。	機器停止ボタンをリセットして運転を続行してください。

搬送、保管、廃棄

搬送



警告： 搬送時には注意してください。本製品は重いため、搬送中に転倒したり動き出したりすると、負傷や器物の損傷に至るおそれがあります。

短距離であれば、キャタピラートラックで本製品を移動できます。長距離の場合は、搬送車両に本製品を載せてください。

- 認定されたリフト装置を使用して、本製品の重い部品を固定して持ち上げます。
- 本製品を持ち上げるときは、必ず本製品のリフティングポイントをすべて使用してください。
- 本製品をゆっくりと慎重に持ち上げます。本製品が傾き始めた場合は、別のリフト装置を使用するか、アームシステムの位置を変更してください。
- 本製品を持ち上げるときは、本製品の部品が損傷しないようにしてください。
- 本製品を持ち上げるときは、本製品が隣接する物にぶつからないようにしてください。

- フラットベッド式トラックまたは本製品の重量が承認されているトレーラーを使用してください。主要語元 112 ページを参照してください。
- 搬送中は、搬送車両にリモートコントロールを保管してください。
- 搬送中は本製品を固定してください。移動しないことを確認します。
- 搬送中は、何らかの保護具を製品に装着してください。保護具によって、雨や雪などの自然の影響から製品を守ります。
- 本製品を公道で搬送する前に、適用される道路交通法を確認してください。
- 搬送中は、定期的な点検し、本製品が搬送車両に正しく固定されていることを確認してください。

本製品を傾斜面で上下に移動させる方法



警告： 本製品を傾斜面で上下に移動させるときは十分注意してください。本製品は重いので、製品が落下したり移動速度が速すぎたりすると、負傷するおそれがあります。



警告： 本製品より下側では、歩行したり立ち止まったりしないでください。本製品の作業エリアに入らないでください。作業エリアの安全 20 ページを参照してください。



警告： リモートコントロールバッテリーの充電残量が低下しているときは、本製品を傾斜面で上下に移動させないでください。突然電源障害が発生するおそれがあります。

- 傾斜面が損傷しておらず、本製品に対して寸法が適切であることを確認します。
- 傾斜面にオイルや汚れがないか確認します。
- 傾斜面が搬送車両と地面に正しく固定されていることを確認します。
- 本製品を傾斜面で上下に移動するときは、搬送車両が動かないことを確認します。

本製品を持ち上げる方法(DXR 145)



警告： 本製品を安全に持ち上げるには、リフト装置が適切な仕様である必要があります。本製品の重量は銘板に記載されています。銘板 18 ページを参照してください。

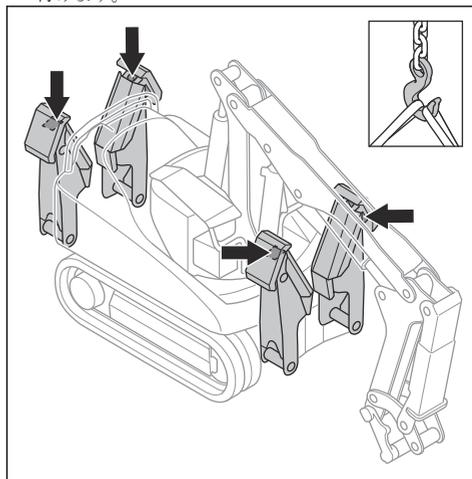


警告： 持ち上げた本製品の側面や周辺では、歩行したり立ち止まったりしないでください。作業エリアに人を近づけないでください。作業エリアの安全 20 ページを参照してください。



警告： 損傷した製品は持ち上げないでください。リフティングポイントが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。

1. 本製品を持ち上げる前に、アームシステムを引き込みます。
2. リフト装置を本製品のリフティングポイントに取り付けます。



本製品を持ち上げる方法(DXR 275, DXR 305, DXR 315)



警告： 本製品を安全に持ち上げるには、リフト装置が適切な仕様である必要があります。本製品の重量は銘板に記載されています。銘板 18 ページを参照してください。



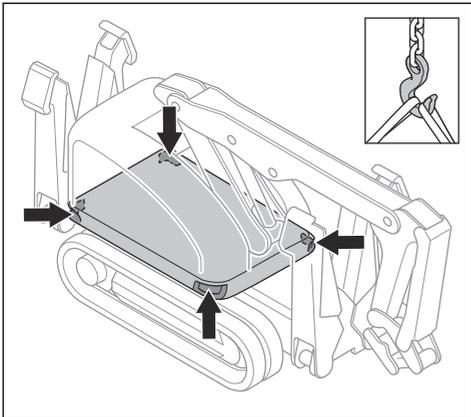
警告： 持ち上げた本製品の側面や周辺では、歩行したり立ち止まったりしないでください。作業エリアに人を近づけないでください。作業エリアの安全 20 ページを参照してください。



警告： 損傷した製品は持ち上げないでください。リフティングポイントが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。

1. 本製品を持ち上げる前に、アームシステムを引き込みます。

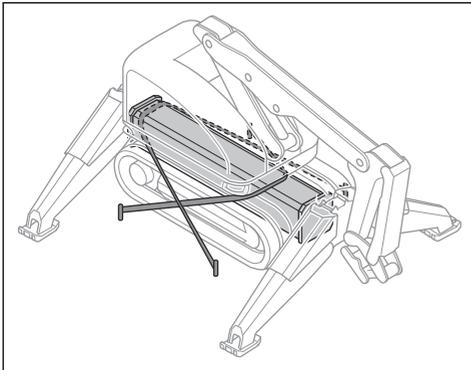
- リフト装置を本製品のリフティングポイントに取り付けます。



搬送車両に本製品を取り付ける方法

事故や装置の損傷を防ぐため、搬送中は本製品を固定します。固定用ストラップを使用して、本製品を搬送車両に固定します。ツールやその他の装置には、別の固定用ストラップを使用します。

- 搬送車両の前端に本製品を配置します。
- 本製品を始動します。本製品の始動方法 (DXR 145)55 ページおよび本製品の始動方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)56 ページを参照してください。
- 搬送車両の床に接触するまでアームシステムを動かします。
- アウトリガーを伸ばします。アウトリガーの操作 65 ページを参照してください。本製品は搬送車両の床に載せてください。
- 本製品を停止します。本製品の停止方法 (DXR 145)65 ページおよび本製品の停止方法 (DXR 275, DXR 305, DXR 315)66 ページを参照してください。
- 2本の固定用ストラップをシャーシの周りに巻き付けます。

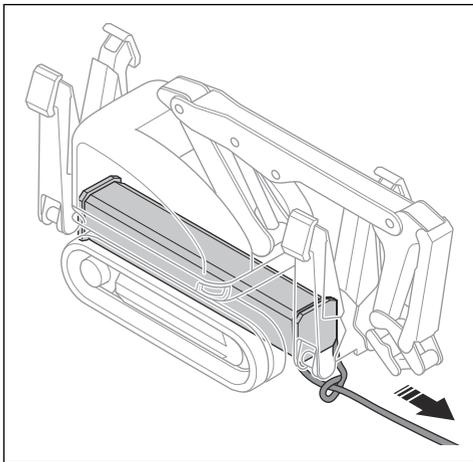


- 1本の固定用ストラップをシャーシ前部の周りに巻き付け、車両に取り付けます。
- 1本の固定用ストラップをシャーシ後部の周りに巻き付け、車両に取り付けます。

本製品の牽引方法

本製品が危険な場所にあり、他に手段がない場合のみ、本製品を牽引します。油圧システムが空の場合は、駆動モーターの駐車ブレーキが作動します。駐車ブレーキがかかっていると、キャタピラートラックは動きません。

- 可能な場合は、アウトリガーを引き込みます。
- 牽引装置を本製品のシャーシに取り付けます。



- 本製品を牽引する前に、地面を清掃して、牽引装置と機械部品の負荷を軽減します。
- 可能な場合は、キャタピラートラックの方向に牽引します。
- 本製品の牽引は、短距離で低速の場合に限ります。
- 認定された牽引装置のみを使用してください。牽引装置は、本製品の仕様に適合している必要があります。主要諸元 112 ページを参照してください。
- 牽引する際は、本製品の近くに他に人がいないことを確認してください。

保管



注意： 屋外で保管すると本製品が損傷する場合があります。本製品を保管する場合は、必ず屋内に保管してください。

- 本製品からツールを取り外します。
- アームシステムを引っ込めます。
- 本製品のメインスイッチを南京錠でロックします。
- 本製品とツールは鍵のかかる場所に保管して、子供や許可を得ていない人が近づけないようにしてください。
- ツールが落下しない位置にあることを確認します。

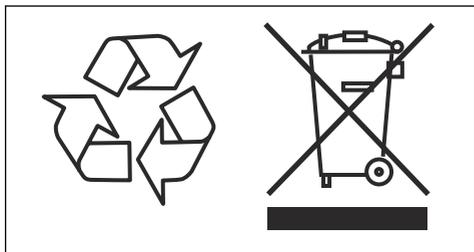
- ツールを高い位置に置く場合は、正しく固定してください。
- ツールの油圧カップリングは、損傷のリスクが最小限の場所に保管します。
- 本製品とツールは、乾燥した霜の降りない場所に保管します。
- 製品を保管する前に、製品を清掃し、完全に整備してください。
- バッテリー充電器は、乾燥した霜の発生しない場所に保管します。
- 1週間を超えて本製品を保管する場合は、リモートコントロールからバッテリーを取り外してください。

廃棄

本製品や本製品のパッケージ上のマークは、本製品が一般廃棄物として取り扱われてはならないことを示します。電気・電子機器の再利用を行うため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。

適切なリサイクル業者に引き渡す前に、本製品をコンセントから外し、リモートコントロールから電池を取り外してください。本製品はリチウムイオン電池を使用していることをリサイクル業者に必ず通知してください。バッテリーを適切なリサイクル業者に引き渡します。

以上を遵守することで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。



主要諸元

主要諸元

	DXR 145	DXR 275	DXR 305	DXR 315
全般				
回転速度、r/min	6	6	6	6
最大搬送速度、km/h/mph	3/1.9	3/1.9	3/1.9	3/1.9
最大傾斜角度、度	30	25	25	25
油圧システム				
油圧システムの容量、リットル／ガロン	40/10	50/13	50/13	50/13
ポンプのタイプ	負荷感知型軸ピストン（排気量可変）。			
最大ポンプ流量 ² 、l/min または gal/min	0~52 または 0~14	0~75 または 0~20	0~85 または 0~22.5	0~85 または 0~22.5
標準圧力（バール）	200	200	200	200
増強されたメインの圧力、バール	250	250	250	250
キャタピラートラックテンションの圧力（アウトリガーは引き込まれた状態）、バール	130	200	200	200
伸縮式アーム圧力、バール	該当なし	該当なし	該当なし	180
モーター				
モーター出力、kW/hp	18.5 (50 Hz)	24 (50 Hz)	27 (50 Hz)	27 (50 Hz)
	18.5 (60 Hz)	24 (60 Hz)	27 (60 Hz)	27 (60 Hz)
回転速度、r/min	2885 (50 Hz)	1470 (50 Hz)	1470 (50 Hz)	1470 (50 Hz)
	3500 (60 Hz)	1775 (60 Hz)	1775 (60 Hz)	1775 (60 Hz)
定格電圧、V	380~420 (50 Hz)	380~420 (50 Hz)	380~420 (50 Hz)	380~420 (50 Hz)
	440~480 (60 Hz)	440~480 (60 Hz)	440~480 (60 Hz)	440~480 (60 Hz)
定格電流、A	32 (50 Hz)	46 (50 Hz)	52 (50 Hz)	52 (50 Hz)
	30 (60 Hz)	39 (60 Hz)	44 (60 Hz)	44 (60 Hz)
質量				
製品重量、ゴム製キャタピラートラック装備、ツールなし、kg／ポンド	985/2172	1750/3858	1960/4320	2020/4453

² 最大ポンプ流量と最大システム圧力を同時に使用することはできません。モーターに過負荷が生じるおそれがあります。60 Hz の変位が限られています。

	DXR 145	DXR 275	DXR 305	DXR 315
製品重量、スチール製キャタピラートラック装備、ツールなし、kg/ポンド	1084/2390	1860/4101	2070/4564	2130/4696
最大推奨ツール重量、kg/ポンド ³	200/441	310/683	310/683	310/683
リモートコントロール				
バッテリー仕様	公称 7.2 V、5,100 mAh			
バッテリー	リチウムイオン電池 2 個（本製品に付属）。			
運転時間、h	12 時間			
充電時間、h	3 時間			
信号の送信	無線信号送信またはケーブル。			
無線周波数帯	2.4 GHz			
送信される最大無線周波電力、dBm	20 dBm ⁴			
レンジ、m	最大 300			
寸法、mm/インチ	400x216x291/15.7x8.5x11.5			
質量、kg/ポンド	3.25/7.2			
保護クラス	IP65			
動作温度	-20～60 °C/-4～140 °F			
保管温度（バッテリーあり）、°C/°F	1 か月未満：-20～50 °C/4～122 °F 3 か月未満：-20～40 °C/4～104 °F 1 年未満：-20～20 °C/4～68 °F			
保管温度（バッテリーなし）、°C/°F	-40～80 °C/-40～176 °F			
充電温度、°C/°F	10～45 °C/50～113 °F			

油圧システム圧力

圧力の種類	DXR 145	DXR 275	DXR 305、DXR 315
	圧力、バール/PSI	圧力、バール/PSI	圧力、バール/PSI
アイドリング時の圧力	5～10/72.5～145	5～10/72.5～145	5～10/72.5～145
スタンバイ時の圧力 ⁵	20 ± 1 または 290 ± 14.5	20 ± 1 または 290 ± 14.5	20 ± 1 または 290 ± 14.5
回転機能	180/2611	175/2466	175/2466
DXR 315：伸縮アーム、イン/アウト	該当なし	該当なし	200/2901 および 180/2611

³ 最大推奨ツール重量は、ツールと最大荷重の総重量です。

⁴ 20 dBm が許可されていない市場では 13 dBm。

⁵ 作動している機能がなく、循環バルブが閉じているときのポンプからの圧力。

圧力の種類	DXR 145	DXR 275	DXR 305、DXR 315
	圧力、バール/PSI	圧力、バール/PSI	圧力、バール/PSI
アーム機能 DXR 275、DXR 305、DXR 315 では、鋼製はさみを使用して作業する場合、アーム機能の圧力は低くなります。鋼製はさみの圧力を括弧内に示します。	200/2901	200/2901 (150/2167)	200/2901 (150/2167)
アウトリガー、下降および上昇	250/3626 および 130/1885	250/3626 および 200/2901	250/3626 および 200/2901
最大ポンプ圧力、ツール/アウトリガー	250/3626	250/3626	250/3626
ブレーカー圧力、バール	160	150	160
コンクリートクラッシャー圧力、バール	200	200	200
鋼製はさみ、バール	250	250	250
グラブラー圧力、バール	250	250	250
ドラムカッター圧力、バール	200	200	200

冷却および加熱キットの動作温度

周囲温度が上昇した場合は、油圧システムとモーターの空気を冷やす必要があります。圧縮空気の最高温度は 30 °C/86 °F で、最大圧力は 10 バール/145 PSI です。

	周囲温度 40 °C/104 °F 未満	周囲温度 40~50 °C/104~122 °F		周囲温度 50~55 °C/122~131 °F	
スタンダード	空気を冷やす必要はありません。	該当なし		該当なし	
シリンダーガードおよび追加の油圧機能。	空気を冷やす必要はありません。	該当なし		該当なし	
冷却キット。	空気を冷やす必要はありません。	圧力、バール/PSI	6/87	圧力、バール/PSI	8/116(DXR 145) 10/145(DXR 275, DXR 305, DXR 315)
		流量、l/min または cu ft/min	600/21(DXR 145) 1350/47.7(DXR 275, DXR 305, DXR 315)	流量、l/min または cu ft/min	750/26.5(DXR 145) 1650/58.3(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

	周囲温度 40 °C/104 °F 未満	周囲温度 40~50 °C/104~122 °F		周囲温度 50~55 °C/122~131 °F	
過熱防止キット。 空気冷やす必要はありません。		圧力、パール/ PSI	6/87	圧力、パール/ PSI	8/116(DXR 145) 10/145(DXR 275, DXR 305, DXR 315)
		流量、l/min または cu ft/min	950/33.5(DXR 145) 1700/60(DXR 275, DXR 305, DXR 315)	流量、l/min または cu ft/min	1200/42.4(DXR 145) 2100/74.2(DXR 275, DXR 305, DXR 315)

キット 2 および 3 の騒音レベルは 115 dB です。

油圧オイル

本取扱説明書に記載されていない油圧オイルのタイプを使用する前に、本製品のメーカーにお問い合わせください。本製品に付属の油圧オイルの等級は、本製品のラベルに記載されています。



注意：異なるタイプの油圧オイルを混合すると、本製品が損傷するおそれがあります。油圧システムに含まれている油圧オイルの品質を確認してから、油圧オイルを充填してください。

等級	最低始動温度、°C/°F	最高温度、°C/°F	理想的な動作温度、°C/°F
鉱物油 ISO VG32	-20/-4	75/167	35~60/95~140
鉱物油 ISO VG46 (標準) ⁶	-10/14	85/185	45~70/13~158
鉱物油 ISO VG68	-5/23	90/194	55~80/131~176

潤滑剤

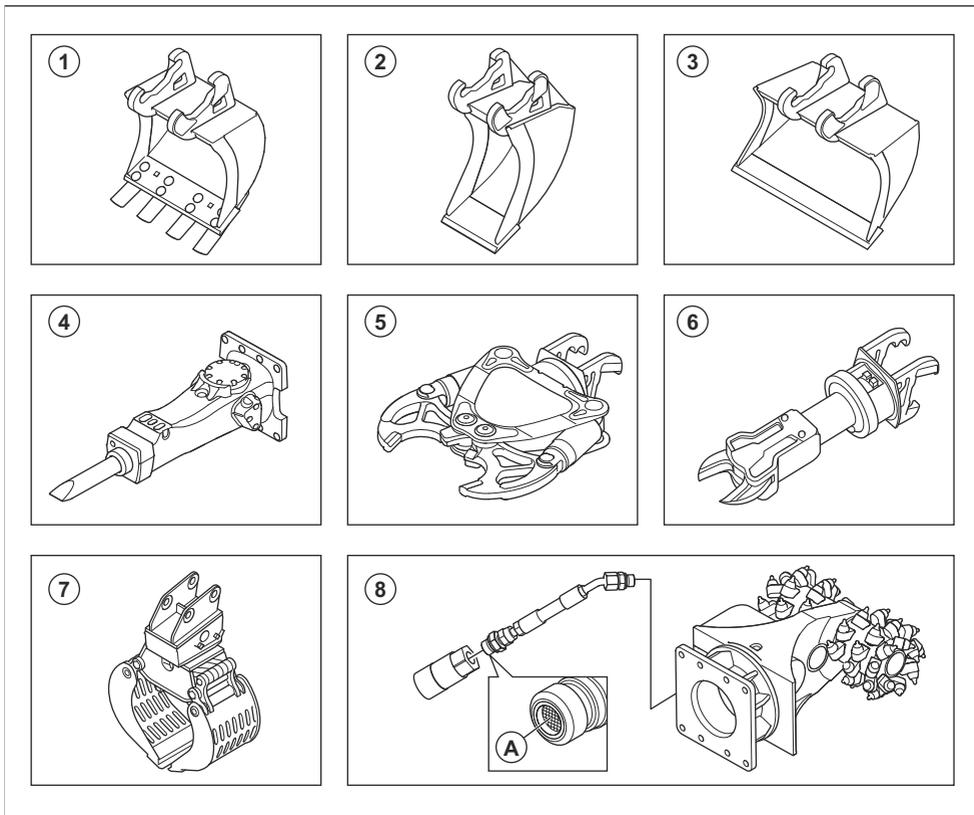
部品	等級	標準
DXR 275、DXR 305、DXR 315：スルモーターギアボックスオイル	SAE 80W-90	API GL 5
駆動モーターギアボックスオイル	SAE 80W-90	API GL 5
グリースニップルを持つすべての潤滑点	NLGI	取扱いなし
ブレーカージェリスポンプ	チゼルペースト (NLGI 2)	取扱いなし

⁶ DXR 145, DXR 275, DXR 305, DXR 315：耐熱性の製品には、耐火性油圧オイルが充填されています。

プリセットの制限値

名称	温度、°C/°F
高すぎるオイル温度	90/194
低すぎるオイル温度	0/32

ツールの概要



ポジション	ツール	製品	使用
1	標準バケット、55 L	DXR 145	資材の掘削と移動。
	標準バケット、85 L	DXR 275、DXR 305、DXR 315	資材の掘削と移動。

ポジション	ツール	製品	使用
2	小バケツ、40 L	DXR 145、DXR 275、DXR 305、DXR 315	パイプ用の狭い溝の作成と資材の移動。
3	大バケツ、60 L	DXR 145	大量の資材の掘削と移動。
	大バケツ、105 L	DXR 275、DXR 305、DXR 315	
4	ブレーカー、SB 152	DXR 145	資材の破壊。
	ブレーカー、SB 202	DXR 275、DXR 305、DXR 315	
	ブレーカー、SB 302	DXR 305	
5	コンクリートクラッシャー、DCR 100	DXR 145	資材の粉碎および切断。
	コンクリートクラッシャー、DCR 300	DXR 275、DXR 305、DXR 315	
6	鋼製はさみ、DSS 200	DXR 145、DXR 275、DXR 305、DXR 315	<p>金属の切断。</p> <hr/> <p>注記： 鋼製はさみを回転させるには、本製品に追加の油圧機能を取り付ける必要があります。参照：<i>追加の油圧機能(DXR 275, DXR 305, DXR 315)</i>35 ページ。</p> <hr/>
7	鉤、MG 100	DXR 145	<p>レンガや木の壁の解体と資材の仕分けと積載。</p> <hr/> <p>注記： 鉤を回転させるには、本製品に追加の油圧機能を取り付ける必要があります。参照：<i>追加の油圧機能(DXR 275, DXR 305, DXR 315)</i>35 ページ。</p> <hr/>
	鉤、MG 200	DXR 275、DXR 305、DXR 315	
8	ドラムカッター、ER 50	DXR 145、DXR 275、DXR 305、DXR 315	<p>粉碎機能を使用した解体と掘削。</p> <hr/> <p>注記： ドラムカッター内でオイルが漏れているため、工具ドレインキットを本製品に取り付ける必要があります。工具ドレインキットには、チューブとクイック接続取り付け具の間のアダプター内にフィルター (A) があります。</p> <hr/>

粉塵低減データ

下表に示す給水の推奨事項に従ってください。タップまたは外部ポンプを使用します。

種類	ツール						
	ブレーカー			コンクリートクラッシャー		ドラムカッター	
	SB152	SB202	SB302	DCR100	DCR300	ER50	
推奨水圧、bar/PSI	4.0/58.0			2.0/29.0		2.0/29.0	
4 バール/58 PSI での水消費量、l/min / gpm	5.0 以下/1.3 以下		9.0 未満/ 2.4 以下	6.5/1.7		7.9/2.1	
最低要件	水圧、バール/PSI	3.0/43.5			1.0/14.5		1.5/21.8
	水消費量、l/min / gpm	5.0/1.3			3.0/0.8		4.1/1.1

主電源ソケットに接続するためのガイド値

主電源ソケットは、延長ケーブルおよび本製品の電気ソケットと同じアンペア数である必要があります。

注記： 公称電力は、同じ電圧 +/- 10 % である必要があります。

DXR 145 : モーター 18.5 kW

電源の公称電圧、V	ケーブル断面積、AWG/mm ²	起動電流、A		モーター出力、kW	熱動過負荷継電器の設定、A	最大ケーブル長、m/ft
400	6/16	75	50 Hz	18.5	27.0	285/935
400	10/6	75		18.5	27.0	100/328
400	8/10	75		18.5	27.0	175/574
460	6/16	75	60 Hz	18.5	22.0	349/1145
460	10/6	75		18.5	22.0	130/427
460	8/10	75		18.5	22.0	218/715

DXR 275 : モーター 24 kW

電源の公称電圧、V	ケーブル断面積、AWG/mm ²	起動電流、A		モーター出力、kW	熱動過負荷継電器の設定、A	最大ケーブル長、m/ft
400	7/10	99	50 Hz	24	35	345/1132
400	5/16	99		24	35	555/1821
460	7/10	99	60 Hz	24	34	355/1165
460	5/16	99		24	34	570/1870

電源の公称電圧、V	ケーブル断面積、AWG/mm ²	起動電流、A		モーター出力、kW	熱動過負荷継電器の設定、A	最大ケーブル長、m/ft
400	7/10	99	50 Hz	27	41	296/971
400	5/16	99		27	41	473/1552
460	7/10	99	60 Hz	27	39	311/1020
460	5/16	99		27	39	498/1634

騒音排出

	DXR 145	DXR 275	DXR 305	DXR 315
音響パワーレベル、ツールなし、測定値 dB (A)	92	92	92	92
音響パワーレベル、ツールなし、保証値 L _{WA} dB (A) ⁷	95	95	95	95
音響パワーレベル、ツールあり、(ブレーカー、測定値 dB (A))	113	118	119	118
音響パワーレベル、ツールあり、(ブレーカー、保証値 L _{WA} dB (A)) ⁷	114	118	120	118
音圧レベル、本製品のツールから 10 m ³ 、 ⁹ 、dB (A)	87	90	90	90

騒音についての公表値

これらの公表値は、指定された指令または標準に基づいた実験室での型式試験で取得されたものであり、同じ指令または標準に基づいて試験された他の製品の公表値との比較に適したものです。これらの公表値はリスク評価

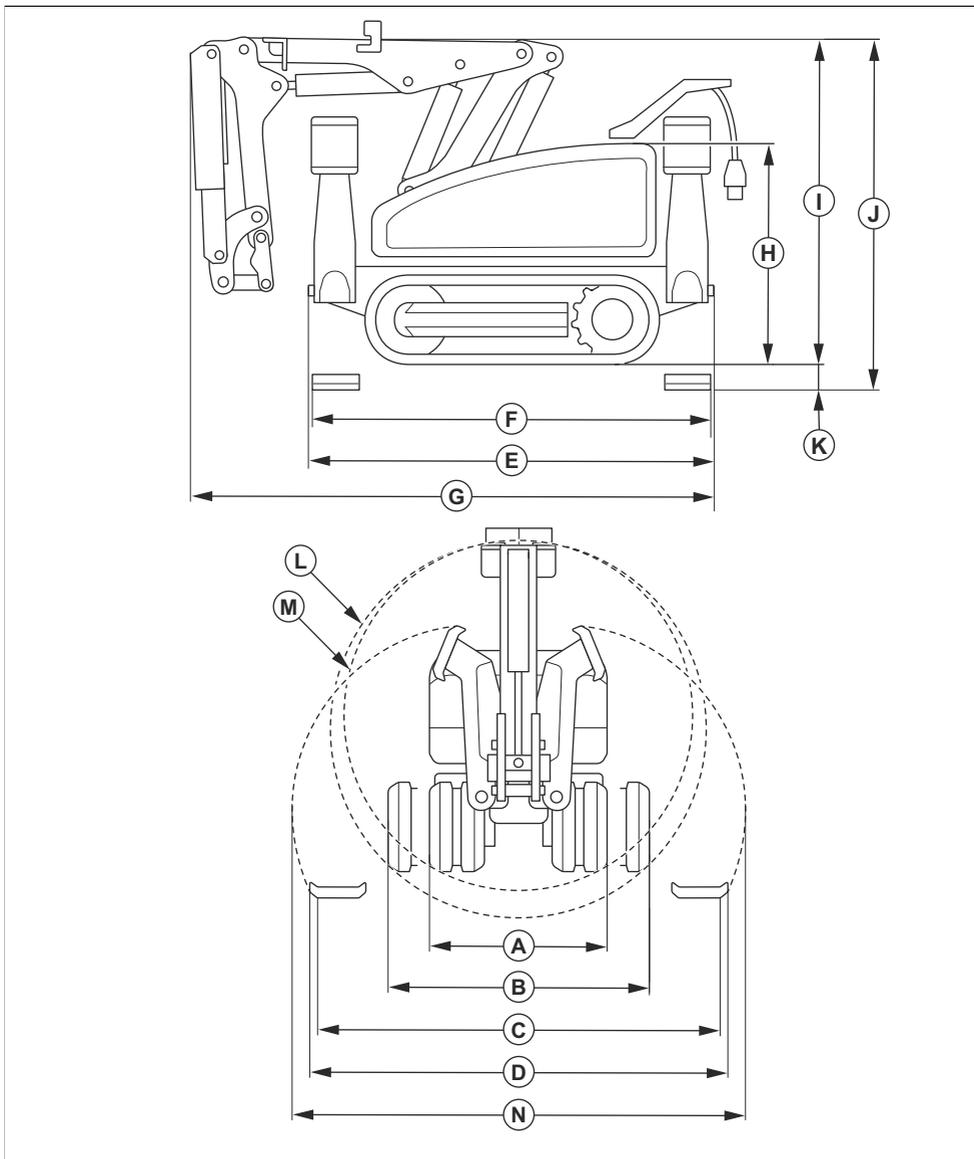
での使用には適しておらず、また個々の作業現場での測定値はより高くなる可能性があります。個々のユーザーが実際に暴露される値および危険のリスクは、ユーザーが行う作業、本製品で使用する材料、ユーザーの暴露時間、ユーザーの健康状態、および本製品の状態によって異なります。

⁷ 環境における騒音排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワーとして測定しました。保証騒音レベルと測定騒音レベルの差分は、申告された値での分散とばらつきの測定値です。

⁸ 音圧レベルは EG 指令 2006/42/EC に準拠。想定される測定の不確かさは 2 dB (A)。

⁹ 記載した値はブレーカーでの運転を指します。他のタイプの推奨工具では、騒音レベルはかなり低くなります。

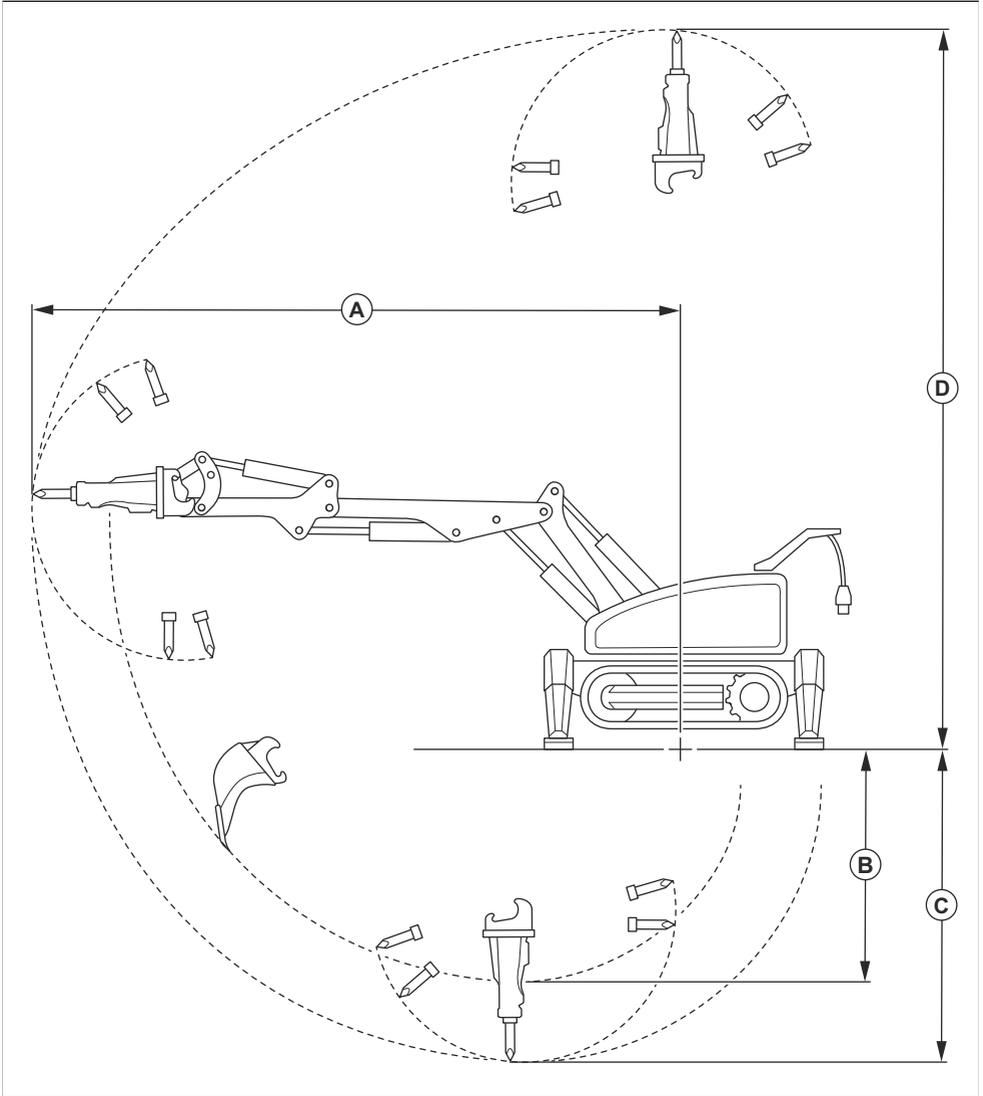
製品の寸法



		DXR 145	DXR 275	DXR 305	DXR 315
A	幅 (キャタピラートラックワイドナーを除く)、mm/インチ	771/28	780/30.7	780/30.7	780/30.7

		DXR 145	DXR 275	DXR 305	DXR 315
B	幅 (キャタピラートラックワイドナーを含む)、mm/インチ	なし	1110/43.7	1110/43.7	1110/43.7
C	接地幅 (アウトリガーを伸ばした状態)、mm/インチ	1548/61	1993/78.5	1993/78.5	1993/78.5
D	幅 (アウトリガーを伸ばした状態)、mm/インチ	1625/64	2066/81.3	2066/81.3	2066/81.3
E	長さ (アームシステムを除く)	1555/61.2	2057/81	2057/81	2057/81
F	伸ばした状態のアウトリガー間の距離、mm/インチ	1614/63.5	2079/81.9	2079/81.9	2079/81.9
G	長さ (アームシステムを伸ばした状態)、mm/インチ	1932/76.1	2442/96.1	2591/102	2827/111.3
H	高さ (アウトリガーを引き込んだ状態、アームシステムを除く)、mm/インチ	854/33.6	1035/40.7	1035/40.7	1035/40.7
2人1組で	高さ (アームシステムとアウトリガーを引き込んだ状態)、mm/インチ	1215/47.8	1367/53.8	1367/53.8	1485/58.5
J	高さ (アームシステムを引き込み、アウトリガーを伸ばした状態)、mm/インチ	1283/50.5	1509/59.4	1509/59.4	1627/64.1
K	キャタピラートラックと伸ばしたアウトリガーの間の高さ、mm/インチ	68/2.7	141/5.6	141/5.6	141/5.6
L	製品直径 (キャタピラートラックワイドナーを含む)、mm/インチ	なし	1598/62.9	1598/62.9	1680/66.1
M	製品直径 (キャタピラートラックワイドナーを除く)、mm/インチ	1343/52.9	1489/58.6	1489/58.6	1576/62
N	幅 (アウトリガーを伸ばした状態)、mm/インチ	1770/69.7	2238/88.1	2238/88.1	2238/88.1

レンジの寸法



		DXR 145	DXR 275	DXR 305		DXR 315
				SB202	SB302	

		DXR 145	DXR 275	DXR 305		DXR 315
A	アームシステムの最大前進レンジ、mm/インチ	3751/147.7	4513/177.7	4898/192.8	5128/201.9	5212/205.2
B	バケットの最大掘削深さ、mm/インチ	1252/49.3	1435/56.5	1818/71.6	1818/71.6	2129/83.8
C	ブレイカーの最大切削深さ、mm/インチ	1879/74	2016/79.4	2398/94.4	2628/103.5	2708/106.6
D	アームシステムの最大上昇レンジ、mm/インチ	4421/174.1	4879/191.7	5261/207.1	5491/216.2	5579/219.6

適合宣言

EU 適合宣言

Husqvarna AB, SE 561 82 Huskvarna, SWEDEN、電話：
+46 36 146500 は、単独責任のもとで、以下の製品

名称	遠隔解体ロボット
ブランド	HUSQVARNA
タイプ/モデル	DXR 145 DXR 275 DXR 305 DXR 315
ID	2022 年以降の製造番号

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

指令/規制	名称
2006/42/EC	「機械類に関する」
2014/53/EU	「無線機器に関する」
2000/14/EC	「屋外の騒音に関する」

そして、以下の規格および/または技術仕様が適用されています。

EN ISO 12100:2010

EN ISO 13849-1:2015

EN 60204-1:2018

EN 61000-6-2:2019

EN 61000-6-4:2019

ETSI EN 301 489-17 V3.2.4

ETSI EN 301 489-1 V2.2.3

ETSI EN 300 328 V2.2.2

試験機関：0404、RISE SMP Svensk Maskinprovning AB
(Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden) は、評議会司

令 2000/14/EC の付録 VI に適合することを認定しました。

騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

Partille, 2022-09-28



Fredrik Linnell

軽量解体ディレクター

Husqvarna AB, Construction Division

正式代表兼技術文書担当





www.husqvarnaconstruction.com

取扱説明書原本



1142683-79

Rev. C



2022-11-29